

**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
福岡工業大学

令和3年度  
**教育・研究活動報告書**

取組成果のご報告

福岡工業大学・福岡工業大学短期大学部・福岡工業大学附属城東高等学校

*For all the students*  
～すべての学生生徒のために～



このレポートのデジタル版を  
お使いのスマートフォンで  
ご確認ください。

# 学修者本位の教育拠点を目指して ～教育DX for Society5.0, SDGsへのアプローチ～



## 1. はじめに

本学園の運営につきましては、平素より格別のご理解とご支援をいただき深く感謝いたします。また、コロナ禍によって、健康被害、経済的損失等を被られた皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

## 2. 外部環境(私学の経営環境)の認識について

さて、私学の経営状況は、コロナ禍に因らずとも、学齢人口の減少を主因として、全国的に悪化傾向にあります。その状況下において、教育機関に対する国・社会の要請は、いっそう多様化、高度化しています。教育政策では、①教育の質向上、②Society5.0の実現、③地域社会貢献、④数理・データサイエンス・AI教育、⑤SDGsの実現、⑥ウィズ・アフターコロナの新たな学び方の開発等の諸課題への、私学の特色を生かした積極的対応が求められています。一方、その財政的支援は、国の厳しい財政事情から、「メリハリのある予算配分」が基本方針として示され、抑制傾向にあります。私学の自主・自律性と自立・自存力がさらに求められていると言えるでしょう。

## 3. 本学園の取組状況について

### (1) 経営計画の実現性向上、成果の創出・拡大

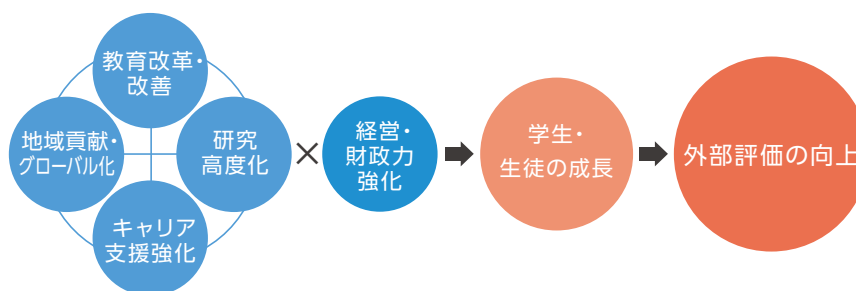
上述のような状況に至る過程において、本学園は早期から学校改革の重要性を認識し、For all the studentsの理念のもと、20余年の長きにわたり、数多くの学校改革の試みに対して、積極的に経営資源を投入してきました。

これらの取組は、学生・生徒の成長度の向上、入学志願者の14年連続増加、就職関係指標の9年連続向上(以降、いずれも高位で安定)、並びに3設置校の財政安定化として結実し、相応の成果を創出しているといえます。本報告書の主要な成果としてまとめているとおりです。

### ■ 成果創出の考え方



### ■ 経営計画具現化の考え方



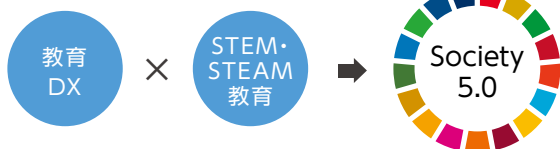
### (2) 教育DX for Society5.0

コロナ禍は、それまでの社会・産業界が抱えていた問題をさらに浮き彫りにしました。とりわけDXやAI・IoT導入によるSociety5.0の実現が、いっそう喫緊の課題であることを認識させることとなりました。そして、これらの課題に、エネルギー・自然災害・温暖化対策等の諸問題も複合化され、「Society5.0 for SDGs」の題目で、目的・目標として示されています。

このような問題・課題に対応し貢献することは、「情報・環境・モノづくり」を活動領域とする本学園にとって、まさに本懐とするところです。

そこで、これからの学校運営において目指すところは、教育の質向上はもとより、①Society5.0への貢献、②外部連携、知財・技術実用化・事業化による研究高度化、③地域人材育成、地域課題解決、リカレント・リスキリング教育等を総合する地域社会貢献、④ハイブリッド型授業の展開、学生支援体制強化等のポストコロナ対応、⑤教育活動の外部展開(学術アライアンス形成、グローバル化等)であります。

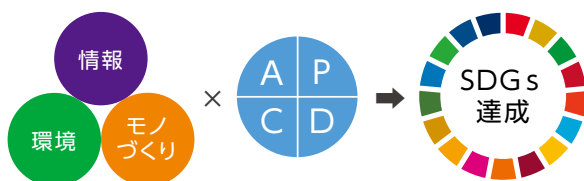
■SDGsへのアプローチ



(3)SDGs達成への貢献

SDGs達成への貢献について、「21世紀課題としての情報・環境・モノづくり」の3学部を擁し、とりわけ、外部から高く評価されている、「PDCAによる経営管理システム(P19参照)」を有する教育機関として、積極果敢に取り組んでいきます。

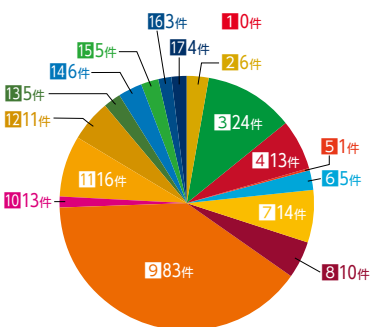
■PDCAによるSDGs達成



■福岡市Well-being & SDGs マスター認証



■FIT Action Program for SDGs (17目標ごとの取組事例)



取組合計 219件

4. いっそうの改革・改善に向けて

この教育・研究活動報告書は、学生・生徒・保護者の皆様、卒業生、そして学校運営にご支援をいただく企業・地域の皆様に、本学の教育・研究及び経営・財務の諸取組とその成果について具体的に説明し、いっそう本学園をご活用いただくことを目的としています。この報告書を通じた関係の皆様と本学園の双方向のやりとりは、私どもが諸活動を磨き高めるには欠くことのできない貴重な機会であると存じます。引き続き、教育・研究と経営・財務のいっそうの改革・改善を推し進め、「学修者本位の教育拠点」として、その使命を果たしてまいりますので、どうか忌憚のないご意見を賜りますようお願いいたします。

令和4年9月1日

福岡工業大学・同短期大学部

学長 下村輝夫

INDEX

I.はじめに

1.ごあいさつ(学長メッセージ) …… 1  
 2.マスタープラン(MP)の取組状況・成果の概要  
 (1)MPの軌跡(年表) …… 3  
 (2)MP成果の全体像  
 (MP・アクションプログラム(AP)の全体枠組み、戦略①～⑥の相関) …… 4

II.大学の主要な取組成果(マスタープランの取組成果とその外部評価)

1.入学志願者・入学者の状況(戦略I) …… 5  
 2.教育力の発揮(戦略II) …… 7  
 3.研究の高度化(戦略III) …… 9  
 4.就職力の強化(戦略IV) …… 11  
 5.グローバル化と地域連携の推進(戦略V)  
 (1)グローバル化の取組 …… 13  
 (2)地域連携の取組 …… 15  
 6.財政基盤の安定(戦略VI) …… 17  
 7.学校運営に対する外部評価 …… 19

III.学校改革(教育改善・研究高度化・就職支援等)の具体的取組状況

1.教育改善の取組 …… 21  
 2.研究高度化の取組 …… 23  
 3.就職支援の取組 …… 25  
 4.ラーニングサポートの取組 …… 27  
 5.キャンパスライフサポートの取組 …… 29

IV.ファシリティ・各設置校の状況(基本プロフィール等)

1.キャンパスの概要 …… 31  
 2.大学院の取組 …… 33  
 3.短期大学部の取組 …… 35  
 4.附属城東高校の取組 …… 37

V.バックデータ集

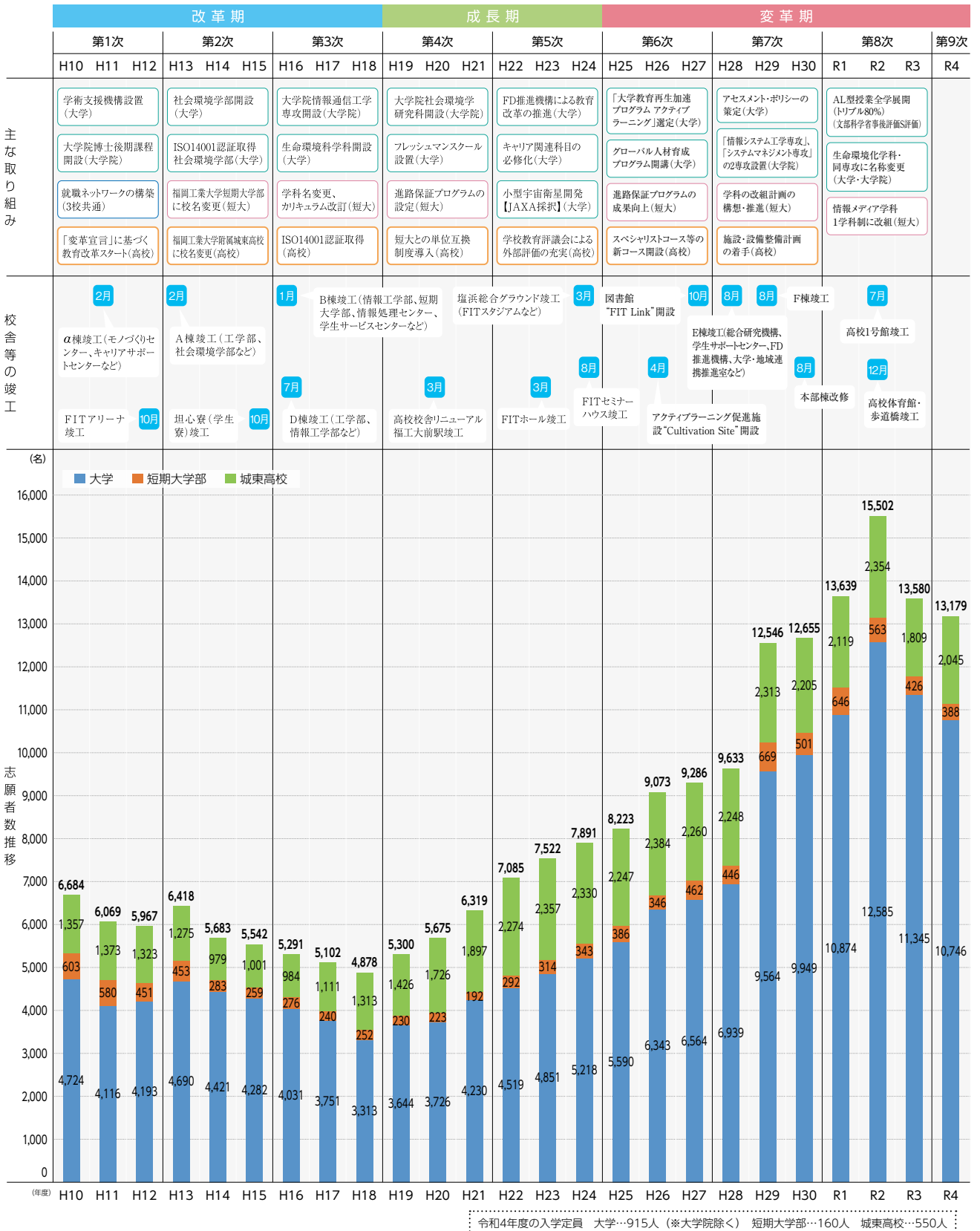
1.学生表彰(学会表彰、卒業生表彰、課外活動表彰等) …… 39  
 2.その他、経営・財務、教育・研究等諸活動のデータ …… 41

# マスタープラン(MP)の取組状況・成果の概要

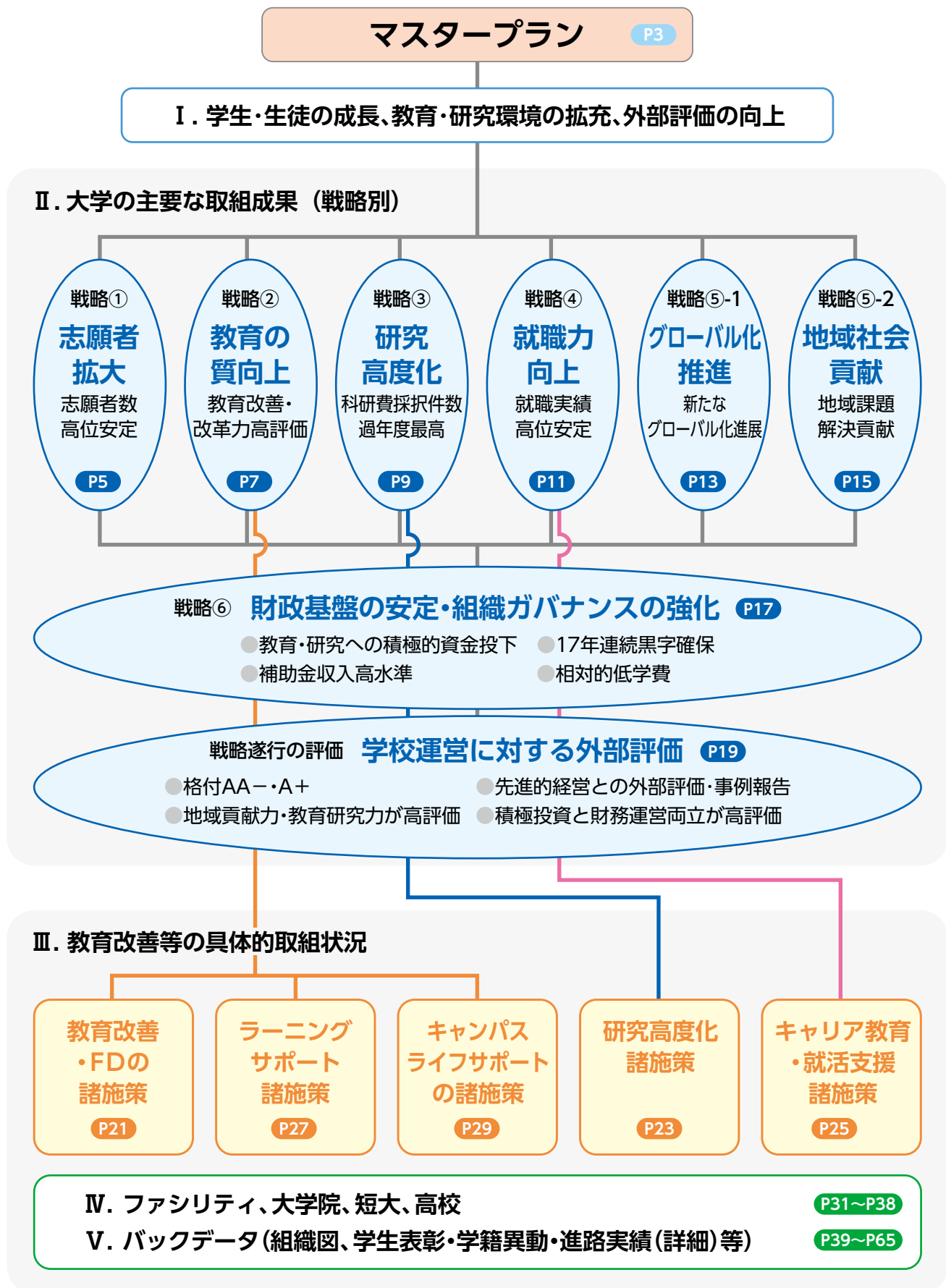
## (1)MPの軌跡(年表)

大学は、平成19年から14年連続で入学志願者が増加、令和4年志願倍率は10倍を超え高水準を維持しています。短大も安定して志願者を確保しています。高校は、平成16年度以降8年連続で入学志願者が増加、その後、「県下トップクラス」を維持しています。

### ■マスタープランの概要



## (2) MP成果の全体像 (MP・アクションプログラム (AP) の全体枠組み、戦略①～⑥の相関)

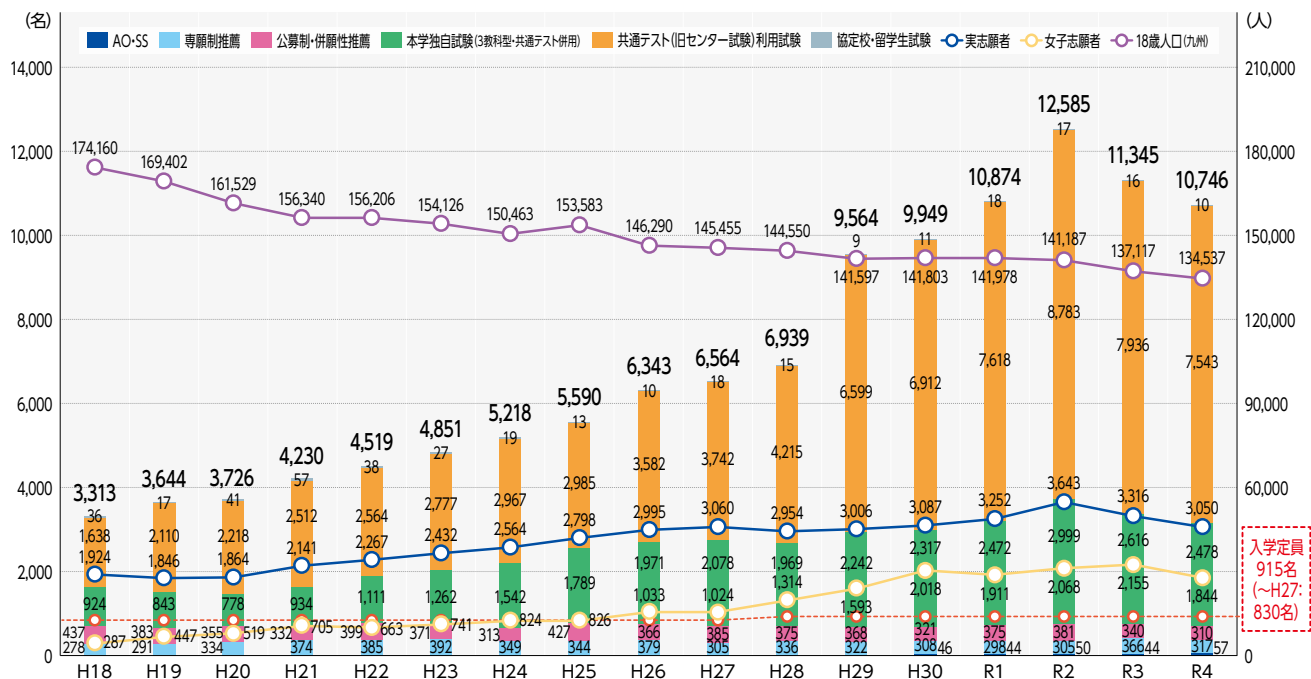


# 1. 入学志願者・入学者の状況(戦略 I)

## 入学志願者は「入学志願倍率6年連続10倍」。高位安定的に推移しています。

4年度入試は、総志願者数10,746名・志願倍率11.7倍・実志願者数3,050名となりました。コロナ禍で地元志向が高まる中、入学志願者を高位安定的に確保しています。

### ■大学の入学者選抜種別ごとの志願者推移

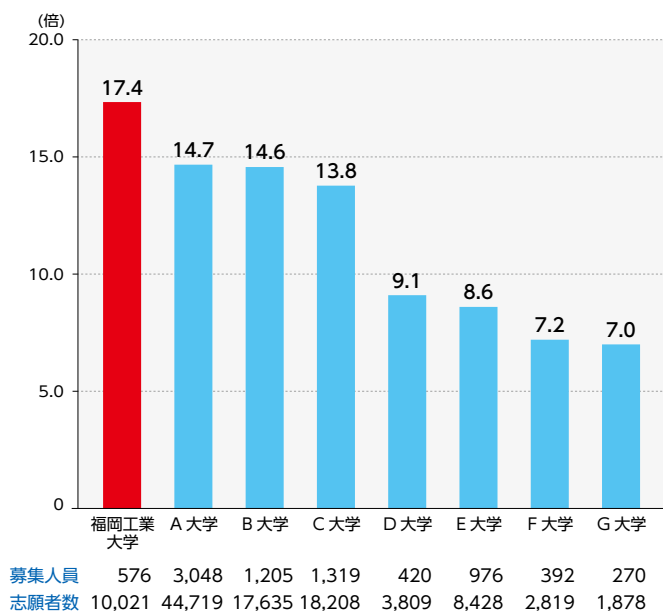


入学定員  
915名  
(~H27:  
830名)

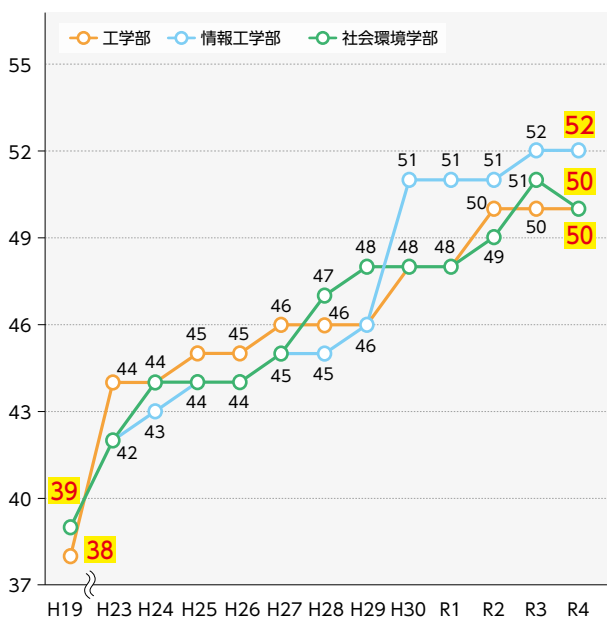
## 一般選抜志願倍率は「5年連続九州私大1位」。入試の難易度が上昇しています。

一般選抜志願者(3教科型・共通テスト利用等)は、4年連続で10,000名に到達しました。一般選抜志願倍率は17.4倍で、入試難易度は継続して上昇しています。

### ■R4年度入試 主な九州地区私立大学志願倍率比較(一般選抜)



### ■合格目標偏差値推移(進研模試合格目標偏差値より抜粋)





# 「面倒見」「就職力」が高評価。所定の入学者を継続・安定的に確保しています。

全国私立大学の約3割が入学定員を確保できない中、3学部9学科全てが、所定の入学者を継続・安定的に確保(4年度1,000名)しています。

## ■ 学部・学科定員、入学者の推移(10年前・5年前・H30～) いずれの年度も、全学部・学科で、定員を上回る入学者を確保

学部・学科	H24(10年前)		H29(5年前)		H30	R1	R2	R3	R4
	定員	入学者数	定員 (以降同)	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数	入学者数
電子情報工学科	80	96	90	102	113	111	95	94	98
生命環境化学科	80	99	90	109	94	108	97	110	95
知能機械工学科	100	153	110	132	139	117	125	131	123
電気工学科	80	90	90	100	94	102	104	131	96
工学部	340	438	380	443	440	438	421	466	412
情報工学科	120	140	130	155	151	144	157	134	146
情報通信工学科	80	104	90	99	99	99	105	107	94
情報システム工学科	80	104	90	100	127	94	93	94	104
システムマネジメント学科	60	78	65	82	68	73	71	70	76
情報工学部	340	426	375	436	445	410	426	405	420
社会環境学科	150	181	160	194	175	197	174	179	168
社会環境学部	150	181	160	194	175	197	174	179	168
合計	830	1,045	915	1,073	1,060	1,045	1,021	1,050	1,000

## ■ 大学ランキング2023年版(朝日新聞出版) 高校からの評価ランキング 各評価項目の「評価」大幅な向上

項目	2022年度*	2021年度
面倒見が良い	<b>4位</b>	8位
就職に力を入れている	<b>5位</b>	14位
小規模だが評価できる	<b>15位</b>	ランク圏外
生徒に勧めたい(私立)	<b>21位</b>	ランク圏外

全国の進学校約739校から調査回答  
\*参考:全国国公立大学数 803校

▶ 教育・研究活動等のパブリシティ掲載件数も継続的に増加しています。(詳細、P49「バックデータ集」参照)

# 入学者学力が向上。学生は「主体的学び」で入学後の能力伸長も実感しています。

「国公立大学(進学者の2割以上)や難関私立大学を中心に進学する高校」からの一般選抜志願者や入学者割合が拡大(いずれも約6割)しています。

## ■ 「国公立大学(進学者の2割以上)や 難関私立大学中心に進学する高校」からの 一般選抜志願者・入学者の割合

年度	R1	R2	R3	R4
受験者数*	7,502	9,216	7,767	7,213
うち、「国公立大学への進学が多い高校」からの一般選抜志願者	4,168	5,504	4,787	4,548
同上比率	<b>55.6%</b>	<b>59.7%</b>	<b>61.6%</b>	<b>63.1%</b>
一般選抜での入学者	525	544	579	524
うち、「国公立大学への進学が多い高校」からの入学者	309	346	356	314
同上比率	<b>58.9%</b>	<b>63.6%</b>	<b>61.5%</b>	<b>59.9%</b>

\*附属城東高校除く

## ■ 2020年度大学IRコンソーシアム学生調査

〈(一社)大学IRコンソーシアム  
(国公立64大学(国公立17、私立47大学)加盟)

[3年生調査]入学時と比べて変化した能力や知識  
大きく増えた・増えたとの回答割合(%)

項目	本学	ポイント差	理系大学
一般的教養	85	<b>+7</b>	78
分析力・問題解決	84	<b>+5</b>	79
専門分野や学科の知識	91	<b>+2</b>	89
異文化知識	56	<b>+2</b>	54
人間関係構築	64	<b>+2</b>	62
他者協働	75	<b>+5</b>	70
コミュニケーション	65	<b>+3</b>	62
数理的能力	71	<b>+6</b>	65
コンピュータ操作	90	<b>+5</b>	85
時間の効果的活用	71	<b>+9</b>	62

▶ 「学生調査」から、大学での学びによる学生自身の能力伸長(数理的能力、分析力・問題解決能力、コミュニケーション能力等)を実感していることが確認できます。

## 2. 教育力の発揮(戦略Ⅱ)

### 教育内容・方法の改善を積極的に推進。 改革力は「全国有数」として評価

私立大学等改革総合支援事業は、3年度も3項目の選定を受け、同支援事業の創設以来継続して全国屈指の高い評価を得ています。本学では、特色ある教育の展開(タイプ1)を重点目標に掲げ、その達成の手立てとして、研究の高度化(タイプ2)、地域社会貢献(タイプ3)、研究の社会実装(タイプ4)を総合的・一体的に推進し、すべてのタイプの選定を目指しています。

#### ■令和3年度私立大学等改革総合支援事業\*の選定状況

本学は全国上位3%に位置(3項目以上の選定は、全国923校中25校のみ)

4項目選定	3項目選定		2項目選定	1項目選定
東京都市大学 芝浦工業大学 東京電機大学 藤田医科大学	<b>福岡工業大学</b> 東北公益文科大学 国際医療福祉大学 千葉工業大学 工学院大学 東京慈恵会医科大学 早稲田大学 帝京平成大学 神奈川工科大学 金沢工業大学 福井工業大学 愛知工業大学 立命館大学 大阪医科薬科大学	関西大学 近畿大学 岡山商科大学 西九州大学短期大学部 長崎国際大学 長崎短期大学 長崎外国語大学	慶應義塾大学 順天堂大学 上智大学 中央大学 帝京大学 東海大学 東京理科大学 東洋大学 立教大学 同志社大学 関西学院大学 久留米大学 福岡大学 崇城大学	<b>福岡工業大学短期大学部</b> 他  <b>173校</b> 選定なし  <b>353校</b> 申請なし  <b>59校</b> 他 <b>313校</b>
4校	21校		59校	313校

#### ■私立大学等改革総合支援事業創設から9年間(H25年度～R3年度)の選定状況

累計で30項目選定(年平均3項目以上)

全国第3位/約930校中、「全国屈指の好結果」

順位	学校名	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	総計	年平均
1	芝浦工業大学		3	4	4	4	4	4	4	4	4	35	3.9
2	金沢工業大学		3	4	4	4	3	4	4	4	3	33	3.7
<b>3</b>	<b>福岡工業大学</b>		<b>1</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>4</b>	<b>3</b>	<b>30</b>	<b>3.3</b>
3	国際医療福祉大学		3	4	4	4	4	3	2	3	3	30	3.3
5	長崎国際大学		1	0	4	4	5	4	3	4	3	28	3.1
6	関西大学		2	3	2	3	2	4	4	3	3	26	2.9
6	東京電機大学		3	2	1	3	2	3	4	4	4	26	2.9
8	武蔵野大学		3	3	3	4	3	2	3	3	1	25	2.8
8	関西学院大学		1	3	3	3	4	3	3	3	2	25	2.8
8	東北公益文科大学		1	2	3	3	3	4	3	3	3	25	2.8
8	長崎短期大学		2	3	3	2	4	3	2	3	3	25	2.8
8	東京都市大学		0	0	1	4	4	5	3	4	4	25	2.8

▶ \*私立大学等改革総合支援事業とは、文部科学省と日本私立学校振興・共済事業団が一体となって、積極的に学校改革に取り組む大学等を評価・選定・支援するものです。



## 私立大学等改革総合支援事業関係の取組を、全学をあげて総合的に実施

MP(経営計画)の中に、戦略Ⅱ「教育の質向上」、戦略Ⅲ「研究の高度化」、戦略Ⅴ-2「地域連携の推進」を組み込み、全学をあげて実行していることが、「3項目選定」に大きく貢献しています。

### ■私立大学等改革総合支援事業3項目選定につながる取組内容

#### タイプ1 『Society5.0』の実現等に向けた特色ある教育の展開

- ☑ ICTを活用した双方向授業や自主学習支援等の実施
  - ☑ 学生の教育研究活動への参画を促進(FIT-join等)
  - ☑ 学位等の学修成果について、対外的に可視化するための資料の交付(FIT-AIM)
  - ☑ 一般入試における「学力の3要素」の多面的・総合的な評価の実施
  - ☑ 高等学校教育と大学教育の連動(I-STEM教育等)
  - ☑ 数理・データサイエンスに係る科目の全学展開
  - ☑ 企業等との協定等に基づく実践的なデータサイエンス教育の実施
  - ☑ 分野・学部等横断的カリキュラム編成の検討・改善・実施
- など

#### タイプ2 特色ある高度な研究の展開

- ☑ 専任教員等に占める博士号取得者の割合
  - ☑ 外国語による論文作成支援体制の整備
  - ☑ 協定等に基づく学内施設・設備の共同利用
  - ☑ 協定等に基づく共同研究の実施
  - ☑ 複数学部・専攻が参加する分野横断型共同研究の実施
  - ☑ 査読付き論文の実績(3か年3件以上)のある専任教員の割合
- など

#### タイプ3 社会実装の推進

- ☑ 産学連携のための部署に専任教職員の配置
  - ☑ 知財管理や法律など専門的側面からサポートする有資格者の配置
  - ☑ 産業界との共同研究の実施状況・件数
  - ☑ 産業界からの受託研究の実施状況・件数
  - ☑ 大学等の知的財産・技術の実用化、事業化を目指した取組の実施状況
  - ☑ 産学協同による社会実装を志向した教育プログラム、授業科目の開講
- など

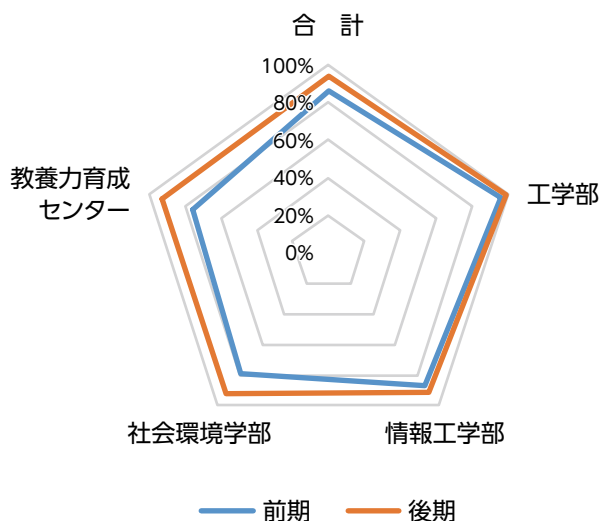
## R3年度は対面授業割合を9割以上に拡大。オンラインコンテンツを活用し、ハイブリッド授業を展開

3年度は、新型コロナウイルスの感染状況を見極め、感染防止対策を十分にとった上で、後期の対面授業割合を9割以上に拡大しました。学生の「知識の定着」と「能動的な学習態度の涵養」のためにオンラインコンテンツも活用し、効果的にハイブリッド授業を展開しています。

### ■R3年度対面授業実施比率

	前期	後期
合計	86.3%	93.9%
工学部	96.3%	99.1%
情報工学部	87.3%	91.0%
社会環境学部	79.5%	92.4%
教養力育成センター	75.8%	92.9%

※対面授業を実施した総コマ数/全授業総コマ数

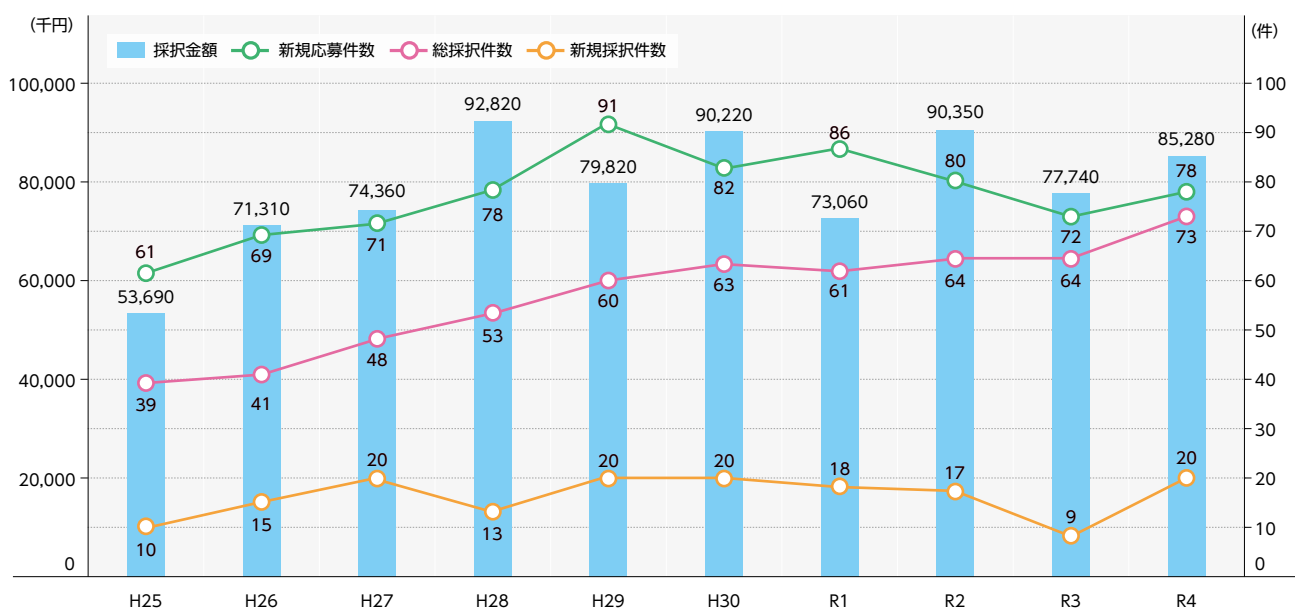


# 3. 研究の高度化(戦略Ⅲ)

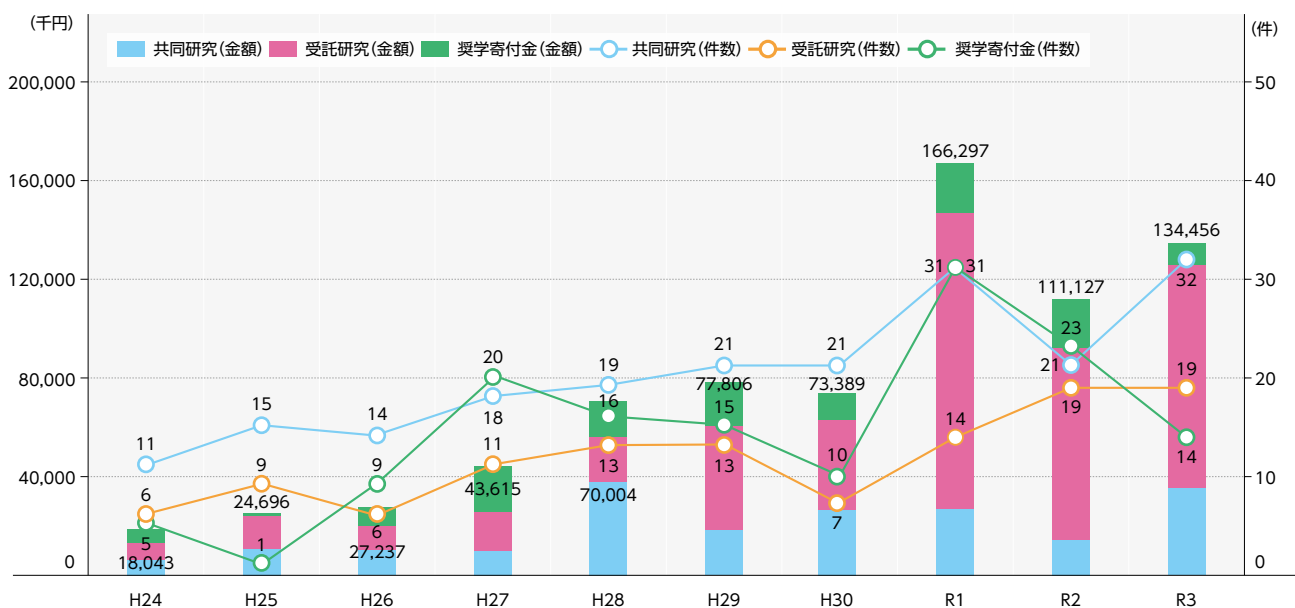
## 科研費の採択件数が過年度最高。 産業界からの研究資金も大幅に拡大

「イノベーションは社会に組み込まれてはじめて完結する(社会実装)」との考えのもと、国・地域・産業界の課題に対し、多くの研究者が課題解決にあたりました。さらに、研究者の研究意欲を高める支援体制の充実により、科研費等、国からの外部資金獲得実績が大幅に伸長し、高評価・好成績として結実しました。

■ 科研費採択実績推移 (H25-R4、短期大学部含む)



■ 外部研究資金の獲得実績推移 (H24-R3)



▶ 科研費(科学研究費)助成は、我が国の学術研究を飛躍的に発展させることを目的とする競争的資金であり、独自の・先駆的な研究を助成する制度です。

## 現代的ニーズに適合する研究活動を積極化

公的機関との共同研究や受託研究件数の増加が、外部研究資金の大半を占めており、本学の研究高度化や研究成果の実用化(社会実装)の拡大を示す指標として有効と考えています。

### ■外部大型研究支援事業〈府省庁所管〉 取組実績(採択件数12件、採択金額合計89,286千円)

研究助成機関名	件数	参画(代表・分担)している研究テーマ	研究者(職位:R3)
日本医療研究開発機構(AMED)	1	外科手術のデジタルトランスフォーメーション:情報支援内視鏡外科手術システムの開発	徳安達士教授
石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEG)	1	フッ化水素酸を用いないタンタル・ニオブの新製錬	久保裕也准教授
科学技術振興機構(JST) 【CREST】	6	触媒インフォマティクスの創成のための実験・理論・データ科学研究	蒲池高志教授
【CREST】		計算化学が先導するメタン酸化触媒の開発と触媒設計技術の創成	蒲池高志教授
【SATREPS】		バイポーラ膜電気透析による炭酸塩化技術(MCC&U3)の開発	久保裕也准教授
【SCORE】		①ナノシート構造色材料に基づく調色型スマートウィンドウの開発 ②アントレプレナーシッププログラムの運営	①宮元展義准教授 ②総合研究機構 産学連携推進室
【未来社会創造事業】		非線形・複雑系に着目した認知症のロバストネス数理モデルとそのハブ因子の解明	山口 裕助教
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	1	航空機用先進システム実用化プロジェクト/次世代電動推進システム研究開発/高効率かつ高出力電動推進システム	井上昌睦教授
中小企業経営支援等対策費補助金 (戦略的基盤技術高度化支援事業)	1	安全な自動運転に貢献する車載カメラレンズを製作するため、NPD(ナノ多結晶ダイヤモンド)製工具の高精度切削加工技術を活用した広角度・超硬合金製ガラスレンズ金型の開発	仙波卓弥教授
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所	2	避難促進のための防災GO!プロトタイプの開発	上杉昌也准教授
国土交通省 九州地方整備局 「令和3年度河川砂防技術研究開発公募地域課題(河川生態)」		大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究	乾 隆帝准教授

はじめに

大学の主要な取組成果

## 大型研究プロジェクト推進に向けた組織・体制を構築

研究者の研究意欲を高め、研究に打ち込める環境を整備。国の政策に沿い、研究者が組織の壁を越えて研究成果を社会に還元しやすい研究支援体制を構築しました。

### ■研究支援制度の概要

名称	趣旨	交付上限(一人(1件あたり))	
研究スタートアップ支援 (ライフイベント等復帰支援)	新任教員、ライフイベント復帰教員等の円滑な研究スタートアップをサポート	50万円(期間1年間)	
若手卓越研究支援	45歳以下若手研究者の卓越した研究の創出をサポート	グループ	初年度200万円、次年度200万円
		個人	初年度75万円、次年度75万円
研究高度化支援	研究者グループによる卓越した研究の創出や大型外部資金採択に向けた研究を2年に亘りサポート	1,600万円(期間2年間)	
科研費リトライ支援	科研費申請及び採択に向けた研究をサポート	70万円(期間1年間)	
学術論文作成支援	学術論文数増に向けて、英文翻訳等論文作成関連経費をサポート	20万円(累計)	
研究計画書作成支援	外部資金獲得に向けた研究計画書作成等をサポート	12万円(累計)	
学術図書出版補助支援制度	研究高度化及び研究成果の社会還元を支援することをサポート	12万円(累計)	

**総額0.23億円(R3年度)を投じ本学独自の研究支援を実施  
延べ59名(在籍者の1/3以上)が何らかの支援制度を活用して研究活動を実施**

▶ 上表に加え、以下の研究者支援制度も創設しました。

- <PI人件費制度>研究者からの申し出により、競争的研究費の直接経費から研究代表者(PI)の人件費支出を可能にする制度
- <クロスアポイントメント制度>研究者が、民間企業と大学など、複数の機関に雇用され、各機関における役割に応じて研究・開発及び教育に従事する仕組み

学校改革の具体的な取組状況

フシリティ・各設置校の状況

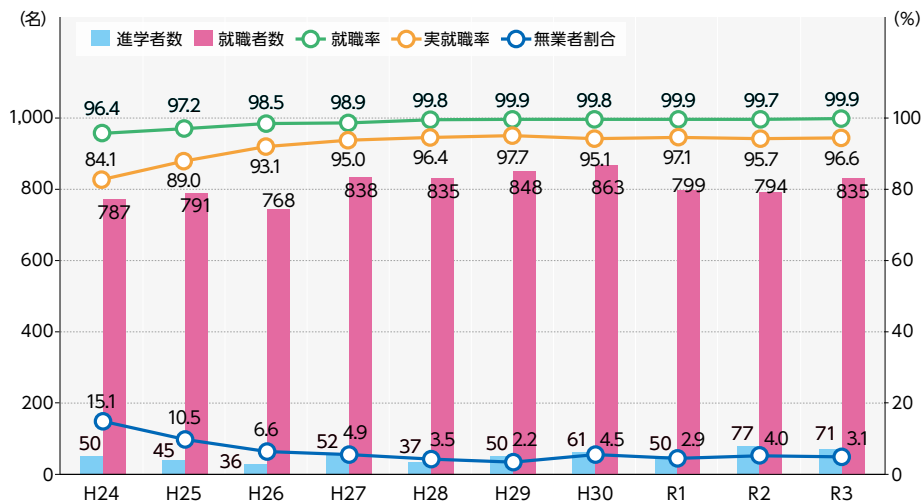
バックデータ集

## 4. 就職力の強化(戦略Ⅳ)

**実就職率は7年連続で「95%超」を達成。  
外部・企業の評価は高位安定しています。**

「自ら考え行動し、多様な分野で創造性を発揮できる実践型人材」の育成を目指しています。初年次からのキャリア教育に加えて、様々な就職支援プログラムを実践し、数値目標を達成、質的充実・学生満足度は高位安定的に推移しています。

### ■進路決定状況推移



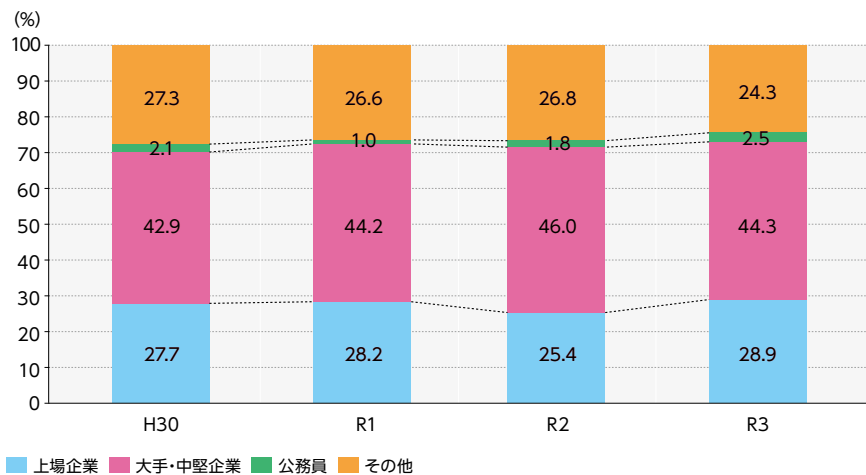
就職率\*1  
**99.9%**  
実就職率\*2  
**96.6%**

\*1 就職率=内定者数÷就職希望者数×100

\*2 実就職率=内定者数÷(卒業者-大学院進学者数)×100

(大学における進学者は大学院進学者に限る)

### ■企業規模別就職割合



上場企業・  
大手・中堅企業  
就職シェア率\*3  
**73.2%**

\*3 大手・中堅企業は  
資本金3億円以上もしくは  
従業員数300名以上

### ■大学通信「大学探しランキングブック2022」

『面倒見が良い大学』ランキング

**全国4位**

(九州1位)

『就職に力を入れている大学』ランキング

**全国5位**

(九州2位)

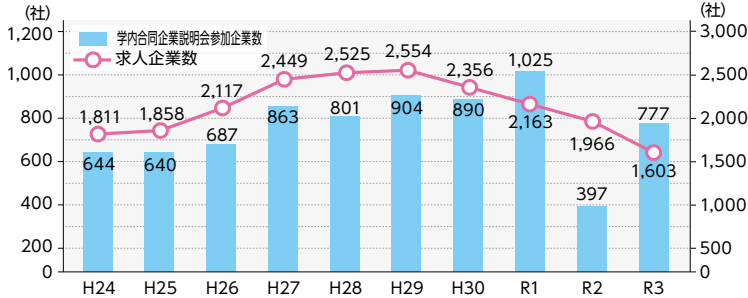
※全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学

※全国の高等学校の進路指導教諭が評価する大学

## 企業ネットワークをさらに拡充。学内合同企業説明会をハイブリッドで開催

コロナ禍に対応し、対面・オンライン併用で学内合同企業説明会を開催(例年、西日本最大級規模で開催)しました。また、業界研究フェアを開催し、学生の就活を強力にサポートしました。

### ■学内合同企業説明会参加企業数、求人企業数推移

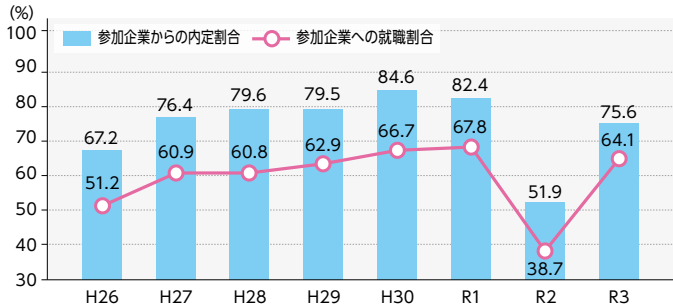


### ■学内合同企業セミナー対面型・オンライン型



「Web(ライブ型)」と併用 企業596社、学生1,407名参加

### ■学内合同企業説明会参加企業への内定・就職割合推移



### ■業界研究フェア



企業118社、学生1,300名参加

## 正課・課外の様々なキャリア教育を進路決定に総合。就業力向上を強力バックアップ

1年次から体系的なキャリア教育を実施。とりわけ、正課の「課題解決型インターンシップ」と課外の「模擬面接」は、学生の主体性、課題解決力、表現力の向上に大きく貢献しました。

### ■正課・課外で行うキャリア教育の連関

#### 1・2年

- キャリア形成
- 日本語表現法
- 技術者倫理
- コミュニケーション基礎
- インターンシップ

#### 3・4年

- 業界研究会
- インターンシップ
- 卒業研究

カリキュラム  
(正課)

就職支援  
(課外)

#### 1・2年

- 新生入面談
- 筆記対策  
(フレッシュマンスクール)

#### 3・4年

- 就職ガイダンス
- OB/OG座談会
- 模擬面接指導
- グループディスカッション対策
- 学内企業説明会
- 筆記対策
- 履歴書添削指導
- 交通費支援
- 保護者ガイダンス

### ■課題解決型インターンシップ



成果報告会の様子

### ■就活支援(模擬面接指導)



オンライン模擬面接の様子

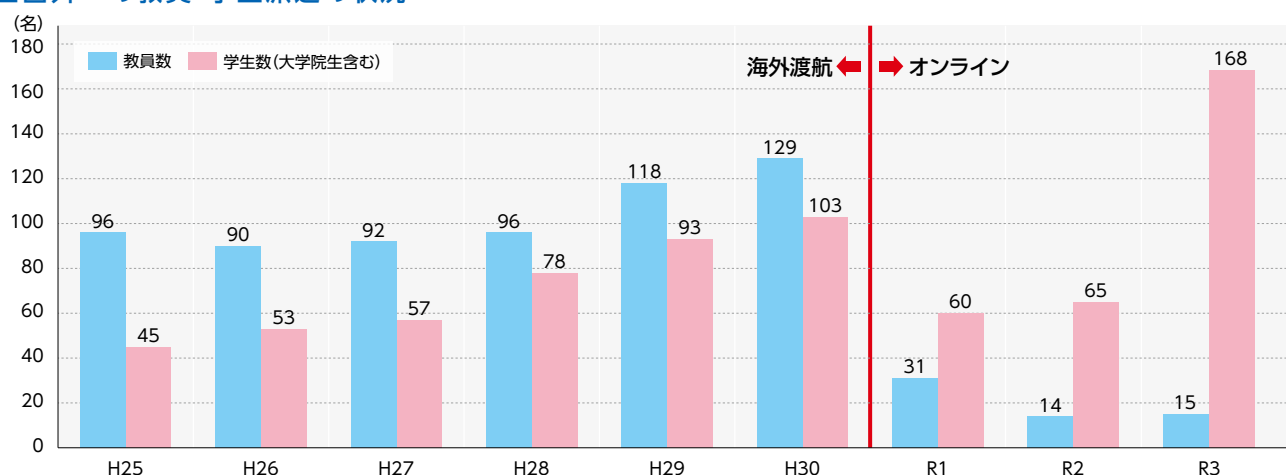


# 5-1. グローバル化の取組 (戦略 V)

## オンライン留学を積極化。参加学生のグローバルマインド・語学力が大幅にアップしました。

前年度に続き、学生の海外派遣・受入事業の中止を余儀なくされたため、学生のグローバルマインドの維持・向上に向けた様々なオンラインプログラムを実践しました。同プログラムへは、168名が参加しました。英語学習の質向上と学生満足度の向上につながっています。

### ■ 国外への教員・学生派遣の状況



### ■ オンライン英会話プログラムの位置付け

区分/レベル	初級	中級	上級
1			<b>Brighture &lt;ブライチャー&gt;</b> 【TOEIC400点/CASEC500点程度】
2	<b>CPILS &lt;シピルス&gt;</b> 【TOEIC300点/CASEC350点程度】		
3・4	オンライン英会話 (Native Camp, hanaso)		
5		<b>FIT VALE Program (米国)</b> 【TOEIC350点程度/CASEC450点程度】	
6	<b>Virtual Exchange Program</b> (タイ・台湾)【日本語で実施】		

### ■ オンライン英会話プログラムの取組概要、並びに学習成果 (抜粋)

	名称	取組概要	受講期間	取組成果 (参加者平均)
1	Brighture	語学学校の英会話プログラム	3週間	・参加者全員2段階 (15区分中) の学力向上 ・総合的満足度92%
2	CPILS	フィリピン人講師による1対1レッスン	4週間	・参加者全員1段階 (18区分中) の学力向上 ・総合的満足度89%
3	Native Camp	多国籍な講師陣による1対1のレッスン	3か月	・総合的満足度74%
4	hanaso	フィリピン人講師による1対1レッスン	1か月～3か月	・総合的満足度80%
5	FIT VALE Program	動画製作を通して行う日米両国文化の相互理解と交流	1週間または2週間	・総合的満足度100%
6	Virtual Exchange Program	グループディスカッション、プレゼンテーション、特別講義等	1か月	・総合的満足度99%



## 入国制限の長期化に対応。外国人留学生をオンラインでサポート

入国制限長期化の中で、オンラインでの日本語教育や日本人学生交流を積極化しました(日本語バディプログラム)。外国人留学生のみならず、日本人学生の海外での異文化体験機会不足を補うためにも、このプログラムは有効に機能しました。

### ■日本語バディプログラムの活動の様子



GSL学生メンバー\*からの応援動画メッセージも届きました。

### ■留学生交流活動(ワールドトラベラー)の活動概要



アルバニア・タイ・韓国・中国(写真左から)の留学生が、受付での「入国審査」後、疑似パスポートを手に「各国」を訪問し、文化や言語について楽しく紹介しました。

- ▶ \*GSL(グローバルスチューデントラウンジ)学生メンバー:α棟2階にある国際交流拠点で学生メンバーを組織。外国人留学生との交流や言語学修支援、海外留学に関する情報提供を行っています。

## オンライン留学プログラム参加に向けた準備学習の取組を強化

各種プログラム参加に向けた準備学習を積極化しました。コロナ禍にあっても、語学力向上や国際交流支援等の学生ニーズに積極的に対応しています。

### 留学準備学習の状況(英語・英会話学習の指導実績)

- |                    |                  |                    |
|--------------------|------------------|--------------------|
| ①マンツーマンレッスン 453回   | ②論文校閲・翻訳 79回     | ③テーマ別グループレッスン 18回  |
| ④英語スピーチコンテスト支援 48回 | ⑤EnglishCafe 19回 | ⑥英作文コンテスト支援 13回 など |
- 計630回、学生・教職員延べ976名参加**

### ■留学準備学習の実施状況



英語プレゼンテーションコンテスト(FIT TALKS)の様様



留学に興味・関心を持つ学生に向けて国際経験の長い教員が経験談を講話

## 5-2. 地域連携の取組 (戦略V)

**地元行政と連携し地域課題解決・地域活性化に貢献。「地域」を通じた学びが深化しています。**

近隣自治体と包括的連携協定を締結(福岡市・古賀市・新宮町・篠栗町・島原市)し、ゼミや実習科目においてPBL(課題設定・解決型学習)を継続しています。学生が主体的に地域貢献・地域活性化に取り組む事例が増えています。

### ■古賀市との取組



プラズマ照射を用いたスイートコーンの成長・品質向上実証実験

### ■新宮町との取組



小学生対象のサマーキャンプの運営ボランティア活動

### ■篠栗町との取組



鳴瀬ダムPBL最終発表会の様子

### ■島原市との取組



防災アプリ「防災Go!」体験ブースの展覧

▶「地域の活性化に貢献している大学」全国第4位(日経キャリアマガジン特別編集「価値ある大学2022-2023年版」日経HR)に選ばれました。



## 福岡市の学術・文化・経済振興に向けて「福岡未来創造プラットフォーム」を形成

地域人材育成ワーキンググループの幹事校として、地域の大学生を対象に幅広い学問領域や社会課題をテーマに学びに資する取り組みを推進しました。

### ■「福岡未来創造プラットフォーム」地域人材育成WG\*の主な活動(令和3年度)

\*本学が幹事校として運営

活動名称	成果
「福岡学」(全5回) 福岡で学ぶ大学生が福岡について共に学び、自分の未来とまちの可能性をひらくための特別な連携教育プログラム	受講実数22名 延べ60名
「SDGsを学ぶ」(全3回) SDGsに関わる実際の現場で活躍されている講師を招き、具体的な活動や体験などを聴講	受講実数33名 延べ83名
「文理不問!エンジニアに興味がある学生のための基礎講座」(全4回) エンジニアという仕事や働き方に関する講座を実施	延べ69名 (オンライン参加の実数が確認出来ないため)

### ■福岡未来創造PFの取組の様子



エンジニア基礎講座



「SDGsを学ぶ」を受講



「福岡学」のフィールドワーク

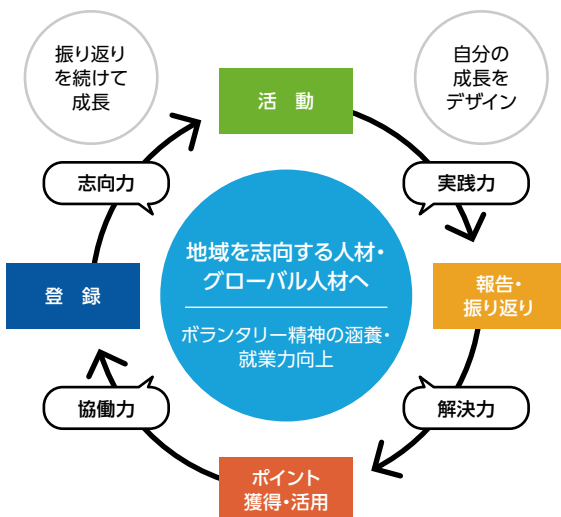
- ▶ 福岡未来創造プラットフォーム:福岡都市圏に位置する大学・自治体・産業界の垣根を越え、高等教育の振興と地域社会の活性化を目的としています。

## 学生が主体的に取り組むPBL(課題設定・解決型学習)活動を積極化

地域貢献・社会貢献・自己啓発などの課外活動に取り組む学生のモチベーションアップと活動の可視化を行い、活動の拡大と主体的で「深い学び」につなげています。

### ■「FITポイント」制度の概要

地域貢献、自己啓発など大学指定の課外活動に取り組む学生を支援する本学独自の制度。学生の主体的学びや成長につなげることを目的とする。



### ■「FITポイント」対象の活動



新宮海岸清掃の様子



共同プログラム受講の様子

### ■「FITポイント」進呈の様子



FITポイント進呈の様子



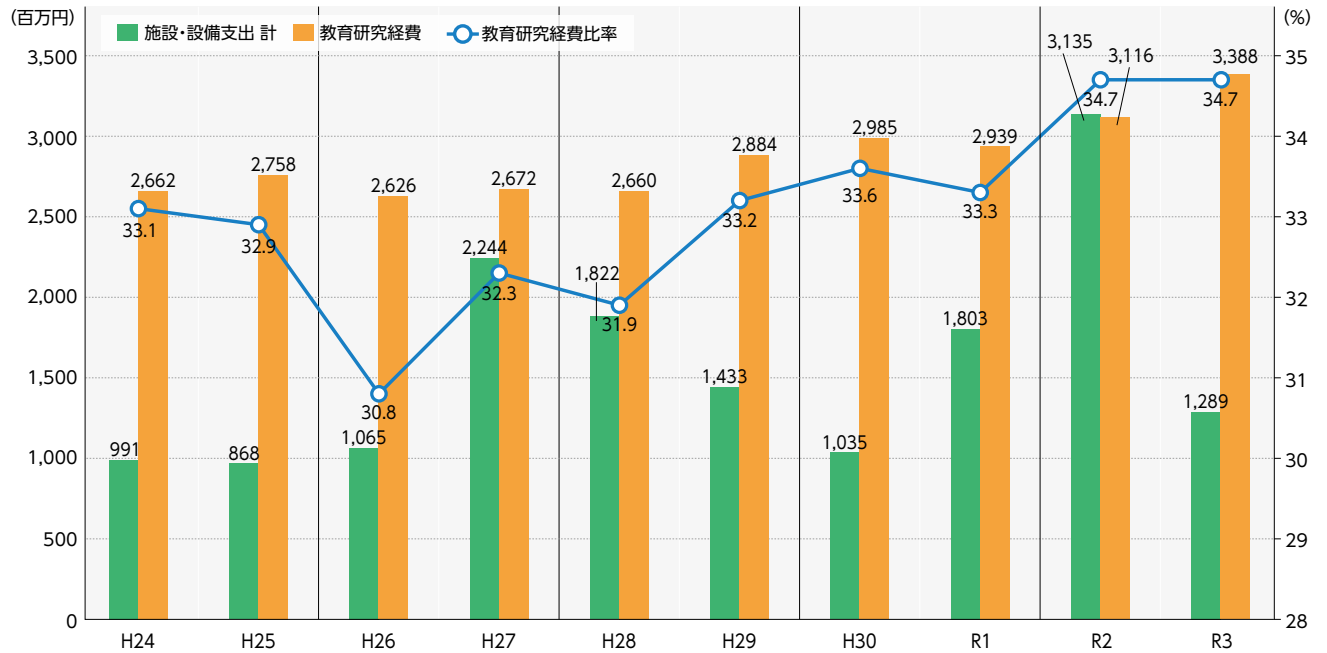
FITポイントは学内売店や書店等で使用可能

# 6. 財政基盤の安定(戦略Ⅵ)

## 健全財政を礎にして、教育・研究活動への資金投下を積極化しています。

経営・財政運営の基本の方針は、「健全財政を堅持しつつ、教育・研究活動へ積極的に資金投下する」ことです。これに沿って、学費の教育・研究活動への最大還元を継続しています。

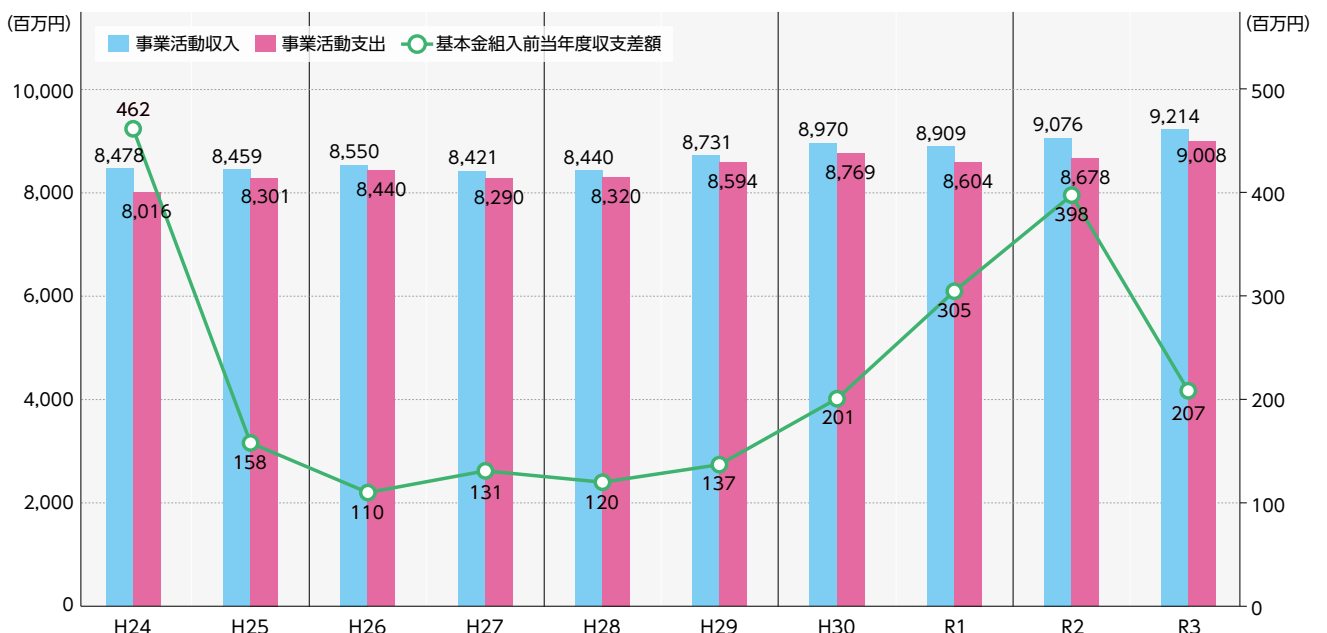
### ■施設・設備支出、教育研究経費(比率)推移



## 17年連続で計画どおりの収支差額プラス(黒字)を計上しています。

PDCAによる経営管理の仕組みによって計画実現性を高めています。経営の効率化・安定化を実現し、積極的資金投下と安定財政を高次でバランスさせ、17年連続で計画どおりの黒字を計上しました。

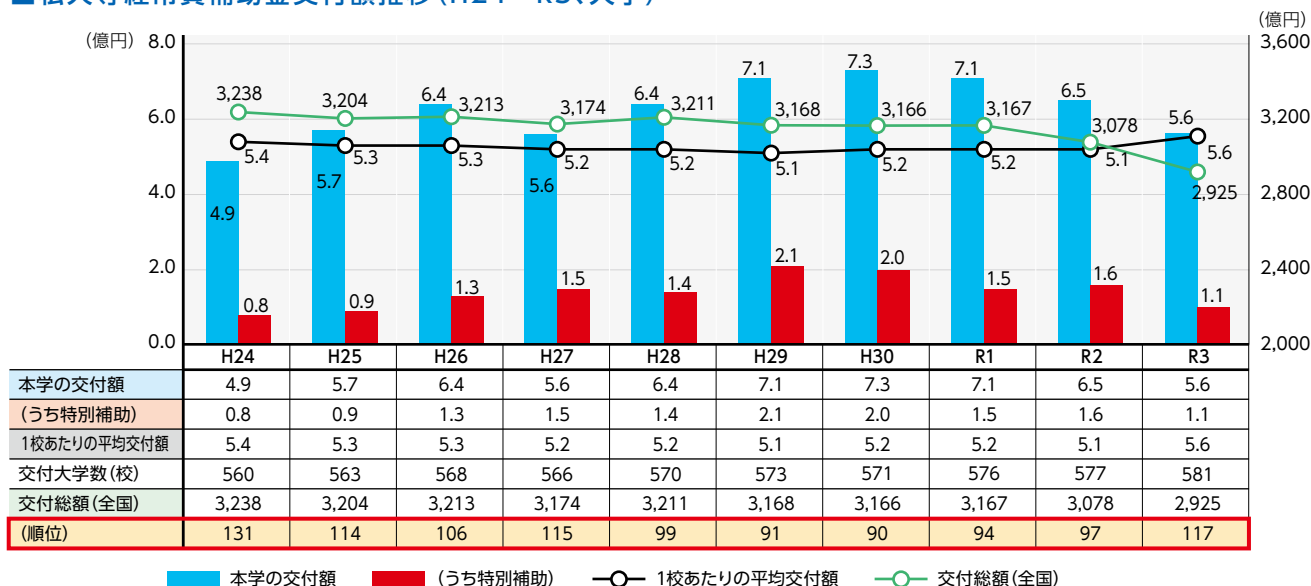
### ■基本金組入前収支差額推移



## 国等の助成事業(社会ニース)との適合度合いを高め、補助金は高水準を維持しています。

全国私立大学等の経常費補助金が減少する中、私学行政の求めに沿って教育・研究活動や学校運営の改善を積極的に進めることによって、経常費補助金は高い水準を維持しています。

### ■私大等経常費補助金交付額推移(H24～R3、大学)

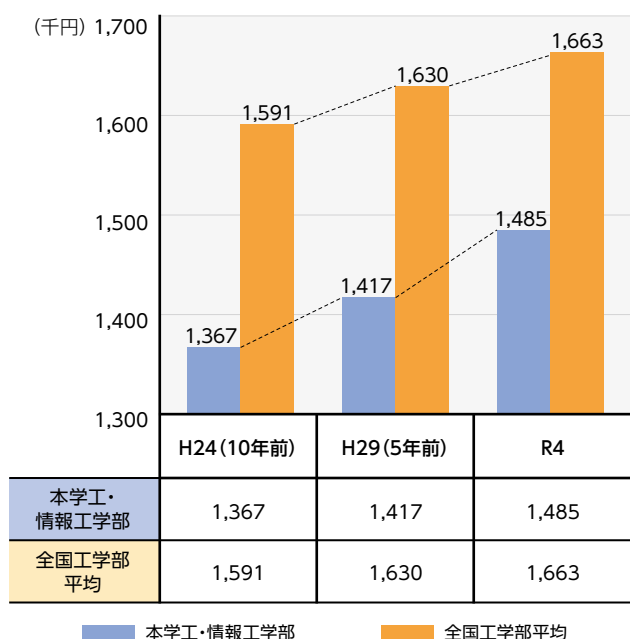


▶ 補助金交付順位は学校改革取組の活発さに比例する傾向があります。本学の順位は、117位/581校であり、「相対的高位ポジション」を維持しています。(財政同規模の大学は160位前後)

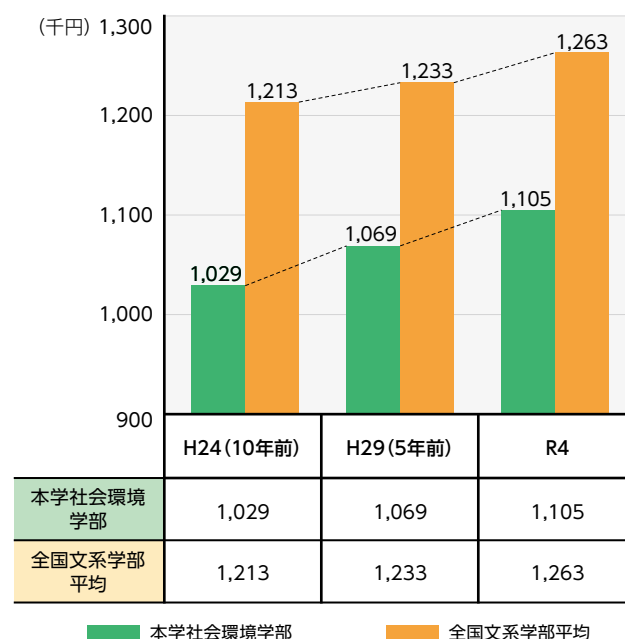
## 全国屈指の低学費を維持。経済的理由での退学等を抑制しています。

全国屈指の低学費で保護者の経済的負担を軽減しています。また、修学期間中の経済的困窮に柔軟に対応(独自奨学制度・分割納入対応等)し、コロナ禍においても経済的理由による退学等は極めて低い水準にあります。

### ■大学・学部の学費の相対比較(工学部・情報工学部)



### ■大学・学部の学費の相対比較(社会環境学部)



# 7. 学校運営に対する外部評価

## 経営・財政に対する外部評価(格付会社(R&I、JCR))が高位安定しています。

学園運営のいっそうの改革・改善を推進するため、第三者の視点・外部評価を重視し、格付会社2社の評価を受けています。積極的・効率的な施設・設備投資や、事業計画と予算の連動性の高さ、予算管理精度の高さ等が高く評価されています。

### ■格付会社2社からの評価(R&I:(株)格付投資情報センター、JCR:(株)日本格付研究所)

**経営・財務の安定性で高い評価**

R&I格付 **A+** 方向性:安定的

令和2年から3年連続[A+]

JCR格付 **AA-** 方向性:安定的

令和3年度に「AA-」に向上

### ◎格付評価のポイント(令和2年度決算をもとにした評価)

	当年度の格付評価のポイント	格付会社課題認識
学校運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>九州地区有力私大の位置付けに変化なし(地位確立)</li> <li>志願者数は高水準で推移。入試難易度も上昇傾向</li> <li>コロナ禍におけるAL積極化ときめ細かい学生支援</li> </ul>	「上昇トレンドの確立」 「継続的な教育・研究の高度化」 「経営計画の実質化と計画実現性向上」
経営・ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> <li>PDCAサイクルの実効性と経営のスピード感</li> <li>学生・生徒への学費原資の積極還元方針</li> <li>収支差額は低位であるも財務構成は高い格付に符合</li> </ul>	
財政全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算管理精度の高さと強い予算統制を背景に今後も健全な財政運営が可能</li> <li>施設・設備の維持更新は、既存引当資産と期間キャッシュフローで対応可能</li> </ul>	

## 各種ランキングで九州No.1が続出。地域貢献力・教育研究力が高く評価されています。

人材育成力の高さや、学術研究の地域への還元など、地域経済の活性化に関するランキングが、過年度から高く評価されてきました。加えて、学術・研究関係指標も評価が高まっています。

### ■主要ランキング

#### □「人材育成力の高さ」

<p><b>就職率</b> (卒業生300名以上1,000名未満)</p> <p><b>九州私大No.1</b></p>	<p><b>就職率</b> (工学部)</p> <p><b>九州私大No.1</b></p>	<p><b>就職率</b> (情報工学部)</p> <p><b>九州私大No.1</b></p>	<p><b>実就職率</b> (社会環境学部)</p> <p><b>九州私大No.1</b></p>
朝日新聞出版 「大学ランキング2023年版」(R4.4.30)			週刊東洋経済 「本当に強い大学2022」(R4.6.1)

#### □「地域経済への貢献」

地域の活性化に貢献している大学

**九州No.1**

就職支援に熱心に取り組んでいる大学

**九州No.1**

#### □「教育・研究力の高さ」

教員博士号取得者比率  
(情報工学部)

**九州私大No.1**

学生一人当たり私学助成額  
(学生数2,000名以上1万未満、医歯薬学部除く)

**九州私大No.1**

日経キャリアマガジン特別編集  
「価値ある大学2022-2023年版」日経HR (R4.5.31)







朝日新聞出版 「大学ランキング2023年版」(R4.4.30)



## 経営・財政の管理手法が、学校経営研究誌・研究者から高く評価されています。

経営管理の仕組みやその成果が、日本私立学校振興・共済事業団や日本私立大学協会等の関係団体の研究誌等で紹介されています。

### ■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例 〈文部科学省、日本私立学校振興・共済事業団等、国の機関からの紹介事例〉

<p><b>「大学経営強化の事例集」</b></p> <p>文部科学省委託研究において、本学の経営計画およびその実行計画の管理運営システムについて、数少ない好事例として紹介されました。</p>  <p>(平成19年3月)</p>	<p><b>「大学外組織評価研究会」</b></p> <p>(独)大学改革支援・学位授与機構の研究で、本学の経営管理システム、特に様々な取り組みの評価活動について、他大学に重要な示唆を与えるとして評価されました。</p>  <p>(平成21年3月)</p>	<p><b>「大学評価・学位研究」</b></p> <p>本学のPDCAの一環として行う事業評価・改善の手法が、非営利組織の経営論の権威であるピーター・F・ドラッカーの経営理論との対比によって評価されました。</p>  <p>(平成22年3月)</p>
<p><b>「大学・短大の経営事例集～経営基盤強化のために」</b></p> <p>私立大学の経営基盤強化に向けた成功事例として訪問調査を受け、その結果が冊子としてまとめられ、全国で紹介されました。</p>  <p>(平成29年3月)</p>	<p><b>私大振興検討会議「議論のまとめ」</b></p> <p>28年10月に、文部科学省「私立大学等の振興に関する検討会議」の席に学園の常務理事が招致され、経営改革事例を報告した議論のまとめが公表されました。</p>  <p>(平成29年5月)</p>	<p><b>「大学改革を成功に導く特色ある取組事例集」</b></p> <p>中期経営計画を軸とした経営管理システムと情報共有による教職協働での改革の実践が好事例として紹介されました。</p>  <p>(平成31年2月)</p>

## 学校運営の管理手法についても、公益法人や外部機関等から高く評価されています。

施設・設備への積極投資と財務運営(教育・研究の改善・高度化を主目的とする予算制度)の両立が、全国の教育関係者・大学行政の研究者等の研究誌等で評価されています。

### ■ 本学の経営・財政の管理手法が好事例として紹介された例〈公益法人や大学行政研究機関等からの紹介事例〉

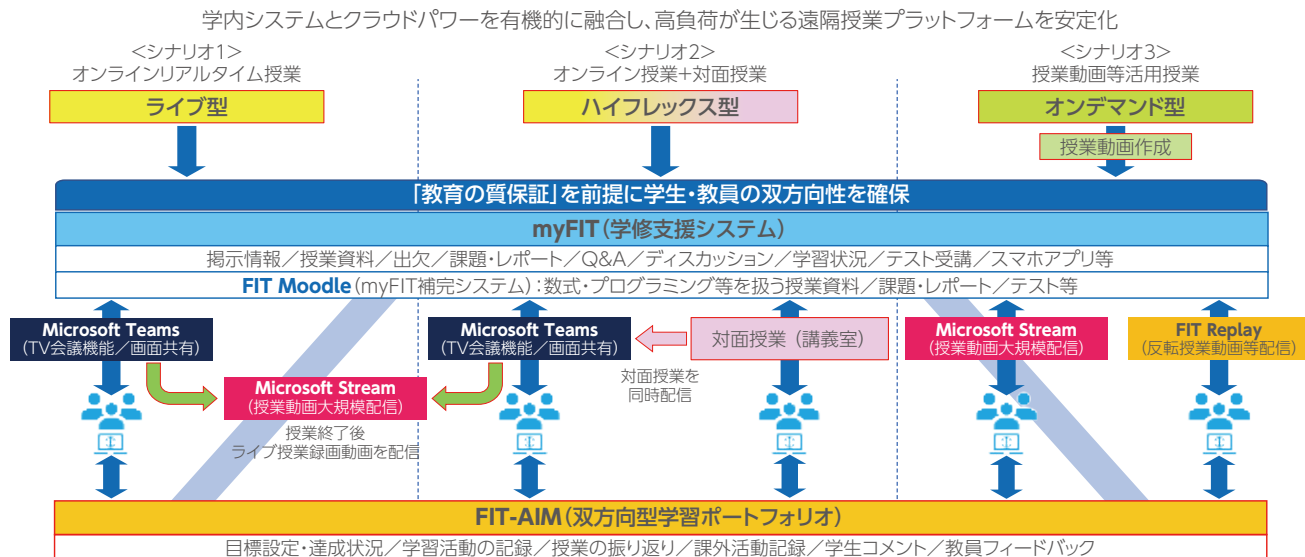
<p><b>「私大経営システムの分析」</b></p>  <p>(平成19年11月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p><b>学校法人</b></p>  <p>(平成20年2月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p>  <p>(平成20年3月)</p>	<p><b>「私立高等学校のこれからを考える」</b></p>  <p>(平成20年3月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p><b>学校法人</b></p>  <p>(平成20年7月)</p>	<p><b>「カレッジマネジメント」</b></p>  <p>(平成21年5月)</p>
<p><b>「カレッジマネジメント」</b></p>  <p>(平成23年1月)</p>	<p><b>「大学経営の評価システム」</b></p>  <p>(平成24年3月)</p>	<p><b>「中長期経営システムの確立、強化に向けて」</b></p>  <p>(平成25年2月)</p>	<p><b>「大学マネジメント改革」</b></p>  <p>(平成26年3月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p>  <p>(平成26年5月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p><b>学校法人</b></p>  <p>(平成28年1月)</p>
<p><b>「私学経営」</b></p>  <p>(平成29年5月)</p>	<p><b>「日本私立大学協会の私学高等教育研究所公開研究セミナー」</b></p>  <p>(平成29年10月)</p>	<p><b>「学校法人」</b></p> <p><b>学校法人</b></p>  <p>(令和元年7月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p>  <p>(令和2年4月)</p>	<p><b>「大学時報」</b></p>  <p>(令和3年1月)</p>	<p><b>「私学経営」</b></p>  <p>(令和4年7月)</p>

# 1. 教育改善の取組

## ICT基盤・機器類を駆使して、AIの高度化と遠隔授業の円滑な実施・改善に注力

3年度は、対面授業の実施を原則としました。実施にあたっては、2年度に培ったノウハウを基にICTを活用して、更に教育効果の高い授業の実現を図りました。感染拡大によって一部遠隔授業を拡大せざるを得ない状況においても、大いに力を発揮しました。

### ■ 遠隔授業実施フローチャート

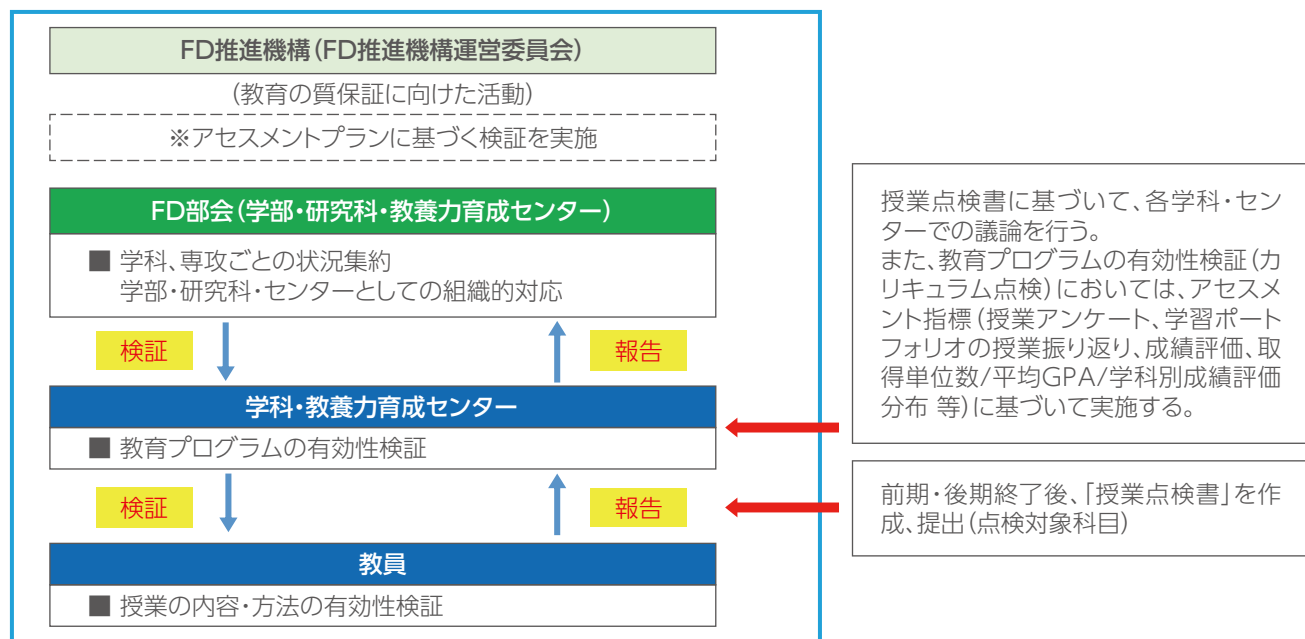


- ▶ 高度情報化ソフトウェア (Microsoft、Adobe、Mathematica、MATLAB等) について、学生が授業のみならず、自主学習にも活用できるように包括ライセンス契約を継続・拡充しています。

## 授業・カリキュラムの点検・評価活動を本格化。学びの本質的改善を加速

3年度からアセスメントプラン (学修成果の評価・改善の方針) を則って、授業・カリキュラム点検・評価活動を本格化しました。全学・学部学科 (カリキュラム) ・授業科目・学生のそれぞれのレベルで、学修成果・教育成果を点検・評価し、教育・授業改善ならびに学生の成長につなげています。

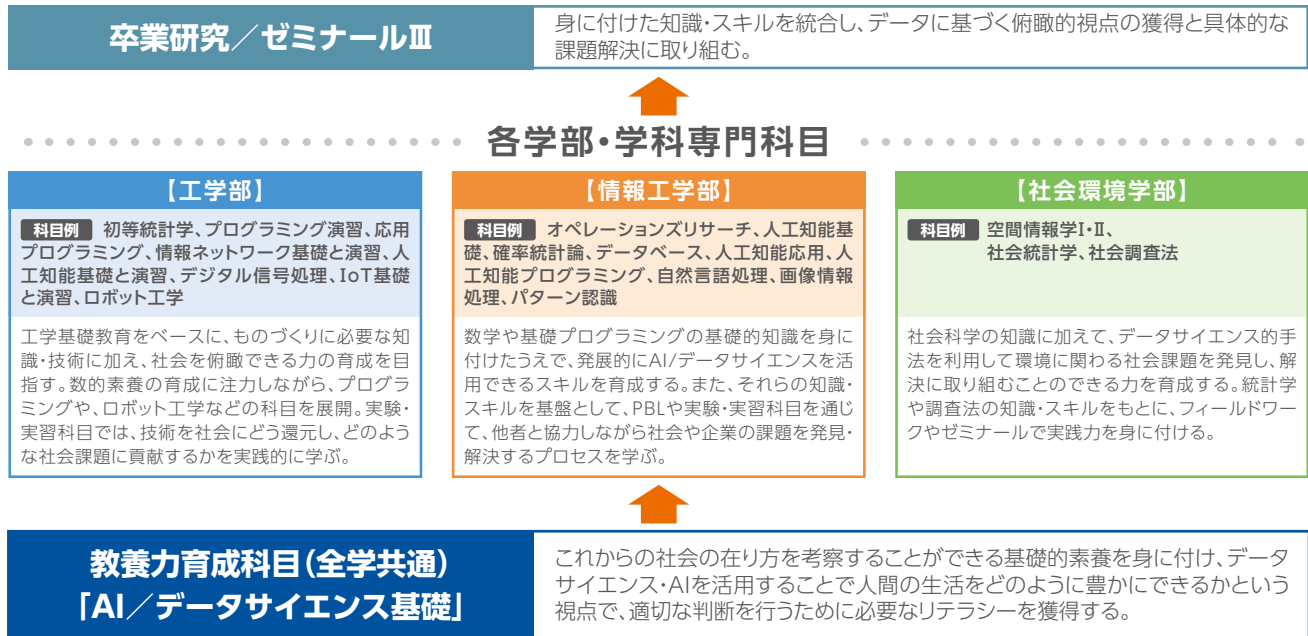
### ■ 授業科目レベル・カリキュラムレベルのアセスメントの流れ



## FD推進機構に全学教育開発ワーキンググループを新設。ICTを活用したAL型授業の在り方等を検討

全学教育開発ワーキンググループは、ICTを活用したAL型授業の在り方について検討するとともに、教学関連データの収集・分析、全学FDの推進（FD研修の体系化、横断型教育（数理・AIデータサイエンスプログラム）の実施等）に関する事項について取組みを進めています。

### ■ 数理・AIデータサイエンス教育プログラムの概要



## 学習支援センターを設置。ラーニングサポート機能を強化

H21年から新入生の基礎学力補強と学習習慣の涵養を目的に活動してきたフレッシュマンスクールと、コロナ禍におけるラーニングコミュニティとして自立的な学習を支援してきた「FIT-inサポート」を統合して運用しました。4年度からは学習支援センターとして、ラーニングサポート機能を高めて再スタートしています。

### ■ 学習支援センター「FIT-inサポート」の活動

**先導・教育スタッフによる学習相談**  
**FIT-inサポート**

先導・教育スタッフが、数学・レポート・プログラミング・実習科目等、幅広くサポートしています。その他授業や学生生活についても相談が受けやすいため、安心です。お気軽にご相談ください。

**時間** 月～金：2～5階（10：40～17：50）  
**場所** E棟3階 学習支援センター  
**対象** 全学年・全学部学生

**内容** 数学・レポート・プログラミング・実習科目等、授業での「わからない」について先輩および教育スタッフが答えます。課題を何人でもOK！学習のペースで利用することができます。

**FIT-inサポート L1サポート**

**2階** 生命環境 環境工学  
**4階** 情報通信  
**5階** 情報通信 知能機械

**FIT-inサポート**  
**システムマネジメント学科なんでも相談会**

情報処理、情報システムなどについて質問でも、なんでも相談が受けられます！

### ■ E棟3階に新設したラーニング commons



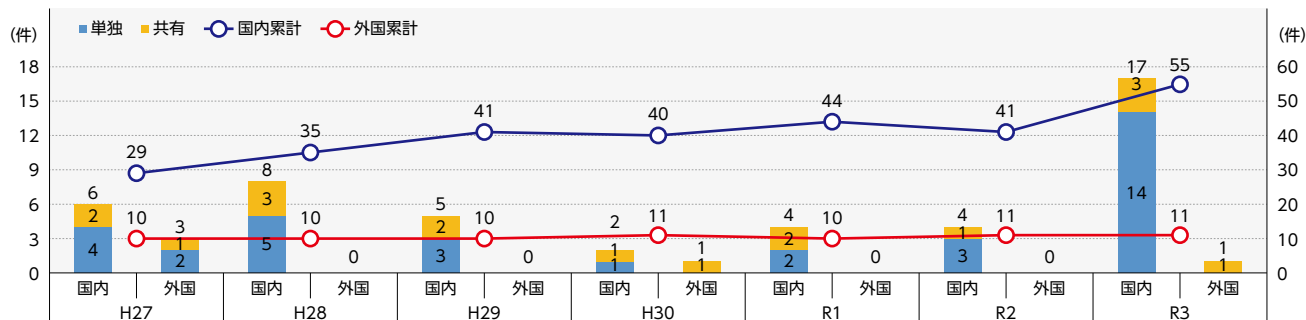
▶ E棟3階の学習支援センターの隣接エリアにラーニング commons を新設（R4年4月）しました。先輩学生や同級生との学び合い、教え合いを大切にしています。

## 2. 研究高度化の取組

### 産業界に向けた研究情報(研究成果、研究技術)の公開・発信を積極化

国・地域・産業界との実用化研究の進展に伴い、研究成果の権利化(特許登録)が拡大しています。実用化技術(特許情報等)の公開・発信等を通じて、産業界の発展に広く貢献しています。

#### ■ 本学が権利を保有する特許取得状況推移(企業との共有を含む(国内・外国))



#### ■ 特許等、知的財産実用化までの流れ



▶ 新技術の実用化・事業化に向けた相談の増加に対応するため、専門職員を配置し、企業等と産学間のコーディネートを行っています。

### 産学官の連携強化により、地域課題解決(社会実装)研究がさらに進展

地域の高齢化や気候変動に対応する技術開発を長年にわたり積み重ねてきた結果、研究成果への期待が地方自治体や産業界から多く寄せられています。

#### ■ (株)NTTドコモ シニア層向けオンライン運動指導サービスの有償テストマーケティングを開始 ～フレイル\*予防により、健康寿命の延伸に貢献～

シニア層向けのオンライン運動指導サービス「からだキープ™」の有償テストマーケティング  
実施期間 2022年2月1日(火)～2022年3月31日(木)

(株)NTTドコモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>統括 ・フレイル推定AIなどの技術提供、技術検証</li> <li>実利用に向けたアプリケーションの開発</li> </ul>
国立大学法人九州大学基幹教育院 岸本裕歩研究室	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス監修/運動指導動画の提供</li> <li>2021年度上期に実施した検証フィールド提供、検証結果分析</li> </ul>
福岡工業大学 ウェルネス研究センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス監修/リスクスコアを用いた要介護化リスク判定の検討</li> </ul>
(株)NTTデータMSE	<ul style="list-style-type: none"> <li>テストマーケティング運営/提供</li> </ul>

(出典:(株)NTTドコモ・2022年1月31日付報道発表)

#### ■ 福岡市「mirai@共働事業“インフラテック実証プロジェクト”」『AIを活用した水処理センターにおける流入量予測』実証プロジェクト AIを活用した流入量予測技術プロジェクト(本学・千代田計装(株)他4件)

千代田計装(株) 福岡工業大学

内外部ビッグデータ

気象庁データ等

下水流入量予測AI

予測結果

ポンプ場 A

水処理センター

流入下水量 xxx (m3/h)

下水流入量予測AI(人工知能)システム構築と予測精度検証に取り組む。

①AI(人工知能)技術を活用した下水流入量予測システムを構築および予測精度の検証を行う。

②福岡市や気象庁等の内外部ビッグデータをAIの学習に利用する。また、効率的な運用支援、コスト削減に繋げるため、予測精度を左右する主要なデータについて検討する。

(出典:福岡市道路下水道局下水道施設部施設整備課、同総務企画局企画調整部・令和3年6月10日付報道発表)

▶ \*フレイル:健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下が見られる状態のこと。



## 「起業活動支援プログラムPARKS」(国から認定・採択)に、共同機関として参画しています

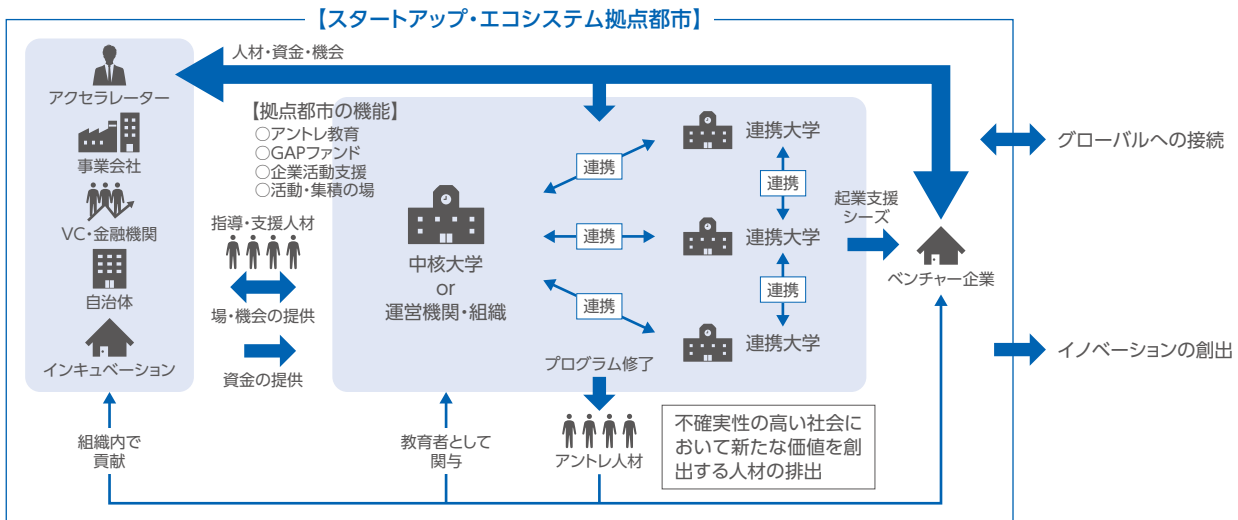
アントレプレナーシップ(社会課題の解決に向けて主体的に貢献できる能力)を有する人材の育成や、起業に意欲的に取り組む教員等の大学発ベンチャー創出を支援しています。

### ■スタートアップ・エコシステム形成支援採択プラットフォームによる貢献度



PARKS(Platform for All Regions of Kyushu & Okinawa for Startup-ecosystem)

オール九州スタートアップエコシステムプラットフォームの略。主幹機関の九州大学、九州工業大学はじめ九州・沖縄15大学と、ベンチャーキャピタルである㈱FFGベンチャービジネスパートナーズで設立されたプラットフォーム



- ▶ アントレプレナーシップ研修: JST-SCORE (社会還元加速プログラム) 事業の一環として3回実施。本学学生・教職員・他大学学生など、延べ58名が参加

## 研究成果の実用化に重点(文部科学省の大型プロジェクト研究事業に数多く採択)

医療技術への応用が期待されるナノ素材を活用した研究や大規模津波予測技術研究の開発など、研究成果の実用化に向けて学部横断でプロジェクト研究を進めています。

### ■文部科学省大型研究補助事業の近年の採択状況

#### ■研究テーマ:物質・エネルギーデバイス研究センター整備事業

■採択年度:平成27年度

#### ■期待される用途や効果

無機ナノシートを複合化した新開発素材によるウェアラブル端末や歩行・波力発電への展開が期待される革新的エネルギーデバイスの開発



#### ■研究テーマ:先端計測技術研究センター整備事業

■採択年度:平成25年度

#### ■期待される用途や効果

マイクロ波レーダー計測と画像センサ計測を組み合わせた4次元総合解析による津波予測システムの開発



#### ■研究テーマ:ハイテクリサーチセンター整備事業

■採択年度:平成17年度

#### ■期待される用途や効果

微生物とオゾン分解フィルターを組み合わせた排水浄化システムを開発し、酒類製造プロセス等で発生する廃棄物浄化に活用



#### ■研究テーマ:次世代マイクロ/ナノ金型開発センター整備事業

■採択年度:平成16年度

#### ■期待される用途や効果

ナノレベルの精密加工技術を開発し、自動車産業等で求められる精密金型製作に活用

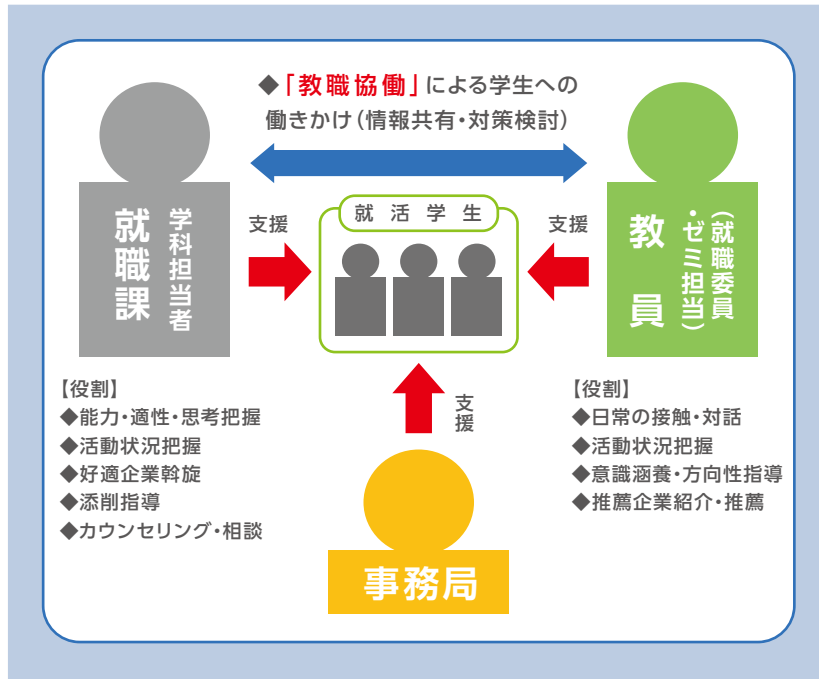


# 3. 就職支援の取組

## 「学科別の個別指導」で、すべての学生にオーダーメイドの就活サポート

学科別に専属相談員を配置し、就職カウンセリング、職業適性・能力判断、企業分析、エントリーシート・履歴書指導、準備学習・面接指導等のサポートをそれぞれの学生に合わせて実施しています。

### ■「個」に重点を置いた全学的な就職支援体制



### ■ 学科別個別指導の様子



### ■ 面接指導・履歴書添削の様子



## 就活に関する様々な不安を解消。多彩な就活支援プログラムでサポート

上場大手企業志望学生向けのトップアップ講座の開催や就活交通費支援、保護者向けのガイダンス開催など多彩なプログラムで、就活時の不安を解消し、学生の夢の実現を教職員全員で後押ししています。

### ■ 学生向け支援講座



面接対策講座や業界研究セミナー等様々な就活対策講座を実施

### ■ 保護者向けガイダンス(当年度はオンデマンド配信)



大学3年生、大学院・短大1年生の保護者を対象に就活期の保護者サポートのあり方や就職事情などをガイダンス

### ■ 就活交通費支援

- 青地区: 37,000円
- 緑地区: 30,000円
- 黄地区: 24,000円
- ピンク地区: 7,000円
- オレンジ地区: 20,000円



就職活動の際の交通費支援を実施

### ■ プラスワンプロジェクト

趣旨	卒業時に就職できなかった学生に対し、学部4年間の就職支援の延長として1年間継続的に支援
取組内容	専任担当者を配置 ・キャリアプランの再支援 ・面接指導、ビジネスマナー教育 ・求人紹介

就職活動中の拠点として、東京・大阪・広島・福岡の4都市にセカンドキャンパスを設置



# キャリア教育型(課題解決型・仕事理解型等)インターンシップを積極化

2・3年次の正課で「インターンシップI・II」を開講し、就業に対する積極性を高めています。当年度は、オンラインでの仕事理解型インターンシップに85名が参加し、学生のキャリア形成意欲を醸成しました。

## ■キャリア教育の推進

### 1 年次

志向  
する力



**キャリア形成** 自己や社会に対する理解を深めながら、自分自身の将来設計を考える。



共働  
する力



**コミュニケーション基礎** 議論の型を用いることで、高度なコミュニケーション能力を育成。

### 2 年次

解決  
する力



**技術者倫理** ケースメソッドなどを用いた授業を通じ、問題発見から解決策の提案までのプロセスを学ぶ。

### 3 年次

実践  
する力

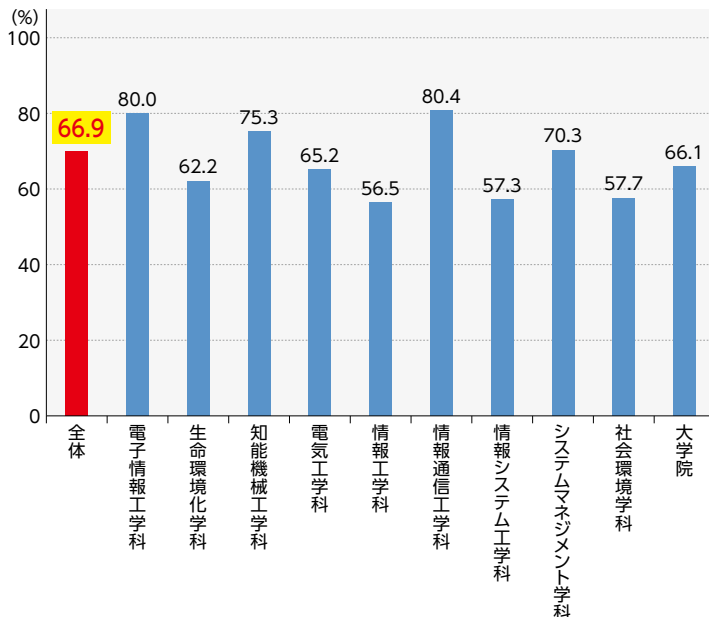


**インターンシップI  
インターンシップII** インターンシップの実習及び、その事前事後の学修を通じて職業観を高めるとともに、仕事と専門知識の関連性について考える学びを積み重ねる。

# 採用接続型(学生・企業マッチング型)インターンシップを積極化

コロナ禍にあって、正課外でWeb(オンライン)でのインターンシップフェア等を実施しています。就職活動の早期化・短期化に対応するため、積極的な参加を促しています。

## ■インターンシップ参加率



## ■インターンシップフェアの様子 (当年度はWebライブ型開催)



2日間で企業90社、学生2,576名(延べ)参加

## 4. ラーニングサポートの取組

### 学生ケアを継続して実施。脱落防止を目的として、全学をあげて修学をサポート(年間10回延べ約1,800人)

コロナ禍において、遠隔授業への対応や生活スタイルの大きな変化に戸惑う学生が多く存在します。学修意欲の低下や目標の喪失などからドロップアウトに繋がらないように、多様な修学支援を実施しました。各学科と関係部署(教務課・学生相談室等)が連携し、全学をあげて行っています。

#### 令和3年度の修学上の学生ケア実施状況

	第1弾	第2弾	第3弾	第4弾	第5弾	第6弾	第7弾	第8弾	第9弾	第10弾
実施月	4月	5月	5月～6月	6月～7月	9月～10月	10月	11月	12月～1月	1月	2月～3月
対象者	履修登録を行っていない学生・エラーが発生している学生等	出席率65%以下、脱落リスク大と判断された学生等	出席率65%以下、脱落リスク大と判断された学生等	出席率65%以下、脱落リスク大と判断された学生等	前期修得単位数が基準単位数に満たない学生等	出席率65%以下、脱落リスク大と判断された学生等	出席率65%以下、センサー科目の出席率が低い学生等	出席率65%以下、センサー科目の出席率が低い学生等	出席率65%以下の学生	留年が決定した学生
対象学年*	全学年	1～3年生	1～3年生	1～3年生	1～3年生	1～3年生	1～3年生	1～3年生	1～3年生	1～3年生
人数	333人	171人	168人	183人	353人	175人	130人	122人	131人	—
対象者抽出時期	履修登録期間終了後	第3週終了時点	第6週終了時点	第9週終了時点	前期成績判定後	第3週終了時点	第6週終了時点	第9週終了時点	第12週終了時点	後期成績判定後
ケア実施の特徴	myFITにて一斉通知。電話にて事情の確認・指導	個別面談を中心に実施。連絡が取れない場合は、保護者に連絡	緊急事態宣言中につき、電話によるフォローが中心。FIT-AIMへの入力を指導	第2・第3弾との重複学生多数。前期試験への積極的取組を指導	後期に向けて、1年生はオリエンテーションと個別面談、2・3年生は個別面談	個別面談が中心。アンケートの回答が気になる学生34名とも面談実施	個別面談と電話で実施。脱落との相関が高いセンサー科目を設定、ケア実施	個別面談と電話で実施。脱落との相関が高いセンサー科目を設定、ケア実施	個別面談・電話で実施。新たに対象となった学生を優先	対象者のうち、希望する学生と保護者との面談

\*4年生のケアは、ゼミ担当教員が実施

▶ 学生ケアを実施するにあたっては、学科長、教務委員、クラス担任、学生相談室職員、保護者等と連携して組織的に対応しました。

### 新型コロナウイルスワクチンの大学接種を実施。「対面授業実施」をサポート

「令和3年度授業実施方針」を堅持するために、ワクチン接種(延べ約3,400人)を行いました。学生、教職員等が安全・安心に授業参加するための支援です。医療系学部のない大学の中では、いち早く対応できました。

#### 令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種実績

		1回目	2回目	合計
実施日		8/24、8/25、 8/29、8/30 (人)	9/21、9/22、 9/24、9/27 (人)	(人)
接種者数*	学生	1,572	1,562	3,134
	教職員	118	110	228
	その他	25	25	50
	合計	1,715	1,697	3,412

\*学生は、大学生・大学院生・短大生の約1/3が学内でワクチンを接種  
その他は、近隣住民および協力会社社員等



## 学生の主体的な創作活動を強力サポート(プロジェクト数・登録者数が大幅に増加)

モノづくりセンターでは、学生のモノづくり意欲に対応し、5つの公募プロジェクトが新たに始動しました。17プロジェクトに174名(R2年141名)が登録し、自由な発想に基づいてモノづくりに挑戦しています。

### ■モノづくりセンタープロジェクト

17プロジェクト  
学生 174名 が登録

- ソーラーカー
- 衛星コン
- ロボットコンテスト
- ロボットアーム
- ロボット相撲
- 教育用味見ロボット開発
- 二足歩行ロボット
- アマチュア無線体験
- 手作りアクセサリ
- 4輪2輪メンテピット
- Air Hockey Robot開発
- レゴからくり
- 新規** ●おとめが池の環境保全
- 新規** ●放電加工回路の作製
- 新規** ●グッズ製作
- 新規** ●未来のICT
- 新規** ●超伝導デモ

### ■活発なプロジェクト活動



ソーラーカープロジェクト ソーラーカーレース鈴鹿2021



Air Hockey Robot開発 「ミスミ学生ものづくり支援プログラム」採択

## 高難度資格取得に果敢にチャレンジ。学生の将来の夢への挑戦を強力サポート

学科独自の難関国家資格取得講座や、エクステンションセンターでの各資格取得講座を開講し、コロナ禍にあっても自分の将来の夢に向かって進み続ける学生たちに強力なサポートを行いました。

### ■令和3年度の主な資格取得の状況

資格・試験名	合格者数
第二種電気主任技術者	1
第三種電気主任技術者	1
第一種電気工事士	1
公害防止管理者試験大気関係第1種	1
公害防止管理者試験水質関係第3種	1
公害防止管理者試験水質関係第4種	1
第一級陸上無線技術士	14
第一級陸上特殊無線技士	12
第二級海上特殊無線技士	12
第三級海上特殊無線技士	7
危険物取扱者乙種4類	10
危険物取扱者甲種	7
機械保全技能士3級	5
基本情報技術者試験(FE)	16
ITパスポート	26
第二種電気主任技術者(一次試験合格)	2
第三種電気主任技術者(科目合格)	2
公害防止管理者(科目合格)	5
基本情報技術者試験(FE)午前科目試験免除終了試験	25
上級バイオ技術者認定試験	4
中級バイオ技術者認定試験	16
エネルギー管理士	1
2次元CAD利用技術者試験2級	27
CCNA(Cisco Certified Network Associate)	4
CGエンジニア検定 エキスパート	1
Microsoft Office Specialist Word	26
Microsoft Office Specialist Excel	28
Webクリエイター能力認定試験エキスパート	14
実用英語技能検定準1級	2
日商簿記検定2級	1
リテールマーケティング(販売士)2級	2

### ■エクステンションセンターの7つのメリット

- 1 学内ダブルスクールによる、時間・交通費の節約
- 2 合格実績の高い講師招聘による、確実な資格の取得
- 3 生涯学習支援の一環として、受講料は安価
- 4 エントリー資格から難関資格まで、多彩に用意
- 5 団体受験会場として、普段の授業と同じ環境で受験が可能
- 6 受験料の割引が適用可能
- 7 過去3年以内の卒業生は、在学生と同じ受講料で受講が可能

### ■「第二種電気主任技術者」 高山滉平さん (電気工学専攻)



▶ 資格取得の合格実績の詳細は、P57「バックデータ集」を参照してください。

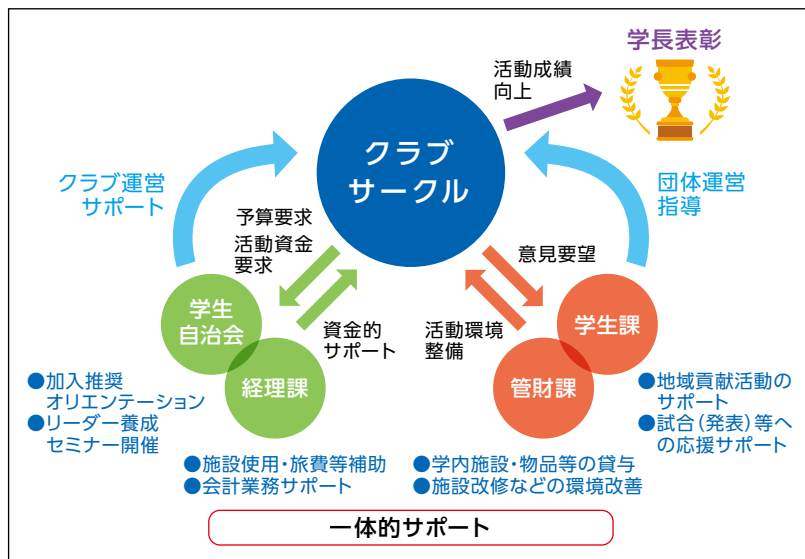


# 5.キャンパスライフサポートの取組

## 一体的なサポートでクラブ・サークル活動の活性化を支援

学術・文化・スポーツ活動等の課外活動も重要な学修の機会と捉え、積極的にサポートし、活動の活性化、大学生生活の充実化を図っています。

### ■クラブ・サークル活性化の枠組み



### ■FIT女子会の竹灯籠の取り組み



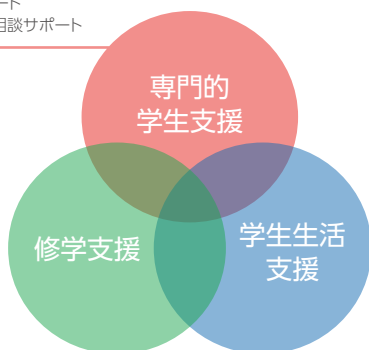
- ▶ 各クラブ・サークルの加入者数の詳細は、P61、表彰結果は、P39を参照してください。
- ▶ FIT女子会を中心に、サークル外の学生や地域の方々にも協力頂き、竹灯籠イベントを開催しました。

## 親身に寄り添うカウンセリングサポート。多様な相談に幅広く対応

コロナ禍が長期化する中、学生生活や修学上の悩み・不安に対し助言・指導するカウンセリング制度を拡充しました。また、入学時健康診断や履修登録時Web健康調査等をもとに、早期の問題把握・サポートにも努めています。

### ■学生生活サポートの内容(取組例)

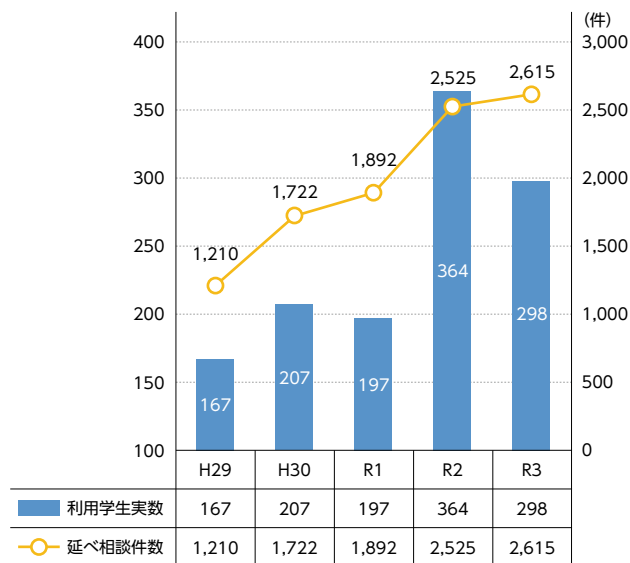
- 臨床心理士等専門的相談の体制
- 学生生活相談の体制
- 進路に関する相談(キャリアサポート)
- 健康管理サポート
- 保護者からの相談サポート



- クラス担任配置によるサポート
- ゼミ等での学習指導
- オフィスアワーの設定
- 学習相談コーナー開設
- 学生相互の学び(ピア・レビュー)

- 新生全員面談の実施
- 新生オリエンテーションの実施
- 履修・生活相談の随時対応
- 女子学生・留学生へのサポート
- 住居・アルバイトの紹介

### ■学生相談件数の推移(H29~R3)



- ▶ 教職員対象の研修会等(学生相談室スタッフミーティング、新生全員面談事前説明会、障がい学生のサポート調整会議など)を行い、学生対応スキルの向上を図っています。

## 学修・キャンパスライフ・進路決定を一体的にワンストップサポート

学生課、教務課、大学院事務室及び就職課を「学生サポートセンター」としてE棟に一体的に配置。学生の学修、学生生活、就職、大学院進学まで、親身なサポートを継続しています。

### ■学生サポートセンター（E棟）など学生生活をサポートする施設の充実



約50人の学生課、教務課、大学院事務室及び就職課スタッフが対応するサポートデスク・カウンター&commons (E棟2階)



就職活動の個別指導の様子 (E棟2階)



寛ぎ・コミュニケーションのためのデッキ (E棟2階学生広場)



コンビニ（セブンイレブン）を設置し充実した学生生活をサポート (B棟1階)



「デリシャス&ヘルシー」に配慮したカフェテリア（レストラン・カフェ） (C棟1階)



遊歩道&屋外カフェテラス (B棟)

▶ キャンパス全域のラーニングcommons化、課外教育施設のリニューアルも進め、快適性・利便性が格段に向上しました。

## 学業・スポーツ・芸術活動優秀者、経済的困窮者等を育英・サポート（コロナ禍対応奨学制度も拡充）

各種育英・奨学制度を設け（国の高等教育修学支援新制度の機関要件にも適合）、学業・特技優秀者のいっそうの精励や、経済的に修学が困難な学生の支援等を行っています。

### ■本学独自奨学支援制度の枠組み

1 入試成績の上位者に対し授業料を免除（全額もしくは半額） 	2 入学後の学業優秀者に対し授業料を半額免除 	3 スポーツ等の優秀者に対し授業料などを免除 	4 学生表彰制度（学術・文化・スポーツ・社会貢献・地域貢献などの分野で活躍した学生を、学長が表彰する制度） 	5 海外派遣プログラムの渡航費用を一部補助 
6 課外活動（クラブ、サークル）の活動をサポート 	7 経済的に修学困難な学生に対し授業料を半額免除 	8 働きながら学ぶ学内ワークスタディ支援制度 	9 アルバイト（学内・学外）紹介 	

### ■新型コロナウイルス感染拡大に対応した経済困窮支援策の取組状況

(千円)

名称	実施主体	対象者	採用学生数	一人当たり給付額	給付総額
高等教育修学支援新制度	文部科学省、独)日本学生支援機構（共同実施）	経済的に困窮している学生（家計）	学部534名 短大72名	（国の基準による）	317,212
学びの継続のための学生支援緊急給付金	独)日本学生支援機構	学生アルバイト等の急減対象者	学部425名 短大30名	原則10万円 非課税世帯20万円	（対象学生への）直接給付

▶ 上記の支援制度に加え、コロナ禍等により学費納入が困難な場合、従前の延納・分納期限をさらに延長するなど、学生・ご父母に親身に寄り添う相談・支援体制を構築しています。



# 1. キャンパスの概要

**キャンパス全域の環境高度化が進展。教育・研究・社会貢献の諸活動が活発化しています。**

「学修者本位の教育拠点」を目指して、AI型授業拡大・ICT高機能化・研究高度化・学生サービス機能向上等、教育・研究環境高度化を進展させています。また、地域の学術文化の拠点として、地域交流事業、生涯学習講座、スポーツイベントの活動環境も整備しました。

## ■ 学園全景



## ■ 主な校舎・施設等



A棟



B棟



C棟



D棟



E棟



F棟



α棟



FITアリーナ



FITホール



おとめが池



附属城東高校全景



附属城東高校体育館  
(R2年12月竣工)



坦心寮



コスモス寮



塩浜総合グラウンド



## キャンパスライフサポート施設が充実。文化・スポーツ・地域交流が活発化

文化・スポーツ・地域交流施設としてアリーナ、ホール、スタジアム、セミナーハウス等を、大学生活サポート施設としてウエストコート、相撲場、BBQ施設等を設置しています。併せて地域社会に貢献する機能も充実させています。



FITアリーナ



FITホール



FITスタジアム



FITセミナーハウス



FIT Link (図書館)



エクステンションセンター



モノづくりセンター



B棟学生1Fラウンジ



FITアリーナWESTコート



相撲場



FIT BBQ



音とモノづくりの歴史資料館

▶ コロナ感染症拡大防止の徹底と学修機会確保・諸活動活性を両立させました。「ウイズコロナ」での、学修・学生生活環境の整備も進めています。

## 附属城東高校リニューアルが進展。キャンパス全域を「主体的な学び」に総合

高校の施設等整備を中心に、学園全体の環境整備が進展しています。「アクティブラーニング」をコンセプトとして総合し、学校改革(主体的な学び、学びの質向上、教育指導力向上、ICT教育高度化等)の推進力を高めています。

### ■ 高校施設・設備整備計画の概要

#### 5つの総合的目標

- ① 学びの質を高める教育環境の創出
- ② 心身の健康の保持増進が可能な体育施設の整備
- ③ 教育・指導力を向上させる空間の整備
- ④ 情報リテラシーを育成するICT教育の高度化
- ⑤ 学校生活の安全性・快適性の向上

#### 7つの整備内容

整備内容	整備の目的・期待される効果等
① 1号館(教育棟)新設	グループ学習やコミュニケーション活発化
② 体育館新設	多目的施設の整備、課外活動の活発化
③ 連絡歩道橋新設	生徒移動の安全性確保
④ 既存施設改修	主体的学修促進
⑤ グラウンド人工芝化	正課・課外活動の充実等
⑥ 外構・前庭・中庭整備	生徒・教員の寛ぎスペース確保等
⑦ 駅からの通学路の改善	良好な景観の構築、通路幅拡幅で安全性確保



1号館外観



ラーニングcommons (J-STEP)



体育館3Fメインフロア



人工芝グラウンド・体育館

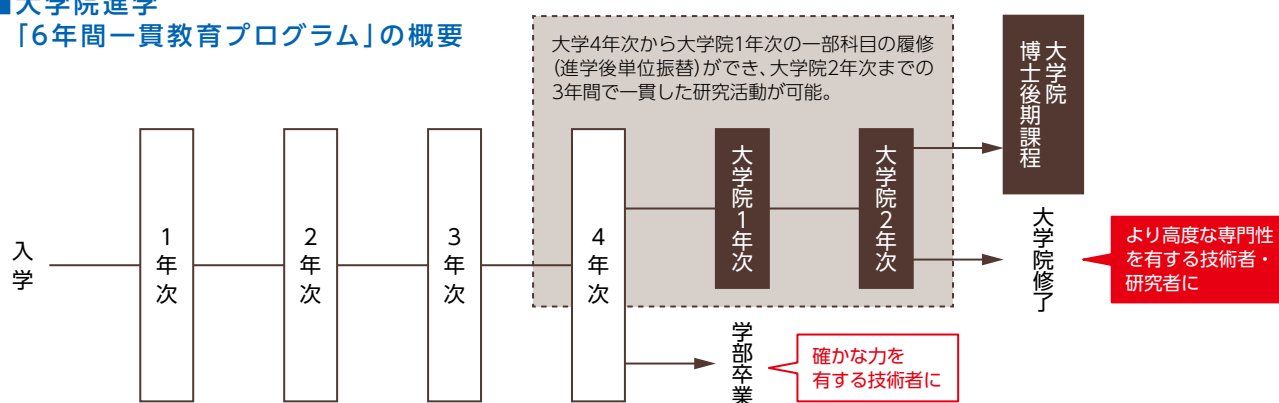
▶ 4年度までに、外溝・中庭・前庭、グラウンド整備(人工芝化)、既存設備改修等、全てが完工予定です。

## 2. 大学院の取組

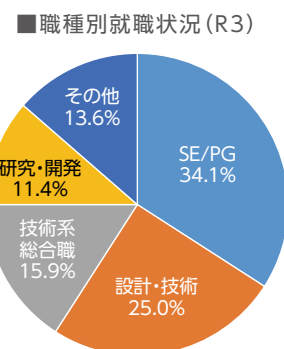
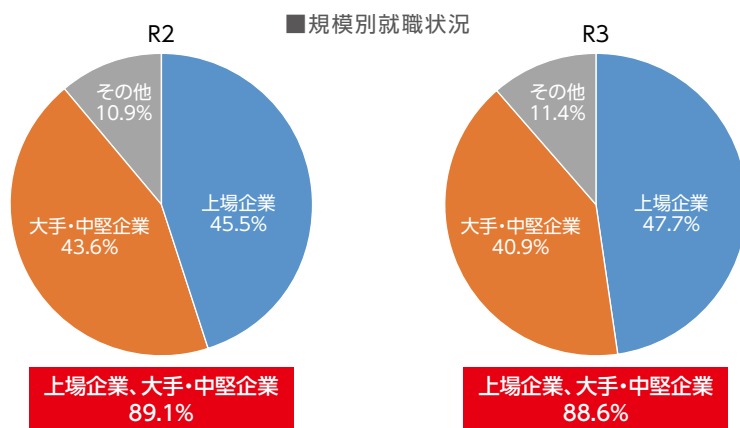
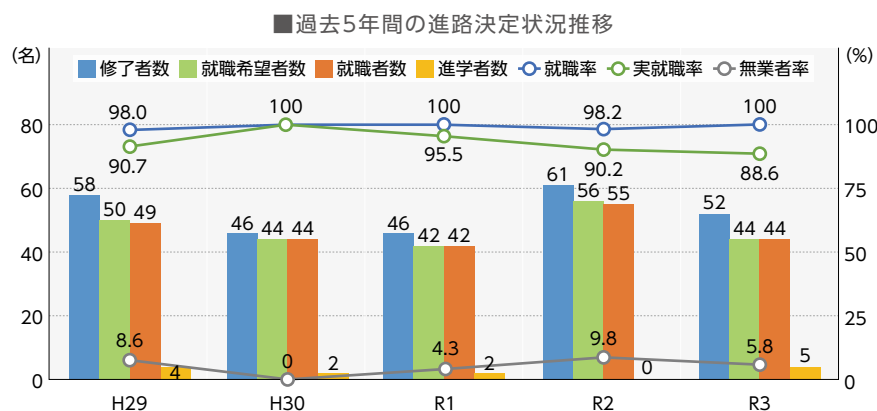
進路決定状況は過年度最高(就職率100%)。高度な研究者・専門的職業人として産業界から高い評価。上場、大手・中堅企業への実就職率は88.6%を達成

卓越した研究者(国等のプロジェクトに参画)の研究指導、教職員一体でのキャリア教育を積極化するとともに、国内外企業・研究所等との外部連携プログラムによる研究活動を推進しています。研究成果の国内外学会等での高評価や、良好な進路決定状況など相応の成果を創出しています。

### ■ 大学院進学 「6年間一貫教育プログラム」の概要



### ■ 大学院生の就職状況



上場企業、大手・中堅企業\*への就職率が高位安定

▶ \*「大手・中堅企業」: 資本金3億円以上もしくは従業員300名以上の企業群

## 産業界との交流を拡大、キャリア形成・就活サポートを高度化

左記プログラムの実施期間を通じ、大手企業就職支援講座(トップアップ講座、20回開催)や国内トップ企業の役職者等による企業講話(11回開催)などを実施しました。

### ■大学院トップアップ講座の実績

令和3年度実績  
受講者19名の進路決定状況

就職率 **100%**

上場、大手・中堅企業への就職者数  
**17名 94.5%**

### ■企業講話の実施状況



(上) 株式会社鶴見製作所様、(下) 株式会社メタウォーター様講話 (R3.12月)

▶ 令和3年度の主な就職先一覧(東証一部上場): 富士通(株)、京セラ(株)、(株)ゼンリン、三井金属鉱業(株)、三浦工業(株)、関西電力(株)、(株)モバイルファクトリー、東芝テック(株)、日本オラクル(株)、(株)ジャステック等

## 「FIT大学院修学支援事業」で大学院進学や在学中の研究・学びをサポート

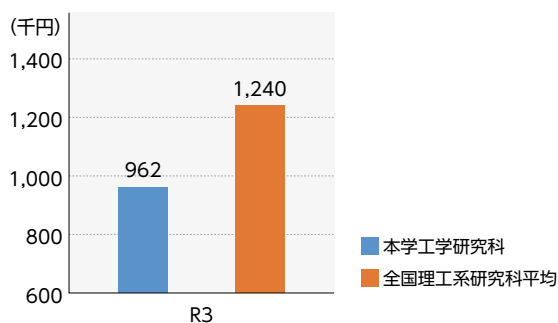
研究意欲旺盛な学生が、経済的な理由で大学院進学を断念することがないように、本学独自で様々な経済支援方策でサポートしています。

### ■独自修学支援制度の概要

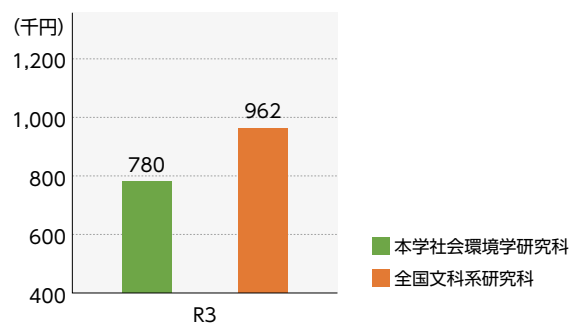
対象	採用人数	支援内容
学業特別奨学生制度	各学年9名	授業料の半額を補助
奨励金支給制度	各専攻1学年当たり2名	毎月80,000円を支給
学会出席旅費等補助制度	全員	学会参加に必要な費用のほぼ全額を補助

年間授業料が半額免除となる「学業特別奨学生制度」や毎月8万円の奨励金を支給する「奨励金支給制度」を設けています。

### ■大学院(工学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



### ■大学院(社会環境学研究科)の学費の相对比较(入学金含む)



全国平均を下回る低学費施策で修学を支援しています。

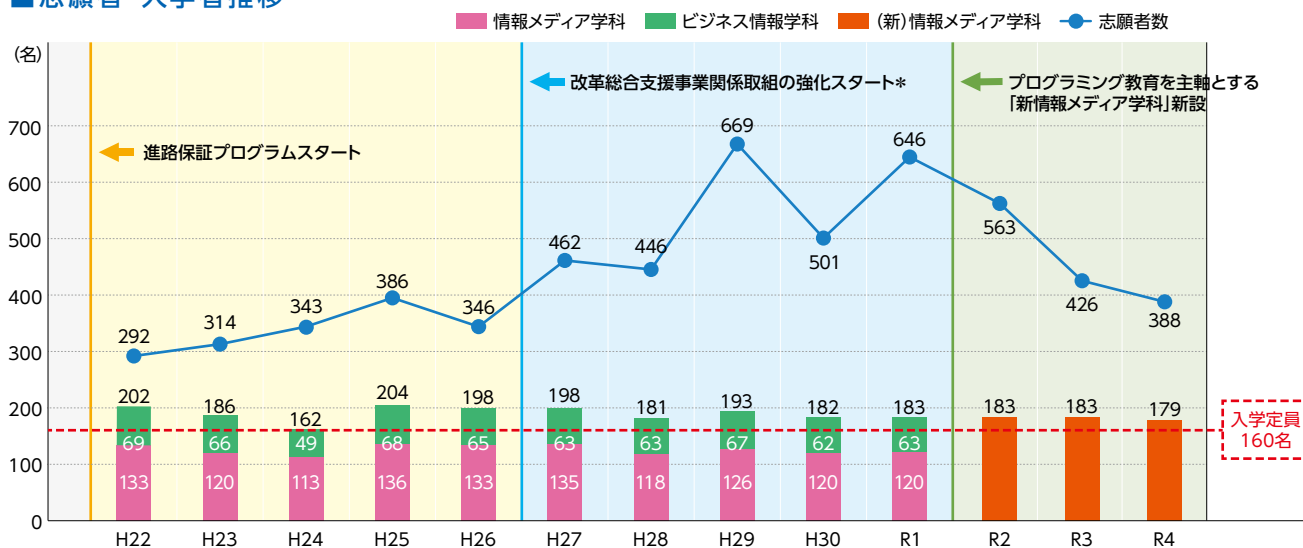
▶ この他、国内外で開催される学会へ参加するための旅費や宿泊費などを支給する「学会出席旅費等補助制度」でサポートしています。

### 3. 短期大学部の取組

## 入学志願者・入学者は安定確保。九州唯一の「ICT専門短大」として高い進路決定率を実現

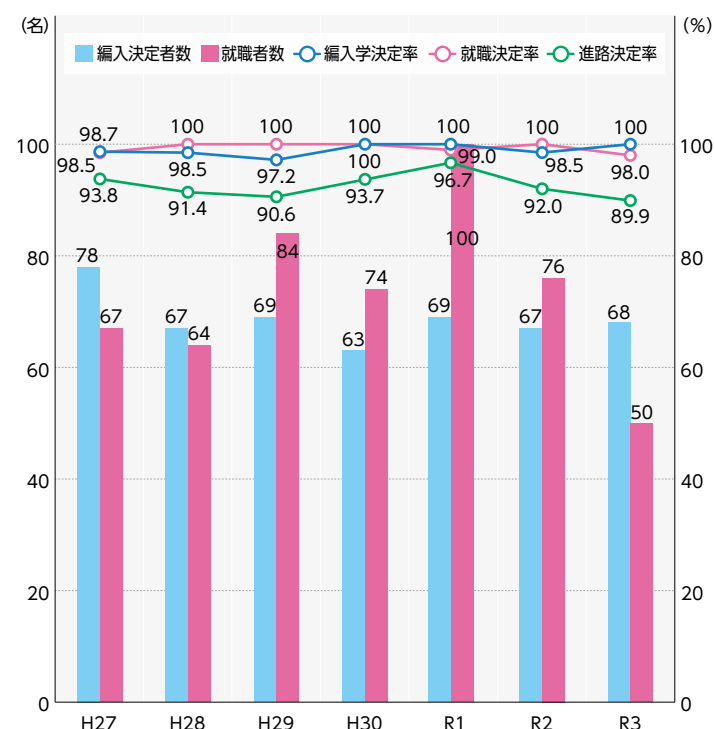
学生一人ひとりへの丁寧な教育や、「進路保証プログラム」に沿った就職・編入学支援の充実が、地域や企業等から高く評価され、安定的な入学者確保や好調な進路決定状況として表れています。

#### ■ 志願者・入学者推移



\*私立大学等改革総合支援事業タイプ1「教育の質向上」に7年連続(H27～R3)で採択

#### ■ 進路決定状況推移



編入学決定率 100%  
就職決定率 98.0%  
進路決定率 89.9%

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
卒業者数	162	151	171	159	181	162	139
編入決定者数	78	67	69	63	69	67	68
就職者数	67	64	84	74	100	76	50
進路決定者数	152	138	155	149	175	149	125
編入学決定率	98.7%	98.5%	97.2%	100%	100%	98.5%	100%
就職決定率	98.5%	100%	100%	100%	99.0%	100%	98.0%
進路決定率	93.8%	91.4%	90.6%	93.7%	96.7%	92.0%	89.9%



## 就職教育プログラムに沿って、体系的なキャリア教育を実施

学生が希望する職種の知識や技術を身につけられるように、体系的なキャリア教育を実施しています。加えて、「学生就職カルテ」を利用した細やかな個別指導を行い、進路決定状況の向上につなげています。

### ■ 就職教育プログラム

希望職種別キャリア教育、ゼミ単位の特別支援、就職に有用な資格取得支援など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
共通プログラム	業界研究	履歴書添削・面接の指導		
		能力適性検査 (SPI) 対策		
		検定対策講座		卒業研究
情報系・メディア系プログラム	専門基礎 修得	ITパスポート CGエンジニア検定 マルチメディア検定 取得	基本情報技術者 取得	卒業研究
ビジネス系プログラム	専門基礎 修得	秘書検定3級 医療事務3級 取得	日商簿記3級 秘書検定2級 ITパスポート 取得	日商簿記2級 秘書検定準1級 取得

**就職支援**  
(すべて「対面・WEB」併用)

- カリキュラムを通じた進路設計・資格取得支援
- オンライン上での個別指導の徹底
- 就職活動の旅費を補助
- 進路未決定者に対し卒業後も支援

▶ 就職先の詳細は、P54「バックデータ集」を参照してください。

## 編入支援プログラムに沿って、国公立大学等への編入学を強力サポート

学生の約5割が4年制大学への編入を目指します。志望大学に対応した支援プログラムを多数用意し、大学別試験対策講座や面接指導を徹底したことが成果として結実しました。

### ■ 編入教育プログラム

英語、数学、物理、小論文などの集中課外講座、個別添削指導、外部試験 (TOEICなど) 活用など

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
国公立大学 (理系・文系) プログラム	正規科目 先取り履修			
	基礎講座 (物理・数学・英語)	志望校別 編入対策講座 (物理・数学・専門・英語・TOEIC)		弱点強化講座 (編入先別)
福岡工業大学 プログラム	基礎講座	工学部 科目等履修生		
		情報工学部・社会環境学部 科目等履修生		
		編入対策講座 (学科毎)	直前対策講座 (学科毎)	直前対策講座 (社会環境学科) 弱点強化講座 (学科毎)
私立大学 (理系・文系) プログラム	基礎講座	志望校 選択ガイダンス	直前対策講座 (志望校別)	

**編入支援**

- 「進路設計」科目における編入指導
- 編入説明会
- 編入課外講座
- 試験、面接対策
- 編入チューターによるサポート
- 編入学試験のための交通費支援
- 志望大学別対策講座

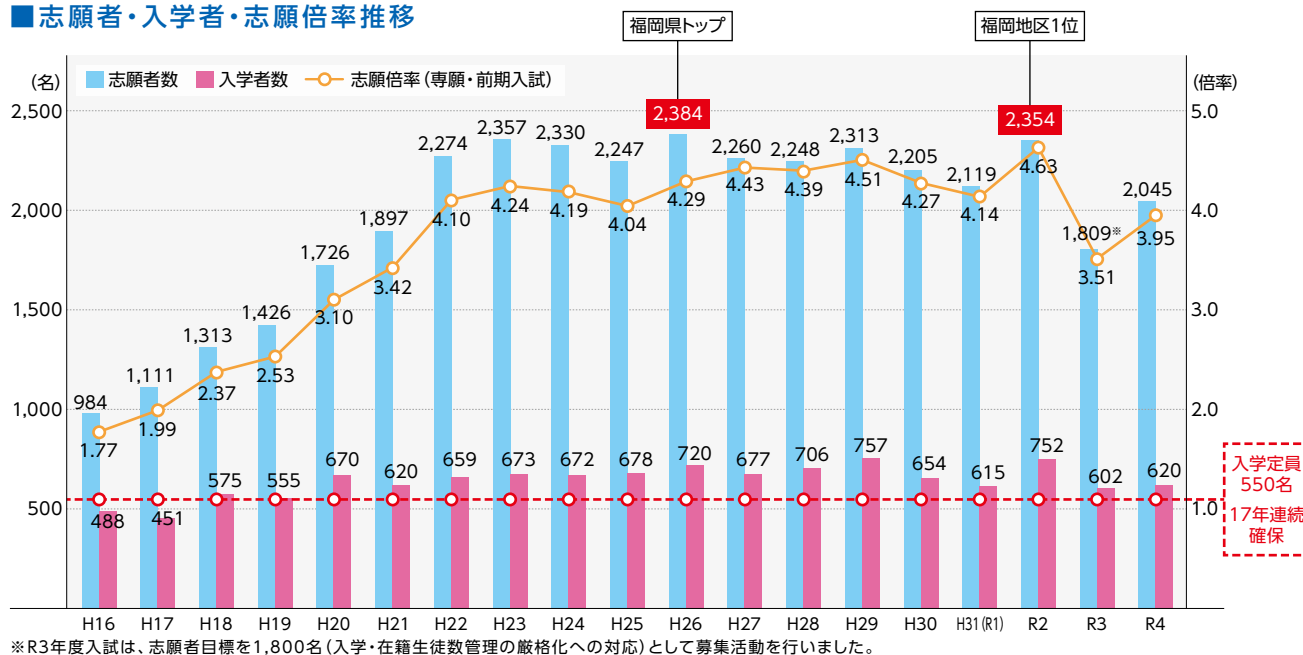
▶ 編入合格学校実績や進学先の詳細は、P51・P54「バックデータ集」を参照してください。

# 4. 附属城東高校の取組

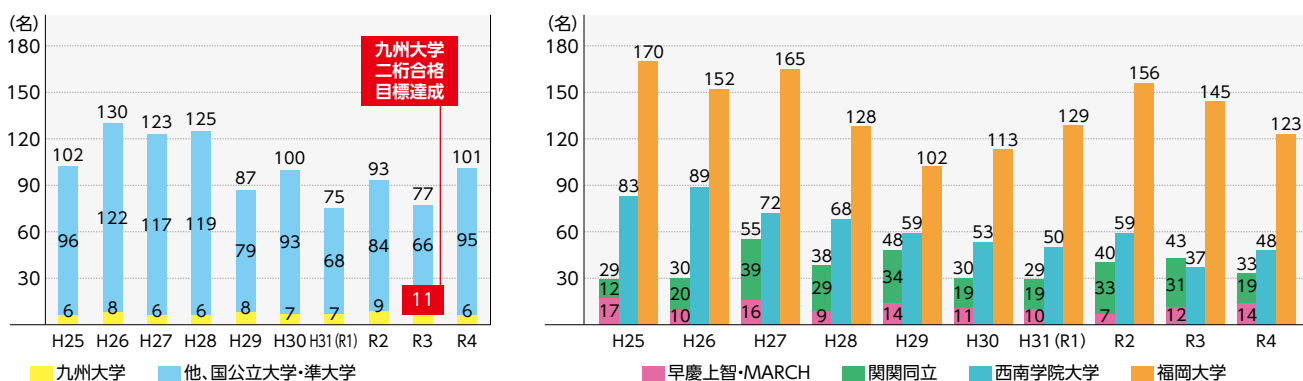
入学志願者数・志願倍率は「県下トップクラス」で推移、入学者も継続的に安定確保。進学・就職状況も良好な水準を維持しています。

入学志願者は、改革元年(平成12年)以降着実に増加し高水準を維持しています。4年度入試も志願者数2,045名・志願倍率3.95倍(専願・前期入試)と高水準でした。国公立大・難関私大等の進学実績や就職実績も良好な水準を維持しています。

## ■ 志願者・入学者・志願倍率推移



## ■ 合格者推移



## ■ 就職状況推移

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
就職対象者	69	50	72	84	68	77	89	103	70	67
就職希望者	69	50	72	84	68	77	89	103	70	67
就職希望率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
就職者	68	50	72	84	68	77	89	103	70	67
就職率	98.6%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%

就職対象者: 卒業者数-進学者数

▶ 国公立大学にⅡ類(普通科一般)クラスから16名、工業科クラスから9名が合格する等、進学実績が大きく向上しています。就職は、「学校紹介内定率9年連続100%」を達成しました。

## ICTを積極的に活用。進学・就職成績向上対策、キャリア教育をいっそう充実・積極化

早朝・放課後学習会、難関大特別学習会、資格取得支援、模擬面接等、進学・就職成績向上対策を実施しています。また、生徒が自分の将来を主体的に考える機会として、キャリア教育、環境教育、ボランティア体験、海外研修等、実体験教育も充実・積極化しています。

### ■ 進学・就職対策、キャリア教育の様子 (対面・オンライン併用)



総合的な探求の時間



高校生と大学生のための金曜特別講座



i-STEM 高大連携授業



第二種電気工事士135名合格、**全国1位**



JICAジプチ事務所とのオンライン交流会



香港オンライン交流会

▶ コロナ禍でも「学びを止めない」ためにICTを積極活用しました。授業動画配信・添削指導を実施オンラインで実施したほか、デジタル教材「スタディサプリ」での、対面・オンラインのハイブリッド授業を積極化しました。

## 生徒の主体的学びを重視。課外での生徒会活動・地域貢献活動が活発化

生徒会活動や地域貢献活動は、「人間性・社会性を育む重要な教育の機会」と考えています。生徒は協働し、目標達成や課題解決に向けて主体的・実践的に取り組み、その活動はいっそう活発化しています。

### ■ 活発な生徒会活動・部活動の様子



ラブアースクリーン活動の様子



親子プログラミング教室の様子  
(ロボット競技プロジェクト)



性犯罪被害抑止動画作成で福岡県警から表彰  
(映像クリエイターチーム)



令和3年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権福岡県ラウンド優勝(女子バレーボール部)



令和3年度福岡県高等学校テニス新人大会  
福岡県大会ベスト4(男子テニス部)



第65回日本学生科学賞福岡県審査各賞受賞  
(科学部)



〈学会表彰〉令和3年度卒業証書・学位記授与者

■大学院

BYLYKBASHI KEVIN (工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻)

CISIS2019 Best Paper Award  
EIDWT-2020 Best Paper Award

Yang Ying (工学研究科 博士後期課程 知能情報システム工学専攻)

AROB25th 2020 Young Author Award

権藤 偉央利 (工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、小倉工業高校)

2021年度(第74回)電気・情報関係学会九州支部連合大会  
連合大会講演奨励賞

陳 静涵 (工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻)

電子情報通信学会 九州支部 学術奨励賞

柴田 亮 (工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、附属城東高校)

CPESE2020 Best Oral Paper Award

田中 一輝 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、九州国際大学付属高校)

2020年度 物理化学インターカレッジセミナー兼日本油化学  
会界面科学部会 九州地区講演会 優秀口頭発表賞

松島 蓮 (工学研究科 修士課程 生命環境化学専攻、糸島高校)

資源・素材学会九州支部 2020年度「若手研究者および技術者の研究発表会」Paper Award, Kyushu MMIJ

川久保 一希 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、有田工業高校)

計測自動車制御学会 SICE優秀学生賞

吉田 結音 (工学研究科 修士課程 知能機械工学専攻、鞍手高校)

日本機械学会 三浦賞

加塩 拓弘 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、川内商工高校)

2021年度(第74回)電気・情報関係学会九州支部連合大会  
令和3年度優秀論文発表賞B賞

高山 澁平 (工学研究科 修士課程 電気工学専攻、博多青松高校)

第38回(2020年度)電気設備学会九州支部賞 全国大会優秀賞

■大学

江口 博斗 (工学部 電子情報工学科、福翔高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

鶴 裕功 (工学部 生命環境化学科、福島高校)

表面技術協会九州支部 優秀学生賞

奥畑 陽介 (工学部 生命環境化学科、春日高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

樋口 梨乃 (工学部 生命環境化学科、八女高校)

日本金属学会・日本鉄鋼協会 九州支部長賞

村井 拓海 (工学部 生命環境化学科、佐世保西高校)

資源・素材学会  
Outstanding Student Award, Kyushu MMIJ

別府 優 (工学部 生命環境化学科、八幡南高校)

NPO法人日本バイオ技術教育学会  
第27回上級バイオ技術者認定試験 優秀賞

西山 愛 (工学部 知能機械工学科、福岡中央高校)

日本機械学会 畠山賞

濱田 涼 (工学部 知能機械工学科、長崎工業高校)

計測自動制御学会 SICE優秀学生賞

平原 永将 (工学部 電子情報工学科、八幡中央高校)

電気学会 九州支部長賞

田中 湧大 (情報工学部 情報工学科、玉名高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

奥田 峻太 (情報工学部 情報通信工学科、小倉南高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

早苗 穂香 (情報工学部 情報通信工学科、筑紫女学園高校)

日本バーチャリアリティー学会  
テレマージョン技術研究委員会 テレマージョン技術研究  
発表賞

松隈 清香 (情報工学部 情報システム工学科、鳥栖高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

上田 晃生 (情報工学部 システムマネジメント学科、春日高校)

電子情報通信学会 九州支部 成績優秀賞

土屋 哲 (情報工学部 システムマネジメント学科、宗像高校)

日本経営工学会 優秀学生賞

■短大

勝野 侑馬 (情報メディア学科、高等学校卒業程度認定)

電気学会 九州支部長賞

〈卒業時学業成績優秀者〉

■大学

藤 優駿 (工学部 電子情報工学科、博多青松高校)

奥畑 陽介 (工学部 生命環境化学科、春日高校)

西山 愛 (工学部 知能機械工学科、福岡中央高校)

山地 敬太 (工学部 電気工学科、誠英高校)

田中 湧大 (情報工学部 情報工学科、玉名高校)

田村 俊介 (情報工学部 情報通信工学科、鞍手高校)

恵美 愛理花 (情報工学部 情報システム工学科、玄界高校)

関川 直孝 (情報工学部 システムマネジメント学科、福翔高校)

水谷 真聡 (社会環境学部 社会環境学科、熊本北高校)



## ■短大

福嶋 優太(情報メディア学科、博多青松高校)

### 〈学生表彰〉

#### ■個人表彰(上期)

Yang Ying(工学研究科 博士後期課程 知能情報システム専攻)

国際会議25th International Symposium on Artificial Life and Robotics Young Author Award

#### ■個人表彰(下期)

権藤 偉央利(工学研究科 修士課程 電子情報工学専攻、小倉工業高校)

2021年度第74回電気・情報関係学会 九州支部連合大会 講演奨励賞

立石 航也(工学部 電気工学科、佐世保西高校)

2021年(第3回)電気設備学会学生研究発表会 優秀賞

高原 ひびき(情報工学部 情報工学科、諫早商業高校)

九州アプリチャレンジ・キャラバン2021コンテスト 最優秀賞

#### ■団体表彰(上期)

吹奏楽団

第66回九州吹奏楽コンクール 大学の部 金賞  
第37回福岡県吹奏楽コンクール 大学の部 金賞

#### ■団体表彰(下期)

吹奏楽団

第69回全日本吹奏楽コンクール 大学の部 銀賞  
第47回九州アンサンブルコンテスト 大学の部 金賞

軟式野球部

令和3年度九州学生軟式野球連盟春季リーグ大会 準優勝  
令和3年度九州学生軟式野球連盟秋季リーグ大会 優勝



上期学生表彰



同団体表彰 吹奏楽団



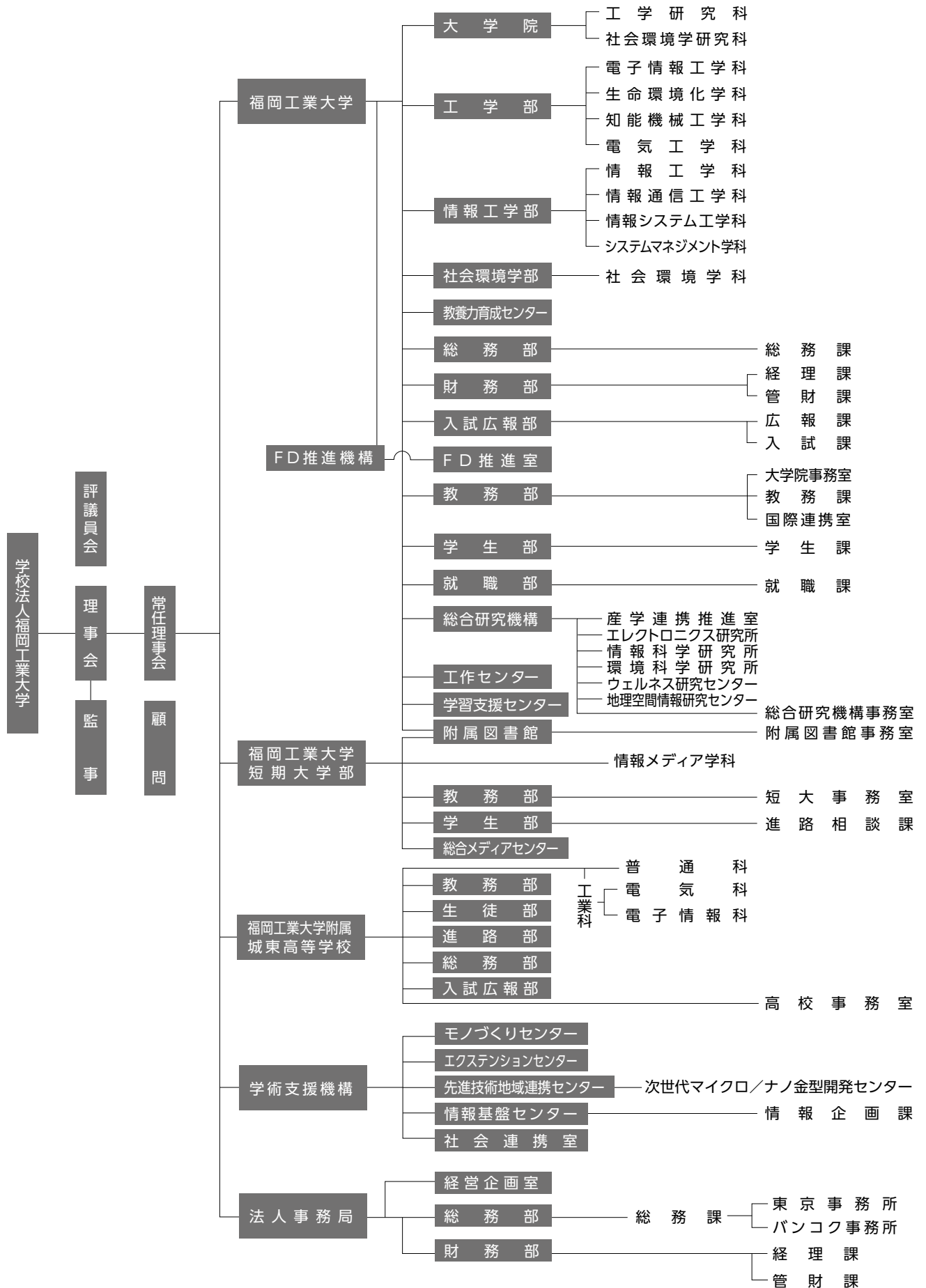
同個人表彰 Yang Yingさん



下期学生表彰



同団体表彰 軟式野球部



# 役員等の状況 令和4年4月1日現在

## ■役員一覧

①理事[定数9～13、実数11(1号2名、2号1名、3号8名)]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
理事(理事長)	3号	大谷 忠彦	○	理事長
理事(常務理事)	3号	山下 剛	○	常務理事
理事	1号	下村 輝夫	○	福岡工業大学・同短期大学部学長
理事	1号	佐伯 道彦	○	附属城東高等学校長
理事	3号	川口 敏弘	○	財務部長
理事	3号	三澤 礼一郎	○	法人事務局長
理事	2号	小幡 修	-	(株)福岡銀行 顧問
理事	3号	川原 正孝	-	株式会社ふくや 代表取締役会長
理事	3号	森 紀久雄	-	株式会社ユーコー 相談役兼監査役
理事	3号	谷地 明弘	-	学千葉敬愛学園 常務理事
理事	3号	和志武 三樹男	-	春日那珂川水道企業団 代表監査委員

②監事[定数2～3、実数2]

役職等名	区分※	氏名	常勤	現職・前職名
監事	-	松本 友行	-	元 福岡市総合図書館 館長
監事	-	森川 康朗	-	(株)福岡銀行 顧問

③評議員[定数19～27、実数24(1号4名、2号3名、3号3名、4号14名)]

役職等名	区分※	氏名	現職・前職名
評議員	1号	下村 輝夫	福岡工業大学・同短期大学部学長
評議員	1号	佐伯 道彦	附属城東高等学校長
評議員	1号	梶原 寿了	福岡工業大学 教授
評議員	1号	村山 理一	福岡工業大学 教授
評議員	2号	正司園 博行	元 附属城東高等学校 教員
評議員	2号	田中 秀司	元 福岡工業大学 教授
評議員	2号	中野 武志	(株)電子商事 代表取締役
評議員	3号	伊東 鐘賛	社会福祉法人創生会 理事長
評議員	3号	有田 修	福岡工業大学 教育後援会
評議員	3号	松本 香奈美	福岡工業大学 教育後援会
評議員(理事長)	4号	大谷 忠彦	福岡工業大学 理事長
評議員(常務理事)	4号	山下 剛	常務理事
評議員	4号	川口 敏弘	財務部長
評議員	4号	三澤 礼一郎	法人事務局長
評議員	4号	小幡 修	(株)福岡銀行 顧問
評議員	4号	川原 正孝	(株)ふくや 代表取締役会長
評議員	4号	森 紀久雄	(株)ユーコー 相談役
評議員	4号	谷地 明弘	学千葉敬愛学園 常務理事
評議員	4号	和志武 三樹男	春日那珂川水道企業団 代表監査委員
評議員	4号	阿山 光利	元 福岡工業大学 教授
評議員	4号	池田 悦雄	福岡工業大学 東京事務所長
評議員	4号	内田 一徳	元 福岡工業大学 教授
評議員	4号	高田 洋征	前澤工業(株)九州支店 顧問
評議員	4号	藤原 満	プロ野球解説者

※1号理事：学長・校長、同2号：評議員、同3号：学識経験者  
1号評議員：学長・校長、同2号：卒業生、同3号：父母、同4号：学識経験者

## ■役員賠償責任保険制度の加入状況

私立学校法改正(令和2年4月1日施行)に伴い、第406回理事会決議(令和4年2月25日開催)により、令和4年4月1日から役員賠償責任保険に加入

団体契約者	日本私立大学協会
被保険者	理事・監事・評議員
補償内容	①役員に関する補償(法律上の損害賠償金、訴訟費用等) ②法人に関する補償(内部調査費用、第三委員会設置・活動費用等) ※但し、侵害行為を行った本人に発生する損害賠償責任は補償の対象外

## ■部科長等一覧

職名	氏名
工学部長	村山 理一
情報工学部長	前田 洋
社会環境学部長	藤井 洋次
工学研究科長	江口 啓
社会環境学研究科長	松藤 賢二郎
教務部長	倪 宝栄
学生部長	中川 智治
就職部長	中川 智治
附属図書館長	木室 義彦
情報基盤センター長	松木 裕二
モノづくりセンター長	数仲 馬恋典
エクステンションセンター長	松木 裕二
総合研究機構長	朱 世杰
入試広報部長	大山 和宏
教養力育成センター長	土屋 麻衣子
電子情報工学科長	近木 祐一郎
生命環境化学科長	松山 清
知能機械工学科長	高津 康幸
電気工学科長	松尾 敬二
情報工学科長	福本 誠
情報通信工学科長	杉田 薫
情報システム工学科長	山口 明宏
システムマネジメント学科長	田嶋 拓也
社会環境学科長	渡邊 智明
エレクトロニクス研究所長	三田 肇
情報科学研究所長	山澤 一誠
環境科学研究所長	李 文忠
産学連携推進室長	朱 世杰

# 設置学部・学科／教養力育成センター／専攻概要

設置校	学部・研究科名	学科名	設置コース/学習領域[教養力育成センター]	教育研究上の目的/カリキュラム編成の基本方針[教養力育成センター]
大学	工学部	電子情報工学科		現代社会において、科学技術者は、科学技術への貢献はもとより、社会人として自立し、広い視野に立ち柔軟な発想を行えることが求められている。本学科は、電子技術と情報技術が融合した技術分野において、このような要請に応えることができる実践型の人材の養成を目的とする。
		生命環境化学学科	生命環境化学基盤コース 生命環境化学アドバンスコース	地球の様々な環境問題が深刻化する今日、環境の管理、保全、改善と修復の基本理念を理解し、物理・化学的、及び生物学的アプローチ等の多様な先端技術を用いて、問題を解決する能力を持つ自立した物質系・生物系技術者の人材の養成を目的とする。
		知能機械工学科		情報技術と生産技術を融合した知能機械が主流となった機械分野において、基礎及び専門技術に関する知識と応用力を身につけるとともに、それらを駆使したデザイン能力とコミュニケーション能力を有し、技術者倫理をもってグローバルな活躍ができる人材の養成を目的とする。
		電気工学科		日々進歩する電気・電子・情報工学の技術を理解し、習得するための素養と専門知識及び技術を身につけ、国際感覚と倫理観を有するとともに、地域産業のニーズも理解し、地域的また国際的連携の両方を意識して活躍できるグローバルな技術人材の養成を目的とする。
	情報工学部	情報工学科		コンピュータのソフトウェア・ハードウェアの基礎及び応用を教授研究し、プログラミングに習熟させるとともに、インターネットや人工知能、知能ロボット、自然言語処理、画像処理、データベース、マルチメディア、CG、システム LSI などの最先端のコンピュータ技術・応用技術を持つ専門的職業人及び教育研究者の人材の養成を目的とする。
		情報通信工学科		今日の情報通信関連技術は、あらゆる産業分野における基幹技術としての影響力を持つようになり、社会生活の中に深く関係している。このように情報通信工学の裾野が限りなく広がり、技術的な可能性が満ち溢れる世界で、独創性を発揮し、多様な先端技術を開拓できる技術者及び情報通信関連分野の研究能力を有する人材の養成を目的とする。
		情報システム工学科		今日まで発展を遂げてきた情報技術が社会的基盤となり、人々の暮らしを支える情報システムのサービス形態は、変化・適用・深化を繰り返しながらこれからも発展し続けていくことが予想される。本学科では、情報技術、ロボット制御、生体システムを柱とする実践的教育を展開し、技術者倫理、コミュニケーション能力、エンジニアリングデザイン能力を身につけることで、社会の持続的発展に不可欠な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者の養成を目的とする。
		システムマネジメント学科		高度に情報化、国際化が進む現代社会において、企業の生産管理技術と情報管理技術について、経営、生産、メディアの観点から基礎的な素養を身につける教育を行い、それらの知識に裏付けされた人間哲学に基づいてシステムのマネジメントを行える人材の養成を目的とする。
	社会環境学部	社会環境学科	経営コース 地域コース	環境に関わる諸問題に関して主として社会科学の立場からアプローチし、社会の仕組みを理解した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる実践型の人材の養成を目的とする。
	教養力育成センター (全学部共通)		①基礎科目(文化・社会・自然・情報)、②キャリア科目、③外国語科目、④ウェルネス科目、⑤教職科目	
大学院	工学研究科	物質生産システム工学専攻 (博士後期課程)		物質生産システム工学専攻は、電子物性工学、機能材料応用工学、エネルギーシステム工学及び設計生産システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		知能情報システム工学専攻 (博士後期課程)		知能情報システム工学専攻は、知能情報工学、情報伝送工学、知的メディア工学及び情報制御システム工学分野において研究者として自立して研究活動を行い、又はその高度に専門的な業務に従事するに必要な高度の研究能力及びその基盤となる豊かな学識を養う。
		電子情報工学専攻		現代社会は、コンピュータを先頭とした電子情報技術が著しく発達し、広く普及している社会である。本専攻では、広い視野に立って、電子情報工学の理論及び応用を教授、研究し、高度な専門的知識を背景に、独創的な研究開発能力を身につけた技術者を養成することを目的とする。
		生命環境化学専攻		本学の建学の綱領に基づき、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥をきわめ、科学技術や社会の進歩向上に寄与する人材を育成することを目的とする。具体的に本専攻では、広い視野に立って精深な学識を授け、物質工学及び生物工学を中心とした専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための卓越した能力を培うことを目的とする。
		知能機械工学専攻		機械工学は、ナノ・マイクロテクノロジーから巨大システムまで基盤となる技術を開拓していく学問分野です。機械工学はそれ自身の高度化、先進化及び微細化とともに電子情報技術の飛躍的な発達により機械の知能化が進んでいます。本専攻では機械工学の基礎分野の知識を十分修得した上で、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		電気工学専攻		本専攻は電気系工学・技術の分野において活躍できる、高度の問題解決能力と研究開発能力を備えた技術者を養成することを教育の目的とする。このため工学部電気系学科修了程度の基礎知識を有する学生を対象に、進歩を続ける技術に長期的に対応して行けるよう電気関連主要分野の深い基礎理論を講究するとともに、並行してこの分野の先端的研究テーマについての研究に取り組み創造的対応能力を培う。
		情報工学専攻		人工知能や集積回路、マルチメディアや画像処理、データベースやソフトウェア開発などの情報工学分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報通信工学専攻		携帯電話や無線LAN、光ファイバ伝送などの情報伝送技術やインターネットなどの情報ネットワークの分野で高度な専門知識や技術を修得するとともに、さらに発展・進化させるための独創的な研究・開発能力を養成することを目的とする。
		情報システム工学専攻		情報システム工学専攻は、少子高齢化社会で求められる様々な情報システムの設計・開発・運用に携わる技術者として求められる高度な学識と研究方法を習得し、情報社会の発展に役立つ研究課題を自ら探求して解決する能力を備えた人材の育成を目的とする。
		システムマネジメント専攻		システムマネジメント専攻は、経営、生産、情報メディアシステムに対して調査・分析・設計・評価に必要な学術的な諸手法について教授し、これらのシステムから得られる情報を有効に利用してシステムを構築・解析・最適化する能力を備えた人材の育成を目的に、教育研究を行う。
社会環境学	社会環境学専攻		環境に関わる諸問題に関して主として社会科学及び人文科学の立場からアプローチし、個人・企業・社会全体の仕組みを研究する能力を醸成した上で、環境調和型の社会実現に貢献することのできる高度な専門性が求められる職業を担うための能力を培うことを目的とする。	
短期大学部		情報メディア学科		情報メディア学科は、情報教育を中心とした教育プログラムにより、高度にIT化された社会における即戦力となる情報活用能力を身につけた人材の育成に加え、社会の構成員として力強く生きていくためのリテラシーを身につけた人材を養成することを目的とする。

※令和4年5月1日現在



資格について ●/所定の単位取得により、在学中または卒業と同時に取得できる資格  
 ●/所定の単位取得により、実務経験を経て取得  
 ○/指定学科目の単位を取得すると、資格試験の一部が免除  
 □/全学的に支援・支援講座を行っている資格(エクステンションセンター主催)  
 ■/各学科で支援・支援講座を行っている資格  
 ☆/国家資格

教員構成(人)※	取得可能学位	取得可能な教員免許	取得支援を実施している資格*	
教授 8 准教授 3 助教 3	学士 (工学)	高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆第一級陸上特殊無線技士</li> <li>■/☆第一級陸上無線技術士</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 8 准教授 4 助教 1		高等学校教諭一種免許状(工業、理科) 中学校教諭一種免許状(理科)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎/☆食品衛生管理者、食品衛生監視員</li> <li>◎/☆毒物劇物取扱責任者</li> <li>◎/☆公害防止管理者(水質)</li> <li>◎/☆危険物取扱者(甲・乙)</li> <li>◎/☆環境計量士</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■環境測定分析士</li> <li>■バイオ技術者認定</li> <li>■NR-サブプライメントアドバイザー</li> <li>■化粧品成分検定</li> <li>■食品表示検定</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 8 准教授 6 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎/修習技術者(→技術士補)</li> <li>■/☆機械保全技能検定</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■CAD利用技術者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■機械設計技術者</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 6 准教授 3 助教 3		高等学校教諭一種免許状(工業)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●/☆電気主任技術者(第1種、第2種、第3種)</li> <li>■/☆電気工事士</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 8 准教授 1 講師 8 助教 2	学士 (情報工学)	高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■/☆情報セキュリティマネジメント</li> <li>■LinuC(Linux Professional Institute Certification)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■CCNA(Cisco Certified Network Associate)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 13 准教授 1		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎/☆第一級陸上特殊無線技士</li> <li>◎/☆海上特殊無線技士(第二級、第三級)</li> <li>◎/☆第一級陸上無線技術士</li> <li>◎/☆電気通信主任技術者(伝送交換主任技術者、線路主任技術者)</li> <li>○/☆工事担当者</li> <li>○(ネットワーク接続技術者)</li> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/☆情報セキュリティマネジメント</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■LinuC(Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA(Cisco Certified Network Associate)</li> <li>■ネットワークスペシャリスト</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 6 准教授 3 講師 2 助教 3		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■LinuC(Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA(Cisco Certified Network Associate)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 5 准教授 4 助教 1		高等学校教諭一種免許状(数学、情報) 中学校教諭一種免許状(数学)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■LinuC(Linux Professional Institute Certification)</li> <li>■CCNA(Cisco Certified Network Associate)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■CGクリエイター検定</li> <li>■CGエンジニア検定</li> <li>■DTPエキスパート</li> <li>■/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□日商簿記検定3級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定2級・3級</li> </ul>
教授 9 准教授 4 助教 2	学士 (社会環境学)	高等学校教諭一種免許状(公民) 中学校教諭一種免許状(社会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■eco検定(環境社会検定試験)</li> <li>■環境管理士</li> <li>■ピオトップ管理士</li> <li>■3R-低炭素社会検定</li> <li>■/□MOS (Microsoft Office Specialist)</li> <li>■日商簿記検定2級</li> <li>■/□日商簿記検定3級</li> <li>■/□リテールマーケティング(販売士) 検定2級</li> <li>□リテールマーケティング(販売士) 検定3級</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■GIS学術士</li> <li>□/☆基本情報技術者試験</li> <li>□Webクリエイター能力認定試験</li> <li>□TOEIC L&amp;R</li> </ul>
教授 10 准教授 3	博士 (工学)			
教授 17 准教授 3				
教授 18 准教授 2				
教授 8 准教授 3 助教 3	修士 (工学)	高等学校教諭専修免許状(工業)		
教授 8 准教授 4 助教 1		高等学校教諭専修免許状(理科) 中学校教諭専修免許状(理科)		
教授 8 准教授 4 助教 3		高等学校教諭専修免許状(工業)		
教授 6 准教授 3 助教 3		高等学校教諭専修免許状(工業)		
教授 8 准教授 7 助教 1		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)		
教授 12 准教授 1		高等学校教諭専修免許状(数学) 中学校教諭専修免許状(数学)		
教授 6 准教授 3 講師 1 助教 3		高等学校教諭専修免許状(情報)		
教授 5 准教授 4 助教 1		高等学校教諭専修免許状(情報)		
教授 10 准教授 2 助教 1	修士 (社会環境学)			
教授 7 准教授 5 助教 3	短期大学士 (情報工学)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■/□/☆基本情報技術者試験</li> <li>■/□/☆応用情報技術者試験</li> <li>■/□/☆ITパスポート</li> <li>■/□秘書技能検定</li> <li>■日商PC検定</li> <li>■CGエンジニア検定</li> <li>■マルチメディア検定</li> <li>■CGクリエイター検定</li> <li>■Webデザイナー検定</li> <li>■/□TOEIC</li> <li>■/□日商簿記検定</li> </ul>	

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

フシリティ・各設置校の状況

バックデータ集

# 教職員数 令和4年5月1日現在

## ■教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
教授	78	5	83	29	2	31	33	0	33	9	0	9	7	3	10	6	1	7
准教授	33	6	39	14	2	16	15	1	16	2	2	4	2	1	3	4	1	5
講師	3	0	3	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
助教	15	4	19	9	2	11	5	1	6	1	1	2	0	0	0	3	0	3
合計	129	15	144	52	6	58	56	2	58	12	3	15	9	4	13	13	2	15
(うち外国籍教員)	12	2	14	5	0	5	5	1	6	2	1	3	0	0	0	2	0	2

## ■年齢区分別 教員数

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
男女別	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
29歳以下	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
30歳～39歳	21	3	24	10	0	10	6	2	8	3	1	4	2	0	2	2	0	2
40歳～49歳	41	10	51	13	6	19	24	0	24	4	2	6	0	2	2	3	0	3
50歳～59歳	46	2	48	19	0	19	18	0	18	3	0	3	6	2	8	4	2	6
60歳～69歳	19	0	19	8	0	8	8	0	8	2	0	2	1	0	1	3	0	3
70歳以上	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	129	15	144	52	6	58	56	2	58	12	3	15	9	4	13	13	2	15

## ■専任教員・非常勤教員比率

学校名	福岡工業大学															福岡工業大学短期大学部		
	合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			教養力育成センター			情報メディア学科		
学部・学科名	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
専任教員	129	15	144	52	6	58	56	2	58	12	3	15	9	4	13	13	2	15
(比率・%)	57.1%	39.5%	54.5%	49.5%	33.3%	47.2%	62.9%	20.0%	58.6%	60.0%	60.0%	60.0%	75.0%	80.0%	76.5%	59.1%	33.3%	53.6%
非常勤教員	97	23	120	53	12	65	33	8	41	8	2	10	3	1	4	9	4	13
(比率・%)	42.9%	60.5%	45.5%	50.5%	66.7%	52.8%	37.1%	80.0%	41.4%	40.0%	40.0%	40.0%	25.0%	20.0%	23.5%	40.9%	66.7%	46.4%
合計	226	38	264	105	18	123	89	10	99	20	5	25	12	5	17	22	6	28

## ■職員数

学校名	福岡工業大学			福岡工業大学短期大学部		
男女別	男	女	計	男	女	計
専任職員	57	15	72	2	1	3
特定・嘱託・契約職員	11	46	57	0	4	4
派遣職員	2	4	6	0	0	0
合計	70	65	135	2	5	7

# 卒業・修了生累計、同窓会会員数

## ■卒業・修了生累計

**57,675**名 (令和4年3月31日現在)

学部 43,675名  
大学院 1,667名  
修士 1,598名  
課程博士 65名  
論文博士 4名

短期大学部 12,333名

## ■地域別同窓会会員数 (令和4年2月28日現在)

地域名	会員数	地域名	会員数
北海道・東北	30	中国	2,934
関東	802	四国	1,132
東海	289	福岡県	15,221
関西・北陸	669	九州・沖縄(福岡県を除く)	7,993
		合計	29,070

# 令和3年度学位授与数

## ■学士・短期大学士授与数

学部等名	授与数
工学部	372
情報工学部	398
社会環境学部	165
短期大学部	140

## ■博士・修士授与数

研究科名	修士授与数	博士授与数
工学研究科	60	3
社会環境学研究科	1	-

## ■JABEEコース修了者数

コース名	修了者数
知能機械工学科	101(卒業生全員)

■大学、短期大学部在籍学生数

学部	学科	令和3年度										4年度		
		定員	現員	定員充足率	留年者数※	留年率	休学者	休学率	退学除籍数	中退率	定員	現員	定員充足率	
工学部	電子情報工学科	360	433	1.20	52	12.0%	26	6.0%	22	5.1%	360	408	1.13	
	生命環境化学科	360	410	1.14	41	10.0%	17	4.1%	14	3.4%	360	402	1.12	
	知能機械工学科	440	503	1.14	41	8.2%	19	3.8%	15	3.0%	440	510	1.16	
	電気工学科	360	420	1.17	57	13.6%	23	5.5%	21	5.0%	360	414	1.15	
	合計	1,520	1,766	1.16	191	10.8%	85	4.8%	72	4.1%	1,520	1,734	1.14	
情報工学部	情報工学科	520	610	1.17	33	5.4%	21	3.4%	16	2.6%	520	593	1.14	
	情報通信工学科	360	420	1.17	38	9.0%	13	3.1%	12	2.9%	360	419	1.16	
	情報システム工学科	360	405	1.13	39	9.6%	27	6.7%	14	3.5%	360	402	1.12	
	システムマネジメント学科	260	294	1.13	33	11.2%	18	6.1%	8	2.7%	260	301	1.16	
	合計	1,500	1,729	1.15	143	8.3%	79	4.6%	50	2.9%	1,500	1,715	1.14	
社会環境学部	社会環境学科	700	730	1.04	43	5.9%	23	3.2%	21	2.9%	700	716	1.02	
福岡工業大学合計		3,720	4,225	1.14	377	8.9%	187	4.4%	143	3.4%	3,720	4,165	1.12	
大学院	工学研究科(修士)	128	142	1.11	4	2.8%	5	3.5%	5	3.5%	128	152	1.19	
	工学研究科(博士)	12	10	0.83	2	20.0%	0	0.0%	0	0.0%	12	11	0.92	
	社会環境学研究科	12	11	0.92	3	27.3%	0	0.0%	1	9.1%	12	11	0.92	
	合計	152	163	1.07	9	5.5%	5	3.1%	6	3.7%	152	174	1.14	
福岡工業大学・大学院合計		3,872	4,388	1.13	386	8.8%	192	4.4%	149	3.4%	3,872	4,339	1.12	
短期大学部	情報メディア学科(R2.4月新設)	320	349	1.09	31	8.9%	4	1.1%	13	3.7%	320	381	1.19	
	情報メディア学科	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ビジネス情報学科	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡工業大学短期大学部合計		320	355	1.11	31	8.7%	4	1.1%	13	3.7%	320	381	1.19	

※卒業単位不足者+進級単位不足者の合計

■高等学校在籍生徒数

課程	令和3年度			4年度		
	定員	現員	定員充足率	定員	現員	定員充足率
普通科	1,050	1,354	1.29	1,050	1,384	1.32
電気科	300	203	0.68	300	171	0.57
電子情報科	300	389	1.30	300	387	1.29
福岡工業大学附属 城東高等学校合計	1,650	1,946	1.18	1,650	1,942	1.18

■学校別在籍学生・生徒数(経年比較)

学校名	平成25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
大学	4,160	4,149	4,287	4,238	4,299	4,293	4,220	4,222	4,225	4,165
大学院	158	142	124	130	137	139	151	162	163	174
短期大学部	377	403	395	389	398	389	393	373	355	381
高校	1,967	2,024	2,023	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946	1,942
合計	6,662	6,718	6,829	6,816	6,948	6,903	6,742	6,749	6,689	6,662

■収容定員充足率(経年比較)

学校名	平成25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度
大学	1.23	1.23	1.24	1.19	1.18	1.15	1.13	1.13	1.14	1.12
大学院	1.13	1.01	0.89	0.89	0.86	0.91	0.99	1.07	1.07	1.14
短期大学部	1.18	1.26	1.23	1.22	1.24	1.22	1.23	1.17	1.11	1.19
高校	1.19	1.23	1.23	1.25	1.28	1.26	1.20	1.21	1.18	1.18
合計	1.21	1.22	1.22	1.20	1.21	1.18	1.15	1.16	1.14	1.14

■国別留学生数

	令和3年度										4年度							
	合計	中国	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール	マレーシア	合計	中国	タイ	韓国	ベトナム	トンガ	アルバニア	ネパール	マレーシア
大学	14	7	1	2	2	2	0	0	0	10	6	0	2	1	1	0	0	0
短期大学部	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
大学院	42	35	5	0	0	0	2	0	0	32	28	3	0	0	0	1	0	0
研究生	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
科目等履修生	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	1	0	0	0	0	0
合計	60	45	7	2	2	2	2	0	0	47	35	5	3	1	1	1	1	0

# 令和4年度入試状況

## ■大学

学部	学科	定員	総合型選抜						学校推薦型※1 (指定校・附属校・併願制)			一般(3教科型)※2			一般(共通テスト利用)※3			留学生			合計		
			スペシャルスキル		専願制総合型【後期】				志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	90	0	0	0	0	0	0	59	36	30	272	162	49	937	394	18	1	1	1	1,269	593	98
	生命環境化学科	90	2	1	1	6	3	3	50	39	32	266	142	32	657	340	27	1	0	0	982	525	95
	知能機械工学科	110	0	0	0	0	0	0	67	54	49	302	199	53	829	367	21	0	0	0	1,198	620	123
	電気工学科	90	4	4	4	0	0	0	65	46	37	277	142	37	790	357	18	0	0	0	1,136	549	96
	学部合計	380	6	5	5	6	3	3	241	175	148	1,117	645	171	3,213	1,458	84	2	1	1	4,585	2,287	412
情報工学部	情報工学科	130	1	1	1	9	3	3	130	68	65	488	197	53	1,110	212	23	3	1	1	1,741	482	146
	情報通信工学科	90	2	2	2	0	0	0	60	53	48	167	90	35	893	257	9	1	0	0	1,123	402	94
	情報システム工学科	90	3	3	3	4	0	0	78	49	47	414	140	42	1,054	298	12	1	0	0	1,554	490	104
	システムマネジメント学科	65	6	6	6	4	4	4	45	32	31	96	56	24	692	208	11	0	0	0	843	306	76
	学部合計	375	12	12	12	17	7	7	313	202	191	1,165	483	154	3,749	975	55	5	1	1	5,261	1,680	420
社会環境学部	社会環境学科	160	39	39	39	8	8	7	73	70	64	196	136	45	581	330	13	3	0	0	900	583	168
合計		915	57	56	56	31	18	17	627	447	403	2,478	1,264	370	7,543	2,763	152	10	2	2	10,746	4,550	1,000

※1 専願制、併願制の合計 ※2 追加合格分を含む。社会環境学部は共通テスト併用選抜を含む ※3 前期、中期、後期及びそれらの追加合格分の合計

## ■大学(編入学)

学部	学科	定員※	志願者	合格者	入学者
工学部	電子情報工学科	-	0	0	0
	生命環境化学科	-	1	1	1
	知能機械工学科	-	0	0	0
	電気工学科	-	1	0	0
	学部合計	-	2	1	1
情報工学部	情報工学科	-	22	7	7
	情報通信工学科	-	3	2	2
	情報システム工学科	-	6	3	3
	システムマネジメント学科	-	5	4	4
	学部合計	-	36	16	16
社会環境学部	社会環境学科	30	18	6	6
合計		-	56	23	23

※工学部、情報工学部の定員は「若干名」

## ■大学院

研究科	専攻	定員	一般※1			協定校※2			外国人※3			合計		
			志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
工学研究科	電子情報工学専攻	8	13	13	12	3	3	3	0	0	0	16	16	15
	生命環境科学専攻	8	14	14	12	0	0	0	0	0	0	14	14	12
	知能機械工学専攻	8	11	8	7	3	3	2	0	0	0	14	11	9
	電気工学専攻	8	5	5	5	1	1	1	0	0	0	6	6	6
	情報工学専攻	10	13	13	13	3	3	3	1	1	1	17	17	17
	情報通信工学専攻	8	4	4	4	0	0	0	1	1	0	5	5	4
	情報システム工学専攻	8	10	10	9	0	0	0	0	0	0	10	10	9
	システムマネジメント専攻	6	3	3	3	2	2	2	0	0	0	5	5	5
	工学研究科合計	64	73	70	65	12	12	11	2	2	1	87	84	77
社会環境学研究科	社会環境学専攻	6	2	2	1	0	0	0	1	1	1	3	3	2
修士課程合計		70	75	72	66	12	12	11	3	3	2	90	87	79
工学研究科 (博士後期課程)	物質生産システム工学専攻	2	3	3	2	0	0	0	0	0	0	3	3	2
	知能情報システム工学専攻	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2	2
	博士後期課程合計	4	5	5	4	0	0	0	0	0	0	5	5	4

※1 推薦入試、一次・二次入試の合計 ※2 キングモンクット工科大学(タイ)、南京理工大学(中国)、青島科技大学(中国) ※3 一次・二次入試の合計

## ■短期大学部

学科	定員	学校推薦型※1			自己推薦			一般※2			一般(共通テスト利用)※3			留学生			合計		
		志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者	志願者	合格者	入学者
情報メディア学科	160	80	76	73	25	11	11	166	110	81	113	88	12	4	2	2	388	287	179
合計	160	80	76	73	25	11	11	166	110	81	113	88	12	4	2	2	388	287	179

※1 専願制、公募制推薦制選抜の合計 ※2 一期、二期選抜の合計 ※3 前期・中期・後期選抜の合計



# 令和4年度県別・学部・男女別入学者一覧表 令和4年5月1日現在

地区	学部(学科)名 都道府県名	大学合計			工学部			情報工学部			社会環境学部			短期大学(情報メディア学科)		
		男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計	男	女	合計
北海道・東北	北海道	2	0	2	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	青森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岩手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	宮城	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北関東・南関東	茨城	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	栃木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	群馬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	埼玉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	千葉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	東京	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	神奈川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
北陸・甲信越	新潟	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1
	富山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	福井	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	山梨	2	0	2	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	長野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東海	岐阜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	静岡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛知	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0
	三重	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
近畿	滋賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	京都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大阪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	兵庫	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	奈良	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	和歌山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中国	鳥取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	島根	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	岡山	3	0	3	2	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0
	広島	2	2	4	0	0	0	2	1	3	0	1	1	0	0	0
四国	山口	18	2	20	7	1	8	10	1	11	1	0	1	1	1	2
	徳島	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	香川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	愛媛	1	2	3	1	0	1	0	1	1	0	1	1	1	0	1
九州	高知	1	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	福岡	593	109	702	256	36	292	253	46	299	84	27	111	99	28	127
	佐賀	43	12	55	18	3	21	20	6	26	5	3	8	8	3	11
	長崎	46	5	51	25	0	25	12	4	16	9	1	10	6	1	7
	熊本	26	4	30	11	3	14	7	0	7	8	1	9	5	2	7
	大分	30	5	35	12	1	13	12	3	15	6	1	7	2	1	3
	宮崎	28	1	29	10	0	10	13	1	14	5	0	5	4	3	7
鹿児島	40	2	42	16	1	17	15	1	16	9	0	9	3	2	5	
沖縄	8	1	9	2	0	2	5	1	6	1	0	1	2	0	2	
	その他 (外国卒・検定等)	3	2	5	1	1	2	0	1	1	2	0	2	4	0	4
	合計	851	149	1,000	365	47	412	353	67	420	133	35	168	136	43	179

はじめに

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

ファミリー・各設置校の状況

バックデータ集

# 広報活動

## 令和3年度パブリシティ掲載状況(教育・研究活動、就活・キャリア支援、学生支援等)

掲載日	区分	掲載された活動内容(タイトル)	担当教員(所属職位・R3年度)	媒体(順不同)
令和3年 4月6日	教育	福工大で“つながるオリエン”コロナ禍不安を解消		KBC九州朝日放送「ANNニュース」(福岡)・KBC九州朝日放送「シリタカ」(福岡)・KBC九州朝日放送「アサデス」(福岡)・Yahoo!ニュース
4月6日	教育	孤立を防げ大学が新生活サポート 新入生が「つながる」セミナー		FBS福岡放送「めんたいワイド」(福岡)・Yahoo!ニュース
4月6日	教育	コロナ禍 新入生の「つながり」を支援		TVQ「ふくサテ」(福岡)
4月21日	研究	電気設備学会の学術奨励賞・電気・田島研「焼酎かすキャパシタ」	電気工学科 田島大輔教授	日刊工業新聞
4月28日	研究	電気工学科 田島研究室「焼酎かすキャパシタ」	電気工学科 田島大輔教授	RKB毎日放送「まちプリ」(福岡)
4月30日	教育	ももち浜ストア特報ライブにて本学の対面授業、遠隔授業の取り組み		TNCテレビ西日本(福岡)
5月1日	研究	発掘ゼミ生命環境化学科宮元先生「無機ナノシート構造色ゲル」	生命環境化学科 宮元展義准教授	RKB毎日放送(福岡)
5月5日	研究	森山・上杉先生「防災GO」紹介。散歩のお供に「防災GO」	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	西日本新聞
5月5日	研究	危険箇所へ近づくとクイズ出題 福工大がゲームアプリ開発「防災GO」	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	47news・gooニュース・BIGLOBEニュース
5月14日	教育	緊急事態宣言中の各大学の授業対応「福工大はQRで対面維持」		読売新聞夕刊
5月26日	研究	「防災GO」森山先生ラジオ生出演 アサデスラジオ	社会環境学科 森山聡之教授	KBCラジオ(福岡)
5月27日	研究	グリーンボンドの市場、1兆円超再エネが呼び込む投資 社環・渡邊先生コメント	社会環境学科 渡邊智明教授	朝日新聞デジタル
5月29日	研究	NHKスペシャル2030未来への分岐点「マイクロプラスチック」拡大版	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	NHKBS1
6月1日	研究	環境DNA分析によってアユの産卵実態の詳細が明らかに	社会環境学科 乾 隆帝教授	読売新聞オンライン・西日本新聞オンライン・株式会社産経デジタル・BIGLOBEニュース・現代ビジネス・小倉経済新聞・小学館アットDIME・ニコニコニュース・とれまがニュース・フレッシュアイ・ウレぴあ総研・財經新聞・PR EDGE(ピーアールエッジ)・マビオンニュース・時事ドットコム・ジルドンニュース・エキサイトニュース・niftyビジネス・Infoseekニュース
6月3日	研究	環境DNAでアユの知られざる産卵実態を解明		環境展望台(環境省メディア)
6月4日	研究	再エネ投資の風、環境債1.2兆円 社環・渡邊先生コメント	社会環境学科 渡邊智明教授	朝日新聞
6月4日	教育	「ももち浜ストア特報ライブ」コロナ禍での対面授業実施 大学の取り組み紹介		TNCテレビ西日本(福岡)
6月7日	研究	◎熊本豪雨1年=森林の減災対策必要 森山先生発表紹介	社会環境学科 森山聡之教授	熊本日日新聞
6月8日	研究	「めんたいワイド」 社会環境学科 森山先生・上杉先生 防災GO紹介	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	FBS福岡放送(福岡)
6月8日	研究	ゲーム感覚で学ぶ「防災アプリ」 地域の危険を把握	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	Yahoo!ニュース
6月16日	就職	大学受験NOW 福工大のキャリア支援について		毎日新聞
6月17日	研究	篠栗町の「元気もん情報」冊子配布へ 社環 嶋崎先生研究PR	教養力育成センター 嶋崎兼司教授	西日本新聞
6月18日	研究	鮎の生息実態をDNAで分析・研究紹介	社会環境学科 乾 隆帝教授	中国新聞
6月19日	研究	SDGsカラフルマンス企画「マイクロプラスチック」永瀬先生特集	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	RKB毎日放送「発掘ゼミ」(福岡)
6月23日	研究	福工大 永瀬研究員「大気中にマイクロプラスチック」研究 紹介	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	RKB毎日放送「まちプリ」(福岡)
6月19日	研究	SDGsカラフルマンス企画「焼酎かす電池」田島先生特集	電気工学科 田島大輔教授	RKB毎日放送「発掘ゼミ」(福岡)
7月5日	学生	九州近代歌謡選聞<517>ジャズ編 「福工大ジャズ研」		西日本新聞
7月6日	研究	福岡総研が成果発表会 田島研究室 鉛蓄電池のリサイクル	電気工学科 田島大輔教授	日刊産業新聞
7月7日	就職	福工大 就職率99.7%、第一志望決定:69.1%達成		読売新聞オンライン・西日本新聞・産経ニュース・朝日新聞デジタルマガジン & [and]・東洋経済オンライン・時事ドットコム・現代ビジネス 講談社・PRESIDENT Online・iza(イザ)産経デジタル・Infoseekニュース・小学館アットDIME・エキサイトニュース・ジルドンニュース!・フレッシュアイ・All About NEWS・とれまがニュース・ORICON NEWS・大学Time・BIGLOBE ニュース・財經新聞・天神経済新聞・niftyビジネス・ニコニコニュース・マビオンニュース・ウレぴあ総研
7月14日 ・15日	研究	薩摩酒造、「焼酎粕(かす)」を次世代電池の電極材に	電気工学科 田島大輔教授	Yahoo!ニュース・西日本新聞ME
7月16日	研究	「朝のインサイト」社会環境学科・「防災GO」紹介	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	RKBラジオ(福岡)
7月21日	研究	薩摩酒造ら、焼酎かすを電極材に変換 次世代電池実現へ	電気工学科 田島大輔教授	日本食糧新聞
7月27日	研究	焼酎粕で次世代電池 プロジェクト始動 薩摩酒造	電気工学科 田島大輔教授	鹿児島建設新聞
7月27日	研究	焼酎粕をキャパシタ電極に再利用、産学連携プロジェクトが始動	電気工学科 田島大輔教授	日経クロステック
7月29日	研究	アユ 水深1メートルでも産卵 高津川で「環境DNA」分析＝島根	社会環境学科 乾 隆帝教授	読売新聞(大阪)
8月4日	研究	篠栗町と大塚製薬が健康増進へ連携協定 避難所へ物資提供も/ふくおか都市圏	教養力育成センター 嶋崎兼司教授	西日本新聞
8月5日	研究	スーパーチャンネル「焼酎かすから電池」田島研紹介	電気工学科 田島大輔教授	テレビ朝日
8月13日	研究	「焼酎粕」を電池の材料に 廃棄処理を減らす取り組み(田島研紹介)	電気工学科 田島大輔教授	ForbesJapan
8月18日	研究	SDGsがこしま 焼酎かす活用、次世代電池に	電気工学科 田島大輔教授	南日本新聞
8月19日	研究	薩摩酒造ら 焼酎粕を電極材に利用 特殊活性炭など開発	電気工学科 田島大輔教授	電子デバイス産業新聞
8月24日	研究	ロボットと働く/福岡工業大学 小生にプログラミング指導	情報システム工学科 木室義彦教授	日刊工業新聞
8月24日	研究	[サロン]次世代電池で令和の維新を/BlueForce(霧島市)	電気工学科 田島大輔教授	南日本新聞
9月7日	研究	平戸で度島で防災フェスタ 電気科田島先生が出演	電気工学科 田島大輔教授	西日本新聞(長崎版)
9月8日	研究	電気工学科 北崎先生のプラズマ研究紹介	電気工学科 北崎 訓准教授	RKB毎日放送「まちプリ」(福岡)
9月9日 ・14日	研究	廃棄アルミくずで新エネルギー「水素」抽出のエコ技術	電気工学科 高原健爾教授	読売新聞オンライン・産経ニュース・西日本新聞オンライン・テレ朝ABEMA モーニング・DIME 株式会社小学館・東洋経済オンライン・PRESIDENT Online・現代ビジネス・時事ドットコム・産経新聞・ニコニコニュース・財經新聞・niftyビジネス・とれまがニュース・BIGLOBE ニュース・小倉経済新聞・iza(イザ)産経デジタル・マビオンニュース・Infoseekニュース・エキサイトニュース・ジルドンニュース!・Yahoo!ニュース
9月9日	研究	消防出張所ない度島(平戸) 自助、共助へ防災学ぶ(電気・田島先生)	電気工学科 田島大輔教授	長崎新聞
9月11日	研究	防災GO 社会環境 上杉・森山研究室	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	RKB毎日放送「発掘ゼミ」(福岡)
9月14日	教育	大学後期対面授業開始 福工大は対面維持		NHK「ロクイチ福岡」(福岡)
9月16日	研究	福岡工業大/アルミ屑から水素抽出/1グラムから水素約1リットル	電気工学科 高原健爾教授	鉄鋼新聞
9月17日	研究	「コンピューターを盲信しない」。知能ロボット専門の教授が大切に学ぶ 情報システム木室先生	情報システム工学科 木室義彦教授	日刊工業新聞
9月20日	教育	敬老の日社説:高齢者メッセージカード紹介		西日本新聞
9月24日	研究	近未来ニュース見聞録・高原研「アルミ屑から水素」	電気工学科 高原健爾教授	マイナビニュース
9月30日	研究	高原研究室「アルミから水素」研究を紹介	電気工学科 高原健爾教授	ドイツ「Ruptly」
10月4日	教育	オンライン授業改善 本学のデジタル環境整備、データ活用による教育改善		朝日新聞
10月5日	研究	廃材を再利用してクリーンエネルギーに(高原研究室)	電気工学科 高原健爾教授	KBC九州朝日放送「シリタカ」(福岡)・Yahoo!ニュース
10月5日	教育	めんたいワイド「コロナ対策 対面授業維持について紹介」		FBS福岡放送(福岡)
10月5日	教育	広がる大学での対面授業 感染対策と教育の両立に現場は		Yahoo!ニュース

掲載日	区分	掲載された活動内容(タイトル)	担当教員(所属職位・R3年度)	媒体(順不同)
10月18日	研究	スマホで災害シミュレーション、災害多発時代に誕生したアプリ「防災GO」	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	西日本新聞DX-with
10月19日	学生	大学生が介護予防カード 古賀市 集もり気遣い2000枚 福工大 大学生		西日本新聞
10月27日	学生	高齢者にメッセージカード 福岡工業大学 学生が手作り		教育學術新聞
10月30日	教育	理系学生 オンラインの壁 実験でせず 成績影響も 感染対策徹底で対面授業再開 新型コロナウイルス		西日本新聞社
10月30日	教育	オンライン授業…理系はつらいよ!? 実験・実習にハードル		gooニュース
11月3日	学生	未来王2030 「エコFIT」が決勝進出		NHK(総合)
11月7日	研究	防災アプリ使い災害時の避難経路などゲーム感覚で体験 島原	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	NHK(長崎)
11月7日	研究	4000人が参加 島原市で大掛かりな防災避難訓練 防災GO活用	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	KTNテレビ(長崎)・Yahoo!ニュース
11月8日	研究	長崎県版/島原市・地震想定して避難訓練「防災アプリ」活用	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	西日本新聞
11月9日	研究	島原市の防災訓練4200人が参加。防災GOを活用	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	島原新聞
11月9日	教育	福岡県/本紙出前講座 福工大で開講 1年生1200人受講へ		西日本新聞
11月10日	研究	住民主体で避難所開設/島原4地区で防災訓練	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	長崎新聞
11月20日	研究	NHKスペシャル<2030未来への分岐点>プラスチック汚染の脅威・永瀬先生出演	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	NHK(総合)・NHK(名古屋)・NHK(大阪)
11月24日	就職	オンライン就活について/本学のフォロー態勢、コメント紹介。		読売新聞
11月27日	研究	福岡県/吉田学術教育振興会/生命・久保先生紹介	生命環境化学科 久保裕也准教授	西日本新聞
11月27日	研究	ゲーム感覚、スマホ片手に防災学が 熊本市の川尻地区	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	Yahoo!ニュース・gooニュース
11月28日	研究	ゲームアプリで防災学ぼう 福岡工大など開発、熊本・川尻校区住民ら訓練/熊本県	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	朝日新聞(熊本)
11月28日	研究	〇スマホ手に防災訓練、避難経路を歩く 熊本市川尻校区 ゲームアプリ活用し住民ら	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	熊本日日新聞
11月28日	研究	ゲーム感覚で防災学ぼう 緑川流域住民、福岡工大などのアプリで訓練	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	docomo Dメニューニュース
11月30日	研究	防災ゲーム、歩いて学ぼう 福岡工大などがアプリ開発 熊本の訓練で体験【西部】	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	朝日新聞(夕刊)
12月19日	研究	島原市防災訓練 避難手順を確認 住民ら4200人 防災GOを使用	社会環境学科 森山聡之教授・上杉昌也准教授	読売新聞(西部)
12月24日	研究	軽石漂着 沈めて解決 福岡工業大の2人提案 水注入し加重、コストも減	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	西日本新聞
12月24日	研究	軽石を沈める技術 福工大が処理方法発見	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	KBC九州朝日放送「アサデス」(福岡)・Yahoo!ニュース・gooニュース・docomo Dメニューニュース
12月27日	研究	「魔法の素材が舞う」マイクロプラスチック汚染 永瀬研究員	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	RKB毎日放送年末特別番組(福岡)
12月31日	研究	福岡工業大学、軽石から気体を抜き海に沈める手法を提案 環境負荷もなし	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	大学ジャーナルONLINE
令和4年1月5日	研究	注目の「水素」身近な金属から製造→脱炭素に挑む 高原研究室アルミかす	電気工学科 高原健爾教授	RKB毎日放送「タダイマ」(福岡)・gooニュース・docomo Dメニューニュース
1月5日	研究	軽石は「減圧」で海中に沈める 新しい処理方法を発明	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	読売新聞オンライン・朝日新聞デジタルマガジン&[and]・東洋経済オンライン・産経ニュース・iza(イザ!)産経デジタル・DIME 株式会社小学館・FNNプライムオンライン・BIGLOBEニュース・All About NEWS・マビオンニュース・博多経済新聞・niftyビジネス・エキサイトニュース・ジョルダンニュース・JBpress(日本ビジネスプレス)・現代ビジネス・時事ドットコム・Infoseekニュース・PRESIDENT Online・ニコニコニュース
1月11日	研究	福岡工大、軽石を沈める新手法を発明	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	水産タイムス
1月16日	研究	「解放区」#19「魔法の素材が舞う〜プラスチック大気汚染〜」	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	TBSドキュメンタリー「解放区」
1月18日	研究	「魔法の素材が舞う〜プラスチック大気汚染〜」	環境科学研究所 永瀬 修客員研究員	RKB公式チャンネル(福岡)
1月20日	研究	コロナで面会減の高齢者 「気分沈む頻度同じ」7割 福工大教授調査	教養力育成センター 榎崎兼司教授	西日本新聞
1月22日	教育	コロナ禍の介護予防事業推進へ 福工大生、篠栗町にオンラインプレゼン		毎日新聞
1月25日	教育	「欲しい人材×育てる人材」長谷川教務事務部長「主体性・協働性、意識づけ」		日刊工業新聞
1月28日	研究	「厄介者」は沈めて解決! 軽石漂着問題で福工大の准教授らが新発想の処理方法を考案	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	読売WEB「ささっと」・gooニュース・Yahoo! ニュース
2月7日	研究	軽石を沈めて解決 生命環境 久保研究室紹介	生命環境化学科 久保裕也准教授・下條光浩講師	雑誌「子供の科学」
2月13日	研究	高齢者のフレイル予防法 榎崎先生コメント	教養力育成センター 榎崎兼司教授	読売新聞
2月16日	研究	自治体もSDGs熱、ESG債発行続々 社会環境 渡邊先生コメント掲載	社会環境学科 渡邊智明教授	朝日新聞
2月16日	研究	避難所の混雑を「見える化」可視化システムを開発	情報通信工学科 石田智行教授	読売新聞オンライン・時事ドットコム・産経デジタル・西日本新聞オンライン・天神経済新聞・小倉経済新聞・財経新聞・niftyビジネス・OSDN Magazine・BtoBプラットフォーム・All About NEWS・CNET JAPAN・STRAIGHT PRESS・Infoseekニュース・とれまがニュース・エキサイトニュース・ニコニコニュース
2月18日	教育	「地域創生入門」篠栗町への学生プレゼン	教養力育成センター 榎崎兼司教授	西日本新聞
2月24日	学生	電気工学科3年馬越さん ロボット相撲世界一を目指す活動を紹介		KBC九州朝日放送「シリタカ」(福岡)
3月2日	就職	ニュースロクイチ福岡「大学生のコロナ禍での就活支援」本学を紹介		NHK(福岡)
3月2日	就職	ニュース845「大学生のコロナ禍での就活支援」本学を紹介		NHK(福岡)
3月7日	地域	新聞コミュニケーション大賞2021 福岡工業大×西日本新聞		西日本新聞
3月16日	研究	「福岡・北九州 LIVE news」情報通信工学科 石田教授 避難所管理システムについて	情報通信工学科 石田智行教授	Jcom福岡
3月24日	研究	めんたいワイド「中州の送電線が風船でショート」電気北川先生コメント	電気工学科 北川二郎教授	FBS福岡放送(福岡)
3月28日	研究	解は細胞の中に ライフ分野の遺伝子技術最前線:環境DNA:乾先生紹介	社会環境学科 乾 隆帝教授	化学工業日報

## ■募集・広報活動等関連指標の推移

項目	年度	H24 (H25年度入試)	H25 (H26年度入試)	H26 (H27年度入試)	H27 (H28年度入試)	H28 (H29年度入試)	H29 (H30年度入試)	H30 (R1年度入試)	R1 (R2年度入試)	R2 (R3年度入試)	R3 (R4年度入試)
志願者数	人数	5,590	6,343	6,564	6,939	9,564	9,949	10,874	12,585	11,345	10,746
H Pセッション数	件数	391,751	434,342	497,216	548,592	654,073	666,425	764,196	842,800	1,082,623	950,951
パブリシティ掲載	件数	-	-	226	268	376	175	204	295	338	337

# 令和3年度進路状況 令和4年3月卒業者

## ■大学

学部名	学科名	卒業者数 ※1	就職希望者数	就職内定者数	大学院進学者数	就職率 ※2	実就職率 ※3
工学部	電子情報	101	89	89	12	100%	100%
	生命環境	90	74	74	12	100%	94.9%
	知能機械	101	93	93	7	100%	98.9%
	電気	80	74	74	6	100%	100%
	学部合計	372	330	330	37	100%	98.5%
情報工学部	情報	154	136	135	16	99.3%	97.8%
	情報通信	84	73	73	4	100%	91.3%
	情報システム	95	83	83	11	100%	98.8%
	システムマネジメント	65	61	61	2	100%	96.8%
	学部合計	398	353	352	33	99.7%	96.4%
社会環境学部	社会環境	165	153	153	1	100%	93.3%
大学合計		935	836	835	71	99.9%	96.6%

※1 前期卒業者を除く ※2 就職率=就職内定者数/就職希望者数 ※3 実就職率=就職内定者数/(卒業者数-大学院進学者数)

## ■大学院修士課程

専攻名	修了者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
電子情報	10	6	6	2	100%	75.0%
生命環境	6	6	6	0	100%	100%
知能機械	9	8	8	1	100%	100%
電気	5	3	3	2	100%	100%
情報	5	5	5	0	100%	100%
情報通信	7	7	7	0	100%	100%
情報システム	6	6	6	0	100%	100%
システムマネジメント	4	3	3	0	100%	75.0%
社会環境	0	0	0	0	-	-
大学院合計	52	44	44	5	100%	93.6%

※前期修了者を除く

## ■短期大学部

学科名	卒業者数	就職希望者数	就職内定者数	進学者数	就職率	実就職率
情報メディア	138	50	49	68	98.0%	70.0%
ビジネス情報	1	1	1	0	100%	100%
短大合計	139	51	50	68	98.0%	70.4%

## ■短期大学部 編入学実績一覧

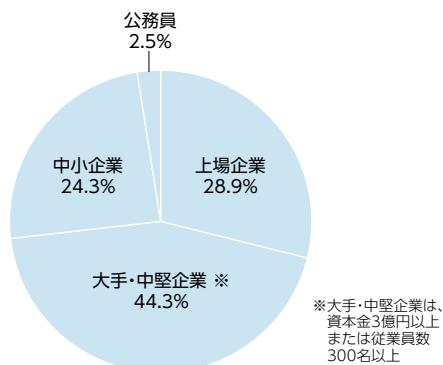
学科名	編入希望者数	編入決定者数				編入決定率	うち、情報・工学系への編入	
		国公立大学	福岡工業大学	私立大学	合計		人数	割合
情報メディア	68	11	22	35	68	100%	51	75.0%
合計	68	11	22	35	68	100%	51	75.0%

## ■短期大学部 編入学合格者・進学者一覧

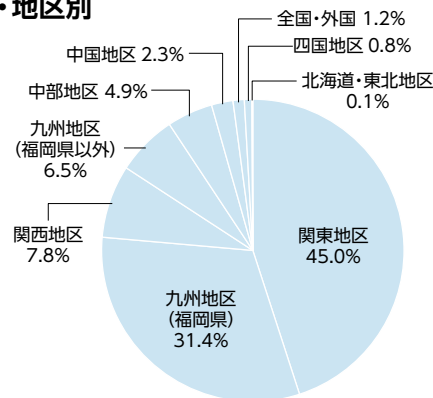
大学種別	学校名	学部	合学者数(延べ数)	大学種別	学校名	学部	合学者数(延べ数)
国公立大学	九州工業大学	情報工学部	2	私立大学(その他)	西日本工業大学	デザイン学部	2
	佐賀大学	理工学部	1		西日本工業大学	工学部	1
	宮崎大学	工学部	1		久留米工業大学	工学部	4
	鹿児島大学	工学部	2		久留米大学	経済学部	2
	琉球大学	工学部	2		中村学園大学	栄養科学部	1
	島根大学	総合理工学部	1		中村学園大学	流通科学部	1
	徳島大学	理工学部	1		九州産業大学	理工学部	4
	愛媛大学	工学部	1		九州産業大学	商学部	2
	岐阜大学	工学部	1		九州産業大学	地域共創学部	1
	北九州大学	国際環境工学部	3		九州共立大学	経済学部	3
						九州情報大学	経営情報学部
合計			15	東海大学	工学部	1	
私立大学(福岡工業大学)	福岡工業大学	情報工学部	16	城西国際大学	メディア学部	1	
	福岡工業大学	社会環境学部	6	愛知工科大学	工学部	1	
				大阪経済法科大学	経営学部	1	
				大阪産業大学	工学部	1	
合計			22	合計			40
				総合計			77



## ■大学・企業規模別

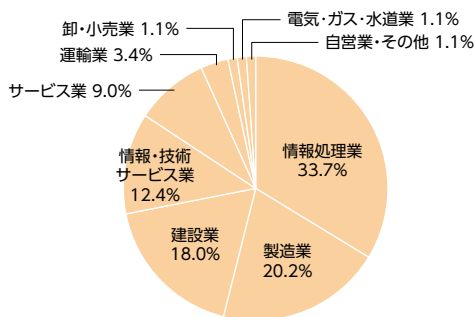


## ■大学・地区別



## 電子情報工学科

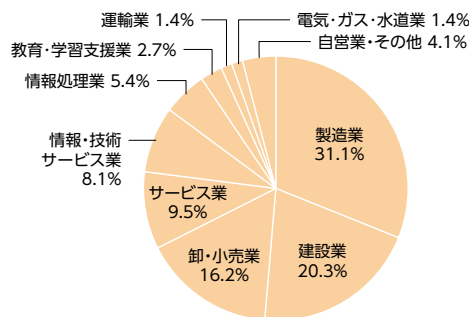
日本システムウェア㈱/太平電業㈱/日本コムシス㈱/ジョンソンコントロールズ㈱/株明電エンジニアリング/新生テクノス㈱/株日本マイクロニクス/日本無線㈱/株日本デジタル研究所/株朋栄/三和シヤッター工業㈱/NECネットエスアイ㈱/TDCソフト㈱/株DTS/株アイ・エス・ピー/株システナ/日本システムウェア㈱/NECフィールディング㈱/SETソフトウェア㈱/宇宙技術開発㈱/株SKB/株エイエイエス/株日立産業制御ソリューションズ/日本通運㈱/エス・イー・シーエレベーター㈱/三菱電機システムサービス㈱/三菱電機ビルテクノサービス㈱/WDB工学㈱/UTエイム㈱/ラピスセミコンダクタ㈱/サイバーコム㈱/株アルファシステムズ/コムシス㈱/株クロステック/株アルプス技研/ミネベアミツミ㈱/デンソーテクノ㈱/三菱電機メカトロニクスエンジニアリング㈱/トータックアメニティ㈱/株ヒラテ技研/ダイダマン㈱/株きんでん/株大阪防水建設社/日本エレクトロニクスシステムズ㈱/関西電力㈱/センコー㈱/西日本旅客鉄道㈱/英和㈱/株ダイキエンジニアリング/株九電工/ゼオライト㈱/株ドコモCS九州/ファウンテン・テリ㈱/不二精機㈱/株三井ハイテック/ニシム電子工業㈱/豊前東芝エレクトロニクス㈱/フォーサイトシステム㈱/株サンレイズ/株バイオニアソフト/株ワールドインテック/株アスパーク/株ジャパンセミコンダクター大分事業所/南菱冷熱工業㈱/自営業など



就職率 100%・実就職率 100%

## 生命環境化学科

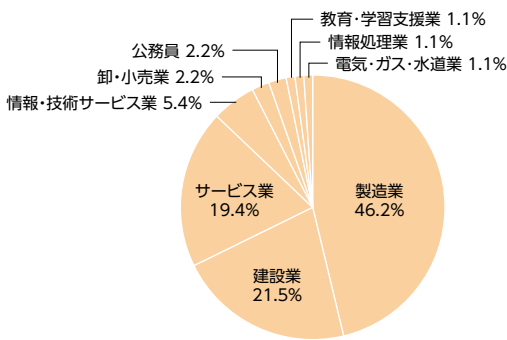
株富士薬品/トーエイ物流㈱/JFE環境テクノロジ㈱/株大社社/山九㈱/新日本空調㈱/NTTインフラネット㈱/wingAM㈱/山崎製パン㈱/株ダイショー/株サラダクラブ/株三井三池製作所/株タムラ製作所/株オネスト/三菱電機インフォメーションネットワーク㈱/株巴商會/株ゼンショーホールディングス/アチーブメント㈱/株エイジック/株アルファシステムズ/株にししば/株ヤマコ/株ネクステージ/株リッツメディカル/株ブロンコビリー/株Per技研/株リフレ/株ダイダマン/株ニコニコのり/株林純業工業㈱/エスケー化研㈱/関西電力㈱/アドバンテック㈱/株あじかん/旭酒造㈱/株九電工/株菱熱/新日本熱学㈱/株千鳥鐘頭総本舗/日本製鉄九州製鐵所/株リョウワ/株鹿取製作所/株九州イノアック/グローバルブレインズ㈱/株アステックペイント/株アステム/株福岡九州クボタ/正見㈱/株トリアルカンパニー/学校法人福岡大学附属城東高等学校/福岡県立学校教員(高校)/株サニックス/株日豊清掃センター/東亜非破壊検査㈱/福岡建材㈱/株ワールドインテック/株ミソタ/芸能事務所SPOTOFEDEN/熊本製粉㈱/KMバイオロジクス㈱/株菱齒/株えがお/株塚電電気工事㈱/エステイケテクノロジ㈱/自営業など



就職率 100%・実就職率 94.9%

## 知能機械工学科

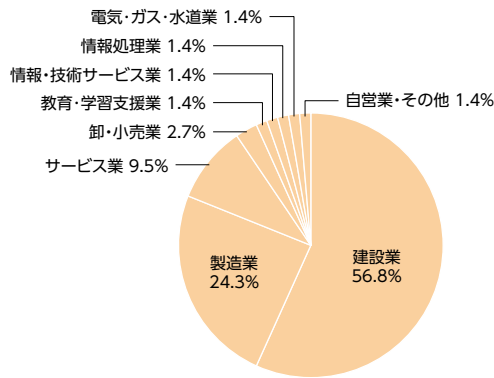
前澤工業㈱/新日本空調㈱/太平電業㈱/株クリマテック/株日立プラントサービス/三菱電機プラントエンジニアリング㈱/山九プラントテクノ㈱/wingAM㈱/JFEスチール株西日本製鉄所/浜井産業㈱/タキゲン製造㈱/スタンレー電気㈱/株日立産機システム/株アルティア/NECネットエスアイ㈱/株タマディック/株日立ビルシステム/三菱電機ビルテクノサービス㈱/UTグループ㈱/株アウトソーシングテクノロジ/株メイテックフィルダース/株アルトナー/株ヤマコ/新明工業㈱/西島㈱/中立電機㈱/デンソーテクノ/株/三菱自動車エンジニアリング㈱/三菱電機メカトロニクスエンジニアリング㈱/1PEX㈱/株きんでん/ハウス食品㈱/天辻鋼球製作所/株鶴見製作所/新晃工業㈱/株瑞光/川村義肢㈱/アイテック㈱/株木内計測/株中電工/株イガワテック/株イズミ/アラインテック㈱/株ベルボリエステルプロダクツ/ユニ・チャームプロダクツ㈱/株九電工/株高田工業所/株サン電工社/株アステック入江/吉川工業㈱/濱田重工㈱/有限会社川辺製作所/アイム電機工業㈱/株フジマックネオ/三友機器㈱/不二精機㈱/株三井ハイテック/株キューベン/マリンハイドロテック㈱/株デンソー九州/株トヨタプロダクションエンジニアリング/西部ガス㈱/株オーレック/計測検査㈱/東亜非破壊検査㈱/国土交通省九州地方整備局/福岡県警察/株ミソタ/協和機電工業㈱/株西日本流体技研/株テックサーブ/大分県立津久見高等学校/株九州チヂナ



就職率 100%・実就職率 98.9%

## 電気工学科

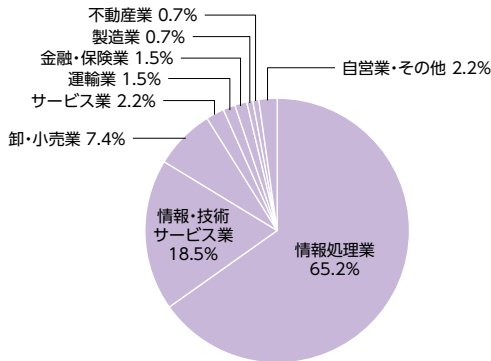
メタウォーター㈱/太平電業㈱/日比谷総合設備㈱/日本コムシス㈱/日本電設工業㈱/株HEXELWorks/株NITTFASHIRIティーズ/佐藤建設工業㈱/三菱電機冷熱プラント㈱/山陽電機㈱/新生テクノス㈱/東光電気工事㈱/日鉄テックスエンジニア㈱/日本ファシリオ㈱(ALSOKグループ)/株東光高岳/富士電機機軸/オーテック電子㈱/株システナ/エス・イー・シーエレベーター㈱/株日立ビルシステム/三菱電機ビルテクノサービス㈱/株アルプスビジネスサービス/ミネベアミツミ㈱/株マキノ/フジテック㈱/ダイダマン/株きんでん/栗原工業㈱/朝日エンジニアック/野里電気工業㈱/株カワタ/関西電力㈱/英和/株イガワテック/マツダ㈱/BEMAC/株/ダイオーエンジニアリング㈱/株九電工/西部電気工業㈱/JR九州電気システム㈱/株秀社/西日本エレベーター/株西日本プラント工業/株西日本高速道路エンジニアリング九州/株濱田重工/株三井ハイテック/ニシム電子工業/株ローム・アポロ/株ムーンスター/東亜非破壊検査/株ミソタ/小糸九州/株佐賀県立佐賀工業高等学校/協和機電工業㈱/株鹿兒島トペット/自営業など



就職率 100%・実就職率 100%

## 情報工学科

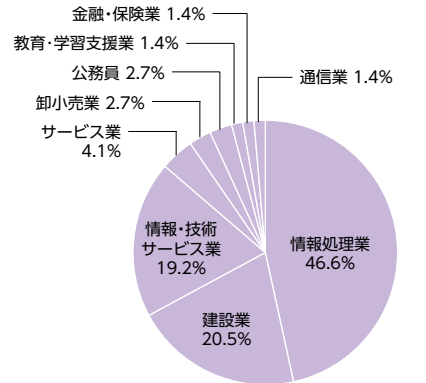
㈩OKIソフトウェア/㈩システナ/㈩セラク/日本システムウェア㈩/SIG/㈩ソルクシーズ/㈩アックス/CTCテック/ロジール/DXCテック/ロジールジャパン/NECフィールディング㈩/SCSKMinorityソリューションズ㈩/アジアクエスト㈩/サン情報サービス㈩/セントラルソフト㈩/㈩G.A.P/㈩ISTソフトウェア/㈩LYZON/㈩SCC/㈩SKB/㈩アイエスエフネット/㈩アックロビジョン/㈩エイチ・エル・シー/㈩エム・アンド・アイ/㈩ジー・エス・イー/㈩シーエーシー/㈩三菱電機インフォメーションネットワーク㈩/日本自動化開発㈩/㈩ヨドバシカメラ/㈩エス・イー・シーエーシー/㈩日信電子サービス㈩/㈩マイスターエンジニアリング/UTエム㈩/㈩VSN/㈩アウトソーシングテック/ロジール/㈩エイジェック/㈩テックノブ/㈩プロテック/㈩エンジニアリング社/㈩サイバコム㈩/㈩CJ/㈩アルファシステムズ/富士ソフト㈩/協立システム開発㈩/㈩アップビート/㈩アルプス技研/㈩アルプスビジネスサービス/タック㈩/㈩システムリサーチ/㈩フリースタイル/㈩第一コンピュータリソース/㈩レッドパロン/㈩REVIAS/ナビオコンピュータ㈩/㈩JR西日本ITソリューションズ/㈩エクストリンク/センコー㈩/㈩九州テン/㈩YE DIGITAL/SCSK九州㈩/アイコムソフト㈩/ユニティ・ソフト㈩/㈩KBKプラス/㈩インフォメックス/㈩カクスタネット/㈩くじらシステム開発/㈩ゲット/㈩サンテック/㈩シンク/㈩スミリオン/㈩ソフトサービス/㈩ディジテック/㈩テックノカルチャー・システム/㈩トリガ/㈩ネットワーク応用技術研究所/㈩日本コンピュータ・アソシエーツ/九州NSソリューションズ㈩/西鉄情報システム㈩/日本システムスタディ㈩/富士通Japanソリューションズ九州㈩/博多港サイロ㈩/アプライド㈩/㈩アステックペイント/㈩コスモス薬品/㈩福岡銀行/㈩ワールドインテック/㈩アソウ・アルファ/㈩ティーンネットジャパン/㈩木村情報技術㈩/㈩佐賀銀行/㈩Alphabetホールディングス/㈩RKKCS/自営業など



就職率 99.3%・実就職率 97.8%

## 情報通信工学科

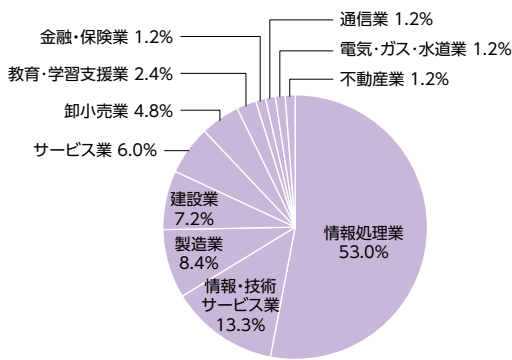
エクシオグループ㈩/サンワコムシステムエンジニアリング㈩/東邦電気工業㈩/NECネットエスアイ㈩/㈩DTS/㈩SIG/CTCシステムマネジメント㈩/CTCテック/ロジール/NSWテック/サービス㈩/セントラルソフト㈩/テラテック/ロジール/㈩ISTソフトウェア/㈩エスアイイー/㈩コーソル/㈩システム・サイエンス/日本ソフト技研㈩/富士通Japan㈩/KDDI㈩/㈩NHKテック/ロジール/Modis㈩/UTテック/ロジール/㈩アウトソーシングテック/ロジール/㈩エイジェック/㈩テックノブ/㈩IT社/㈩テックノブ/㈩エンジニアリング社/㈩メイテックフィルダース/サイバコム㈩/コムシス㈩/㈩中央コンピュータシステム/㈩日本コンピュータコンサルタント/COLOURS㈩/京セラコミュニケーションシステム㈩/日本エレクトロニクスシステムズ㈩/㈩ロビズモ/日本アイ・ピー・エム共同ソリューション・サービス㈩/ゼオライト㈩/ダン技術設計㈩/㈩サン電工社/SCSK九州㈩/㈩カクスタネット/㈩シー・スリー・ソフトウェア/㈩日本コンピュータ・アソシエーツ/九州NSソリューションズ㈩/キャタピラー九州㈩/学校法人巨樹の会令和健康科学大学/㈩ワールドインテック/㈩アルテクス/福岡県警察/㈩ネットコムBB/㈩佐賀銀行/㈩佐賀県庁/協和機電工業㈩/マツハヤ・コーポレーション㈩/㈩ひぐち(ひぐちグループ)など



就職率 100%・実就職率 91.3%

## 情報システム工学科

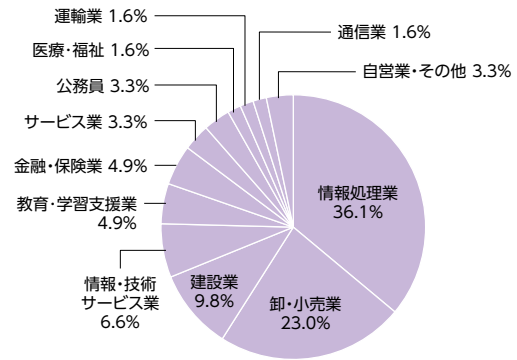
さいたま市立南浦和中学校/㈩大気社/㈩オリイ研究所/NECネットエスアイ㈩/SCSK㈩/DTS/㈩NSD/㈩シーエーシー/㈩システナ/㈩ジャステック/㈩大塚商会/日本システムウェア㈩/㈩クロスキャット/㈩ソルクシーズ/SCSKMinorityソリューションズ㈩/サン情報サービス㈩/ハイテックシステム㈩/㈩ISIDインターテック/ロジール/㈩SKB/㈩インテックソリューションパワー/㈩オールスマート/㈩ユー・エス・イー/三菱電機ビルテック/サービス㈩/㈩マイスターエンジニアリング/JTP㈩/㈩アウトソーシングテック/ロジール/㈩エイジェック/㈩メイテックフィルダース/富士通㈩/サイバコム㈩/㈩アイネット/ジャパニクス㈩/㈩アルトナー/㈩アルプス技研/三谷産業㈩/西島㈩/㈩イーワイト/トテックアメニティ㈩/㈩アストエッジ/eBASE-PLUS㈩/センコー情報システム㈩/情報システムサービス㈩/㈩エヌ・ティティ・ネオメイト/メルコパワーデバイス㈩/㈩日立ソリューションズ西日本/㈩九電工/㈩高田工業所/丸栄化工㈩/㈩三松/㈩ディ・アイ・エス/㈩三井ハイテック/九州電力㈩/㈩YE DIGITAL/SCSK九州㈩/㈩NTTデータNCB/㈩シティアコム/㈩ソフネット/㈩九州地区農協オンラインセンター/㈩日本コンピュータ・アソシエーツ/九電ビジネスソリューションズ㈩/㈩コンピュータサイエンス/リックス㈩/㈩コスモス薬品/㈩グッディ/㈩古賀組/㈩玉屋/㈩キューセツAQUA㈩/進和興産㈩/㈩アソウ・アルファ/学校法人精華学園精華女子高等学校/㈩木村情報技術㈩/㈩オーイーシー/㈩鹿児島銀行など



就職率 100%・実就職率 98.8%

## システムマネジメント学科

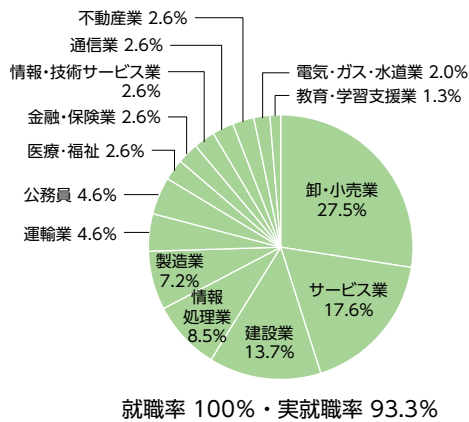
㈩資生堂/㈩アイティフォー/㈩システナ/㈩ジャステック/日本システム技術㈩/㈩クロスキャット/アイコムシステム㈩/㈩SHINKO/㈩オープンストリーム/㈩ジャパンテックニカルソフトウェア/㈩スタイル・フリー/㈩タウン・システム/㈩日本総研情報サービス/㈩明光ネットワークジャパン/㈩レントラックス/㈩アプライオリティ/㈩アウトソーシングテック/ロジール/警視庁/富士通㈩/サイバコム㈩/㈩日本コンピュータコンサルタント/富士通エフサスシステムズ㈩/㈩アルプス技研/㈩日本アシスト/㈩エスエフシー新潟/デンソーテック/㈩/㈩ネクステージ/オガワ機工㈩/㈩エヌ・エフ・ティ/空研工業㈩/㈩KBKプラス/㈩サンレイズ/㈩リンネット/QTnet㈩/㈩九州丸和ロジスティクス/キャタピラー九州㈩/㈩コスモス薬品/タンスのゲン㈩/トヨタカローラ福岡㈩/㈩ネットヨタ福岡㈩/㈩トラリアルカンパニー/九州三菱自動車販売㈩/福岡トヨペット/㈩SIC/㈩筑邦銀行/福岡ひびき信用金庫/社団法人福岡市医師会/北九州市公立学校教員(中学)/久留米学園高等学校/㈩佐賀電算センター/㈩エナソス九州/㈩浜屋百貨店/柳井電機工業㈩/伊佐市役所/自営業など



就職率 100%・実就職率 96.8%

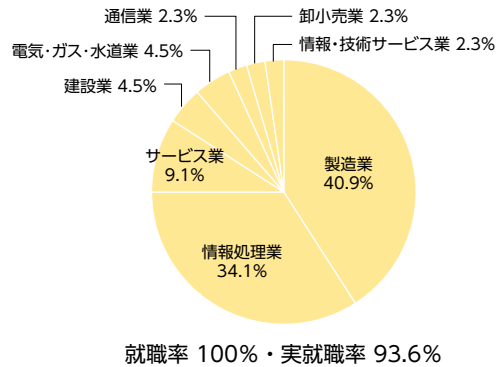
## 社会環境学科

株式会社YELL / 株式会社丸和運輸機関 / 山九株式会社 / 東亜道路工業株式会社 / ジャパンパイル株式会社 / 株式会社ガテック / 小野田ケミカル株式会社 / キヤノン株式会社 / イシグル株式会社 / 株式会社システナ / ESRIジャパン株式会社 / 株式会社アル・シー・ティー・ジャパン / 株式会社オネスト / 株式会社ユー・エス・イー / 三井情報株式会社 / 株式会社日本テレメッセージ / 佐川急便株式会社 / リコージャパン株式会社 / 株式会社川メカトロレック / 富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社 / コツメイト / 株式会社ビッグモーター / 株式会社ヤナセ / 株式会社ヨドバシカメラ / 第一生命保険株式会社 / ルートイングループ / 株式会社バスコ / 総合警備保障株式会社 / 株式会社CSM / 株式会社POSON / 株式会社アクティオ / 株式会社いさらびGROUPOUP / 株式会社インターレイズ / 株式会社・ジョイ / 株式会社全日警 / 株式会社美伸 / 都市環境整備株式会社 / 株式会社アウトソーシングテクノロジ / 株式会社エイジェック / 株式会社ワールドコーポレーション / 東京消防庁 / アマノ株式会社 / 株式会社ネオジャパン / 太陽建機レンタル株式会社 / 株式会社ヤマコ / 株式会社レッドパロン / 株式会社オンテックス / 浅海電気株式会社 / ユニチカ株式会社 / 中央自動車工業株式会社 / 株式会社サイ引越センター / 英和株式会社 / ムソー株式会社 / ライト電業株式会社 / 岡山県警察本部 / 中国電力株式会社 / 旭酒造株式会社 / 山口トヨペット株式会社 / 株式会社松本コンサルタント / 株式会社カラレーベン / 西日本 / 愛媛マンダリンパイレーツ(愛媛県民球団株式会社) / 西部電気工業株式会社 / キューハイテック株式会社 / 株式会社環境開発 / 株式会社三和綜合土木 / 株式会社堤木村 / 大和コンサル株式会社 / 吉川工業株式会社 / タカハ機工株式会社 / 不二精機株式会社 / 吉村アクティブ産業株式会社 / 西部ガスリビング株式会社 / Gcomホールディングス株式会社 / 株式会社アズテック・スマートソリューションズ / 株式会社ニシコン / 株式会社九州共栄システムズ / 株式会社イーサポート福岡本店 / 株式会社イー・ピー・シー映像 / SBS三菱ロジ九州株式会社 / 株式会社九州丸和ロジスティクス / 株式会社博運社 / 九州商運社 / アプライド株式会社 / 株式会社アスクベント / 株式会社翔業 / 岩田産業株式会社 / 西日本シダダ株式会社 / 株式会社麻生商事株式会社 / 株式会社コスモス薬品 / 株式会社フコトヨカローラ博多株式会社 / トヨタカローラ福岡株式会社 / 株式会社タカミヤ / 株式会社マルキョウ / 株式会社一蘭 / 株式会社新生堂薬局 / 小原井産業株式会社 / 風月フーズ株式会社 / 福岡トヨタ自動車株式会社 / 株式会社ハウジングプラザ / 株式会社不動産中央情報センター / 鬼丸ホーム株式会社 / 医療法人悦可会杉野眼科 / 医療法人財団池友会福岡新水呑病院 / 地方独立行政法人北九州市立病院機構 / 株式会社アピタシオン / 学校法人巨樹の会令和健康科学大学 / 国立大学法人九州大学 / 全国共済農業協同組合連合会福岡県本部 / 北九州農業協同組合(JA北九州) / エフコープ生活協同組合 / コカ・コーラボトランスジャパンベンディング株式会社 / 株式会社九州建産 / 九電産業株式会社 / 中央橋設計株式会社 / 日本ライフサポート株式会社 / 有限会社リアルディール / 篠栗町役場 / 北九州市消防 / 唐津土木工業株式会社 / 株式会社JAフーズさが / 株式会社十八親和銀行 / 長崎県警察本部 / ジョウツウ株式会社 / 株式会社熊本銀行 / 富士フイルムBI大分株式会社 / 新光石油株式会社 / 日田市役所 / かごしま電工株式会社 / JA鹿児島県連 / 阿久根地区消防組合本部など



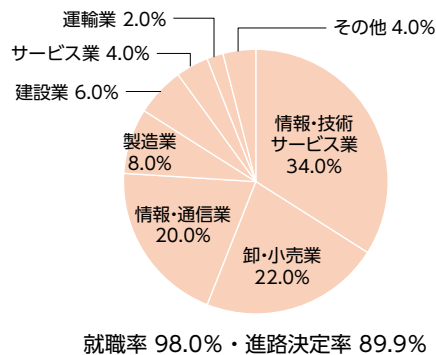
## 大学院

株式会社リーボンド / 三井金属鉱業株式会社 / 東芝テック株式会社 / 大崎電気工業株式会社 / 富士電機株式会社 / GMOインターネット株式会社 / 株式会社システナ / 株式会社ジャステック / 株式会社モバイルファクトリー / 日本オラル株式会社 / 日本システム技術株式会社 / セコム株式会社 / 株式会社NHKテクノロジーズ / 三菱電機エンジニアリング株式会社 / 富士通株式会社 / 株式会社アルファシステムズ / 東芝デジタルソリューションズ株式会社 / 株式会社岩間工業所 / テクノテック株式会社 / トヨタテクノカルディペロップメント株式会社 / 京セラ株式会社 / 関西電力株式会社 / 株式会社NNTフィールドテック / 株式会社テクノプロテック / 株式会社R&D社 / 西川ゴム工業株式会社 / 三浦工業株式会社 / 株式会社コムCS九州株式会社 / 株式会社フジコー / 株式会社三井ハイテック / 安川オートメーションドライブ株式会社 / 株式会社ヨダテクノロジエン지니어リング / 九州電力株式会社 / 株式会社ゼンリン / 株式会社Y DIGITAL Kyushu / 株式会社ソフトサービス / 株式会社フイズ・コンピュータ・クリエイティブ / 株式会社九州日立システムズ / 木村情報技術株式会社 / 協和機電工業株式会社 / 株式会社デンケン / 株式会社MUC / 中運重科 / 寧徳時代新能源科技股分有限公司 / 旭化成盛科(広州)有限公司など



## 短期大学部

株式会社アイ・エス・ピー / 株式会社システナ / 株式会社エム・アンド・アイ / 株式会社リーディング・ウイン / 株式会社オンデーズ / 株式会社ビッグモーター / 株式会社映像システム / 株式会社平山 / 株式会社アピスト / 株式会社アウトソーシングテクノロジ / 株式会社エイジェック / 株式会社メイテックフィルダース / 日本マニファクチャリングサービス株式会社 / 株式会社アルプスビジネスサービス / 株式会社トーエネック / パーナルR&D株式会社 / 株式会社アイアス / 株式会社京セラ / 株式会社ワン・ダイニング / 山口県農業協同組合 / 西部電気工業株式会社 / 株式会社ハウジングゼロ / 株式会社栄興技研 / キヤノンアルゴロジック株式会社 / 株式会社アンドストリー / 株式会社サンテック / 光陽無線株式会社 / 株式会社ISM / 株式会社博運社 / 株式会社オリゾン / 株式会社カンサイ / 丸進青果株式会社 / WEIWEIホールディングス株式会社 / 株式会社サンキュードラッグ / 株式会社ドラッグストアモリ / 株式会社アスパーク / 株式会社九州ソフト / 自営業など



## 令和3年度進学状況 令和4年3月卒業者

(敬称略・順不同)

### ■大学院

- 九州大学大学院 システム情報科学府 博士後期課程
- 熊本大学大学院 自然科学教育部 博士後期課程
- 東北大学大学院 博士後期課程
- 福岡工業大学大学院 工学研究科 博士後期課程

### ■大学

- 九州大学大学院 工学府 修士課程
- 九州工業大学大学院 情報工学府 博士前期課程
- 九州工業大学大学院 生命体工学研究科 博士前期課程
- 福岡教育大学大学院 教職実践専攻
- 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士前期課程
- 福岡工業大学大学院 工学研究科 修士課程
- 福岡工業大学大学院 社会環境学研究科 修士課程

### ■短期大学部

- 九州工業大学 情報工学部
- 宮崎大学 工学部
- 鹿児島大学 工学部
- 琉球大学 工学部
- 島根大学 総合理工学部
- 愛媛大学 工学部
- 岐阜大学 工学部
- 北九州大学 国際環境工学部
- 福岡工業大学 情報工学部
- 福岡工業大学 社会環境学部
- 西日本工業大学 デザイン学部
- 西日本工業大学 工学部
- 久留米工業大学 工学部
- 久留米大学 経済学部
- 中村学園大学 栄養科学部
- 中村学園大学 流通科学部
- 九州産業大学 理工学部
- 九州産業大学 商学部
- 九州産業大学 地域共創学部
- 九州情報大学 経営情報学部
- 東海大学 工学部
- 城西国際大学 メディア学部
- 愛知工科大学 工学部
- 大阪経済法科大学 経営学部
- 大阪産業大学 工学部

## ■外部研究資金の取得実績推移

(単位:千円・件)

		H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
共同研究	金額	6,375	11,083	10,507	10,355	37,472	18,403	26,517	26,933	14,650	35,440
	件数	11	15	14	18	19	21	21	31	21	32
受託研究	金額	6,535	13,113	8,781	14,625	18,106	42,203	35,650	119,094	76,957	90,417
	件数	6	9	6	11	13	13	7	14	19	19
奨学寄付金	金額	5,133	500	7,949	18,635	14,426	17,200	11,222	20,270	19,520	8,600
	件数	5	1	9	20	16	15	10	31	23	14
科学研究費補助金	金額	60,970	53,690	71,310	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740
	件数	40	39	41	48	53	60	63	61	64	64
その他外部助成金	金額	5,439	23,570	653	540	0	1,620	0	3,850	550	10,679
	件数	5	10	4	1	0	2	0	18	26	31
合計	金額	84,452	101,956	99,200	118,515	162,824	159,246	163,609	243,207	202,027	222,876
	件数	67	74	74	98	101	111	101	155	153	160

## ■科学研究費申請・採択状況の推移(短期大学部含む、H27～特任教員含む)

(単位:件・%・千円)

		年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
申請	申請総教員数		152	151	155	161	158	158	161	157	155	157
	新規申請件数		61	61	69	71	78	91	82	86	80	72
	申請率※1		40.1	40.4	44.5	44.1	49.4	57.6	50.9	54.8	51.6	45.9
採択	総採択件数		40	39	41	48	53	60	63	61	64	64
	内訳	新規	16	10	15	20	13	20	20	18	17	9
		継続	24	29	26	28	40	40	43	43	47	55
	採択率(新規)※2		26.2	16.4	21.7	28.2	16.7	22.0	24.4	20.9	21.3	12.5
	採択率(新規+継続)※3		47.1	43.3	43.2	48.5	44.9	45.8	50.4	47.3	50.4	50.4
	金額		60,970	53,690	71,310	74,360	92,820	79,820	90,220	73,060	90,350	77,740

※1 申請率:新規申請件数/総教員数 ※2 採択率(新規):新規採択件数/新規申請件数 ※3 採択率(新規+継続):総採択件数/(新規申請件数+継続採択件数)

## ■令和3年度外部大型研究支援事業<府省庁所管> 取組実績(採択件数12件、採択金額合計89,286千円)

研究助成機関名	件数	参画(代表・分担)している研究テーマ	研究者(職位:R3)	学科
日本医療研究開発機構(AMED)	1	外科手術のデジタルトランスフォーメーション:情報支援内視鏡外科手術システムの開発	徳安達士教授	情報システム工学科
石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEG)	1	フッ化水素酸を用いないタンタル・ニオブの新製錬	久保裕也准教授	生命環境化学科
科学技術振興機構(JST) 【CREST】	6	触媒インフォマティクスの創成のための実験・理論・データ科学研究	蒲池高志教授	生命環境化学科
【CREST】		計算化学が先導するメタン酸化触媒の開発と触媒設計技術の創成	蒲池高志教授	生命環境化学科
【SATREPS】		バイポーラ膜電気透析による炭酸塩化技術(MCC&U3)の開発	久保裕也准教授	生命環境化学科
【SCORE】		①ナノシート構造色材料に基づく調色型スマートウィンドウの開発 ②アントレプレナーシッププログラムの運営	①宮元展義准教授 ②総合研究機構 産学連携推進室	生命環境化学科
【未来社会創造事業】		非線形・複雑系に着目した認知症のロバストネス数理モデルとそのハブ因子の解明	山口 裕助教	情報工学科
新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)	1	航空機用先進システム実用化プロジェクト/次世代電動推進システム研究開発/高効率かつ高出力電動推進システム	井上昌睦教授	電気工学科
中小企業経営支援等対策費補助金(戦略的基盤技術高度化支援事業)	1	安全な自動運転に貢献する車載カメラレンズを製作するため、NPD(ナノ多結晶ダイヤモンド)製工具の高精度切削加工技術を活用した広角度・超硬合金製ガラスレンズ金型の開発	仙波卓弥教授	知能機械工学科
国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所	2	避難促進のための防災GO!プロトタイプの開発	上杉昌也准教授	社会環境学科
国土交通省 九州地方整備局「令和3年度河川砂防技術研究開発公募地域課題(河川生態)」		大規模な洪水攪乱下での河川構造の複雑性の機能と河川生態系の保全・回復に関する研究	乾 隆帝准教授	社会環境学科



■令和3年度登録案件一覧 登録案件18件

No.	国	特許番号	登録日	発明の名称	発明者(職位:R3)	学科
1	日本	特許第6892134号	2021/5/31	計測システム、計測方法および計測プログラム	盧 存偉教授	電子情報工学科
2	日本	特許第6898612号	2021/6/15	プレス加工品の製造方法	廣田健治教授	知能機械工学科
3	日本	特許第6905224号	2021/6/29	工具損耗推定方法	加藤友規准教授	知能機械工学科
4	日本	特許第6910044号	2021/7/8	無機ナノシート積層構造体、無機ナノシート液晶組成物、無機ナノシート積層構造体の製造方法、及び無機ナノシート液晶組成物の製造方法	宮元展義准教授	生命環境化学科
5	日本	特許第6910690号	2021/7/9	ニオブ、及びタンタルの液化処理方法	久保裕也准教授	生命環境化学科
6	日本	特許第6943409号	2021/9/13	電炉ダストの処理方法	久保裕也准教授	生命環境化学科
7	日本	特許第6961275号	2021/10/15	クロム回収方法	久保裕也准教授	生命環境化学科
8	日本	特許第6962536号	2021/10/18	鉄鋼スラグの処理方法	久保裕也准教授	生命環境化学科
9	日本	特許第6978049号	2021/11/15	潮位推定装置および潮位推定方法	近木祐一郎教授	電子情報工学科
10	日本	特許第6986755号	2021/12/2	無機ナノシート-ポリマー複合体の製造方法、及び無機ナノシート-ポリマー複合体	宮元展義准教授	生命環境化学科
11	日本	特許第6987419号	2021/12/3	製鋼方法	久保裕也准教授	生命環境化学科
12	日本	特許第6991600号	2021/12/10	画像計測システム、画像計測方法、画像計測プログラムおよび記録媒体	盧 存偉教授	電子情報工学科
13	日本	特許第7006885号	2022/1/11	無機ナノシート-ポリマー複合体の製造方法、及び無機ナノシート-ポリマー複合体	宮元展義准教授	生命環境化学科
14	日本	特許第7009008号	2022/1/14	下水汚泥の処理方法	久保裕也准教授	生命環境化学科
15	日本	特許第7013026号	2022/1/21	電着工具	仙波卓弥教授	知能機械工学科
16	日本	特許第7013027号	2022/1/21	電着工具の製造方法	仙波卓弥教授	知能機械工学科
17	日本	特許第7017730号	2022/2/1	パラジウム-ルテニウム複合微粒子を用いた触媒の製造方法	松山 清准教授	生命環境化学科
18	アメリカ	US11072524	2021/7/27	自己触媒能を有する炭素系水素貯蔵材料、その製造方法、その化合物を用いる水素の吸蔵方法及び水素の放出方法、及び水素吸蔵用デバイス	丸山 勲准教授	情報システム工学科

教育関係補助金の交付状況

■私立大学等経常費補助金の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一般補助	457,753	520,271	551,908	445,929	532,698	533,344	569,140	600,605	532,955	490,469
特別補助	94,815	96,906	137,690	168,196	160,145	241,195	232,182	160,019	168,328	122,045
合計	552,568	617,177	689,598	614,125	692,843	774,539	801,322	760,624	701,283	612,514
学生数 (大学・大学院・短期大学部)	4,811	4,695	4,694	4,806	4,757	4,834	4,821	4,764	4,757	4,743
学生1人あたり 経常費補助金	115	131	147	128	146	160	166	160	147	129

■福岡県私立学校経常費補助金(高校)の交付実績推移

(単位:千円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
経常費補助金	561,744	550,561	560,230	574,170	584,242	583,312	597,112	591,922	579,687	614,602
生徒数	1,957	1,967	2,024	2,023	2,059	2,114	2,082	1,978	1,992	1,946
生徒1人あたり 経常費補助金	287	280	277	284	284	276	287	299	291	316

■令和3年度文部科学省補助金交付実績

(単位:千円)

文科省補助区分	事業名	交付額
私立学校情報機器整備費補助金	遠隔授業活用推進(Adobe ETLAプログラム他整備)事業	9,233
私立学校施設整備費補助金	C棟2階実験室・D棟3階講義室出入口扉改修工事	2,431
	換気設備新設工事	9,570
	C棟2階・3階講義室・実験室換気設備新設工事	21,835
私立高等学校等ICT教育設備整備費推進事業費	ICT教育設備整備推進(視聴覚室・理科室用プロジェクター更新)(高校)	3,580
私立学校情報機器整備費補助金	学校のICTを活用した授業環境高度化推進(PC整備等)事業(高校)	1,575
合計		48,224

# 令和3年度資格取得実績

## ■教員免許取得者数

免許種類	学部	科目	取得者数
高校一種	情報工学部	数学	15
	情報工学部	情報	9
	工学部	理科	5
	工学部	工業	3
	社会環境学部	公民	6
合計			38

免許種類	学部	科目	取得者数
中学校一種	情報工学部	数学	13
	工学部	理科	4
	社会環境学部	社会	7
	合計		

## ■資格取得実績・大学

資格名称	合格者数
第二種電気主任技術者 <small>国家資格</small>	1
第三種電気主任技術者 <small>国家資格</small>	1
第一種電気工事士 <small>国家資格</small>	1
公害防止管理者試験大気関係第1種 <small>国家資格</small>	1
公害防止管理者試験水質関係第3種 <small>国家資格</small>	1
公害防止管理者試験水質関係第4種 <small>国家資格</small>	1
第一級陸上無線技術士 <small>国家資格</small>	14
第一級陸上特殊無線技士 <small>国家資格</small>	12
第二級海上特殊無線技士 <small>国家資格</small>	12
第三級海上特殊無線技士 <small>国家資格</small>	7
危険物取扱者乙種4類 <small>国家資格</small>	10
危険物取扱者甲種 <small>国家資格</small>	7
機械保全技能士3級 <small>国家資格</small>	5
基本情報技術者試験 (FE) <small>国家資格</small>	16
ITパスポート <small>国家資格</small>	26
第二種電気主任技術者(一次試験合格) <small>国家資格</small>	2
第三種電気主任技術者(科目合格) <small>国家資格</small>	2

資格名称	合格者数
公害防止管理者(科目合格) <small>国家資格</small>	5
基本情報技術者試験 (FE)午前科目試験免除終了試験 <small>国家資格</small>	25
上級バイオ技術者認定試験	4
中級バイオ技術者認定試験	16
エネルギー管理士	1
2次元CAD利用技術者試験2級	27
CCNA (Cisco Certified Network Associate)	4
CGエンジニア検定 エキスパート	1
CGエンジニア検定 ベーシック	1
Microsoft Office Specialist Word	26
Microsoft Office Specialist Excel	28
Webクリエイター能力認定試験エキスパート	14
実用英語技能検定準1級	2
日商簿記検定2級	1
日商簿記検定3級	13
リテールマーケティング(販売士)2級	2
リテールマーケティング(販売士)3級	8
合計	297

## ■資格取得実績・短期大学部

資格名称	合格者数
ITパスポート <small>国家資格</small>	1
Microsoft Office Specialist Word	10
Microsoft Office Specialist Excel	7
Microsoft Office Specialist PowerPoint	4
CGエンジニア検定 ベーシック	7
マルチメディア検定 ベーシック	2
合計	30

# 国際交流

(敬称略)

## ■国際交流協定校一覧

国名	大学名	締結年	協定内容							令和3年度交流学生数		令和2年度交流学生数	
			学術交流 (包括)	共同研究	学生交流	教育・研究者 交流	事務職員 交流	留学生 募集	本校から の派遣 (オランダ含む)	協定校学生 の受入 (オランダ含む)	本校から の派遣 (オランダ含む)	協定校学生 の受入 (オランダ含む)	
アメリカ	フットヒルカレッジ	1992	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
	カリフォルニア州立大学イーストベイ校	2003	-	-	◎	-	-	-	-	-	-	-	
	サンノゼ州立大学	2015	◎	-	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
	セントメアリーズカレッジカリフォルニア	2018	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
韓国	慶星大学校	1981	◎	-	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
	亜洲大学校	1990	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
	啓明大学校工学部	2009	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
中国	大連理工大学	1988	◎	-	◎	-	-	◎	2	-	1	-	
	南京理工大学	1993	◎	-	◎	-	-	-	-	2	-	8	
	青島科技大学	2008	◎	◎	◎	◎	◎	◎	2	17	-	6	
	北華大学	2007	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
台湾	国立高雄科技大学	2017	◎	◎	◎	◎	◎	-	27	36	21	59	
タイ	キングモンクット工科大学ラカパン校	2008	◎	◎	◎	◎	◎	◎	67	40	18	44	
	チュラロンコン大学理学部	2009	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
	泰日工業大学	2017	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	2	-	
オーストラリア	フェデレーション大学	2001	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
アルバニア	ティラナ工科大学	2009	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	-	
イタリア	ナポリ・フェデリコ2世大学	2018	◎	◎	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	
合計	18校								98	95	42	117	

## ■令和3年度短期学生交換プログラム等の交流実績(協定校以外)

国名	大学・機関名	派遣・受入プログラム名	本学からの派遣 (オンライン含む)	本学への受入れ (オンライン含む)
アメリカ	南フロリダ大学	Virtually Assisted Language Exchange Program (FIT VALE) 南フロリダ大学との連携によるオンライン協働プログラム	10	10
中国	福岡県と友好提携を結ぶ 中国江蘇省・南京農業大学の大学生	「日中植林・植樹国際連帯事業」 2021年度中国大学生オンライン交流(地方間交流)	7	21
フィリピン	Center for Premier International Language Studies (CPILS)	CPILSオンライン留学プログラム	16	-
フィリピン	Brighture English Academy	Brightureオンライン留学プログラム	8	-
シンガポール	シンガポール国立大学 (NUS)	社会環境学部 Virtual ECO-STEP	11	6
ドイツ	HTWG Konstanz (University of Applied Sciences Konstanz)	知能機械工学科オンラインワークショップ	22	-
合計			74	37

## ■令和3年度 Global Student Lounge (学内国際交流拠点GSL) 活動状況

活動内容・イベント名	実施回数	参加者数(延べ数)
English Café	19	82
プライベートレッスン	453	453
FIT Writes (英作文コンテスト)	13	27
出張English Café	9	21
GSL Roundtable	17	111
FIT Talks (英語スピーチコンテスト:事前レッスン含む)	48	104
その他グループレッスン	18	124
英文校正	79	37
ハロウィンパーティー	1	13
GSL Cultural Ambassador Program "Spring Day Trip to Dazaifu"	2	30
クリスマスパーティー	1	27
FIT VALE Program	3	27
留学生座談会(5月・12月・3月)	3	32
学内異文化交流「トンガについて学ぶ会」(2021.5.13)	1	32
GSL学生メンバー(35名登録)主催イベント(英語座談会、クイズ大会、カードゲーム大会等)	7	94
合計	674	1,214

## 地域連携 令和4年4月1日現在

(企業名等:敬称略・締結年月日順)

## ■自治体・企業・教育機関等との連携協定一覧

No.	協定名	協定先	締結年月日
1	(株)福岡銀行及び(株)ふくおかフィナンシャルグループと福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	(株)福岡銀行 (株)ふくおかフィナンシャルグループ	H20.05.23
2	(株)西日本シティ銀行と福岡工業大学との産学連携協力に関する協定	(株)西日本シティ銀行	H20.07.28
3	東部地域大学連携に関する協定	九州産業大学、福岡女子大学	H23.11.09
4	国立大学法人九州工業大学と福岡工業大学との連携に関する協定	九州工業大学	H24.05.01
5	(株)西日本新聞社と学校法人福岡工業大学との包括的連携協力に関する協定	(株)西日本新聞社	H24.09.26
6	(株)九州電力との研究開発における包括連携協定	(株)九電工	H24.11.27
7	新宮町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	新宮町	H26.03.20
8	古賀市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	古賀市	H26.07.23
9	(株)正興電機製作所と福岡工業大学との包括的連携推進に関する協定	(株)正興電機製作所	H26.07.23
10	長崎大学、熊本県立大学及び福岡工業大学との環境分野における包括的連携協力における協定	長崎大学 熊本県立大学	H26.12.04
11	学校法人福岡工業大学と一般社団法人ガールスカウト福岡県連盟との包括的連携に関する協定	(一社)ガールスカウト福岡県連盟	H27.02.15
12	福岡和白病院、創生会及び福岡工業大学の包括的連携に関する協定	(医)池友会福岡和白病院、(福)創生会	H27.03.05
13	中村学園大学短期大学部と福岡工業大学短期大学部との交流協定	中村学園大学短期大学部	H27.05.25
14	北九州工業専門学校、大分県立工科短期大学校及び福岡工業大学短期大学部との包括的連携協力	北九州工業専門学校 大分県立工科短期大学校	H27.07.10
15	芝浦工業大学と福岡工業大学との連携・協力に関する協定	芝浦工業大学	H28.10.07
16	長崎県島原市と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	島原市	H30.10.12
17	福岡未来創造プラットフォームに関する包括連携協定	福岡市、福岡商工会議所、(一社)福岡市中小企業経営者協会、九州産業大学、九州大学、サイバー大学、純真学園大学、西南学院大学、第一薬科大学、筑紫女学園大学、日本赤十字九州国際看護大学、日本経済大学、福岡国際医療福祉大学、福岡歯科大学、福岡女子大学、福岡大学、令和健康科学大学	R1.05.09 (R4.04.01 加盟機関更新)
18	篠栗町と福岡工業大学との包括的連携に関する協定	篠栗町	R2.08.07
19	国立大学法人大分大学と学校法人福岡工業大学との包括連携・協力協定	大分大学	R2.08.25
20	災害時における施設等の利用協力に関する協定	福岡市	R3.12.01

## 附属施設①(ラーニング・commonsの対応状況)

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

### ■学生用ラーニングcommonsの整備状況(令和4年3月31日現在)

図書館席数	534
情報基盤センター席数	611
A棟フリー学修スペース席数	285
B棟フリー学修スペース席数	272
C棟フリー学修スペース席数	232
D棟フリー学修スペース席数	78
E棟フリー学修スペース席数	125
合計	2,137

### ■図書館蔵書数推移(H26以降、各年5月1日現在)

図書区分	年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
和書		229,965	234,178	238,641	241,502	247,603	251,730	254,996	258,115	261,143
洋書		65,804	66,060	66,229	66,618	66,773	67,800	67,928	68,115	68,275
電子書籍(和・洋)		1,742	1,749	1,689	1,698	1,706	278	539	917	1,390
AV資料		3,341	3,357	3,635	763	768	774	781	781	781
合計		300,852	305,344	310,194	310,581	316,850	320,582	324,244	327,928	331,589

### ■図書館利用者数推移

利用者区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
学内利用者数		39,899	39,632	41,206	70,846	137,662	164,170	167,212	162,640	42,814	97,068
学外利用者数		2,979	6,118	12,191	29,531	34,007	27,701	28,831	27,811	3	85
合計		42,878	45,750	53,397	100,377	171,669	191,871	196,043	190,451	42,817	97,153

### ■図書館資料アクセス数推移(H25以降)

区分	年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
図書資料貸出数		14,630	13,172	15,332	16,384	16,477	15,603	13,800	6,451	10,006
電子書籍閲覧数		-	266	685	1,042	1,213	972	1,758	4,732	4,936
ホームページアクセス数		66,604	70,725	180,654	208,533	201,813	194,016	196,615	168,429	115,109
学術情報データベース・電子ジャーナル等アクセス数		80,448	247,423	107,659	164,322	141,045	212,091	205,754	129,265	170,476
合計		161,682	331,586	304,330	390,281	360,548	422,682	417,927	308,877	300,527

### ■情報基盤センターPC室稼働状況(授業・授業外)

授業利用:1コマ90分授業の利用回数/授業外利用:1コマ90分の資格取得講座・課外講座等

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
授業利用数		2,423	2,621	2,988	2,595	2,457	3,113	3,086	2,993	1,251	2,936
授業外利用数		977	930	775	1,018	1,672	1,162	1,059	1,077	1,497	793
合計		3,400	3,551	3,763	3,613	4,129	4,275	4,145	4,070	2,748	3,729

### ■情報基盤センターPC利用状況推移(PC設置数:611台/B21,B22,B23,B24,B25,B31,B38 PC室/ITcommons)

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数		33,202	31,878	33,614	33,044	34,371	35,390	34,475	33,952	16,842	27,685
ログイン回数(延数)		391,240	408,066	421,330	414,000	371,624	399,088	330,996	324,720	85,172	217,943



## ■情報基盤センター高度情報化PC利用状況推移(H28開設、PC設置数:48台)

スペース名	施設概要	(台)	区分	H28	H29	H30	R1	R2	R3
クリエイティブ・ラボ (情報基盤センター) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能・大画面PC	19	利用者数(延数)	2,747	4,002	3,628	4,728	425	1,029
	うち大型ペンタブレット併設	10							
	スキャナ対応高速カラープリンター	1	利用時間数	3,971	4,390	4,310	5,013	544	1,008
クリエイティブブース (図書館) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能・大画面PC	18	利用者数(延数)	14,999	15,740	12,790	12,513	3,131	12,777
	うち大型ペンタブレット併設	10							
	スキャナ対応高速カラープリンター	1	利用時間数	21,065	20,735	16,814	15,134	4,570	14,795
学修スペース (B棟3階) (高度メディア制作・プロジェクト学習対応)	高性能PC	11	利用者数(延数)	11,653	11,456	9,616	12,377	3,646	6,160
	両面対応プリンター	1							
	ホワイトボード(可動式・スクリーン掛け)	9	利用時間数	11,118	11,014	10,916	8,247	2,929	3,301

## ■myFIT(学生ポータルサイト)利用状況

区分	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3
利用者数(延数)		3,922,381	3,896,444	3,672,194	3,442,414	4,624,127	4,305,542

- 令和3年度にmyFITを活用した遠隔事業数:2,097(大学1,552、大学院305、短期大学部240)
- myFITスマートフォンアプリインストール数(令和4年3月31日現在):3,045(大学2,695、大学院55、短期大学部295)

## ■無線LAN整備状況(令和4年3月31日現在)

棟・教室等	AP設置数※	(うち、R3年度新規設置)
本部棟(図書館含む)	22	1
FITアリーナ	4	0
FITホール	10	1
A棟	51	24
B棟	43	18
C棟	22	11
D棟	20	9
E棟	17	0
F棟	2	0
α棟	4	0
合計	195	64

※AP:アクセスポイント

## ■大学のデジタル化に係る設備状況(令和4年3月31日現在)

設備名等	構成、内容等
学修支援システム	myFIT(Universal Passport RX及びGAKUEN EX)による授業運営及び学生生活に係る諸手続きのデジタル化、FIT-AIM(学習ポートフォリオ)、FIT Moodle(myFIT補完LMS)、myFIT学生用スマートフォンアプリ、WingNet(情報基盤センターPC室向け)、FIT Replay(授業アーカイブシステム)
全学ライセンスソフトウェア	Microsoft 365 Education(一人:メールボックス(50GB)とOneDrive(1TB)による保存領域及びOffice及びTeams等を提供)、Adobe(20種以上)、MATLAB(60以上の全オプション)、Mathematica、各ソフトウェアは全ての学生所有PCで利用可
教員ソフトウェア	Dropbox(容量無制限ネットワークストレージ/研究等プロジェクト利用)
学生貸出PC・タブレット数	46台(ノートPC40台、iPad6台)

## ■その他サポート状況(令和4年3月31日現在)

職種	部門長	専任職員※	特定嘱託	臨時職員	委託スタッフ	合計	備考
附属図書館(図書館員)	1	3	2	0	10	16	部門長:図書館長
情報基盤センター(情報技術員)	1	5	2	1	0	9	部門長:情報基盤センター長

※兼任含む

## 附属施設②（その他のラーニングサポート関係施設）

※R2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各施設の臨時閉館・利用制限及び遠隔授業実施等により、利用者が大幅に減少しています。

### ■エクステンションセンター受講者数推移

講座名	H29		H30		R1		R2		R3	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
資格取得支援講座	32	761	29	692	26	669	19	535	19	681
文化教養講座	170	1,505	170	1,508	179	1,411	144	816	161	1,102
FIT講座	4	73	6	642	14	904	14	250	19	386
合計	206	2,339	205	2,842	219	2,984	177	1,601	199	2,169

※講座数は実開講数でカウントしています。

※資格取得支援講座に一般を含みます。(講座数・受講者数)

※文化教養講座・FIT講座に学生を含みます。(講座数・受講者数)

### ■令和3年度エクステンションセンターでの地方公共団体・産業界等と連携した生涯学習・社会人教育実施講座

区分	講座名	企業名	受講者数
福岡県人が自慢したい福岡発祥の企業 (経営トップが語る)	人にも自然にもやさしい「無添加石けん」とは ～毎日使う洗浄剤から健康や環境問題を考える	シャボン玉石けん(株)	21
	明太子の誕生秘話～ドラマ「めんたいびりり」裏話	(株)ふくや	26
防災・環境関連講座	防災講和(災害から学ぶこと～実践編)	自衛隊福岡地方協力本部	16
	福岡県の大気環境は今どういう状況なの?	福岡県環境保全課	15

### ■モノづくりセンター利用者数推移

利用者区分	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
学生プロジェクト	8,559	6,596	5,871	5,892	5,746	6,249	5,620	4,422	1,705	4,424
研究利用	383	375	410	504	485	534	672	624	400	709
一般利用	2,742	3,074	3,191	3,801	4,155	3,167	2,813	2,768	1,703	3,179
合計	11,684	10,045	9,472	10,197	10,386	9,950	9,105	7,814	3,808	8,312

## 課外活動

### ■令和3年度クラブ・サークル加入者数

クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数	クラブ・サークル名	部員数
【体育会本部】	811	陸上競技部	15	【学術文化会】	707
硬式野球部(強化部)	80	硬式テニス部(硬式庭球部)	12	吹奏楽団(強化部)	53
ラグビー部(強化部)	77	少林寺拳法同好会	12	写真部	140
女子柔道部(強化部)	5	パワーリフティング同好会	11	All Round Music部	74
シーズンスポーツ同好会	115	テコンドー部	10	音楽研究部	66
フットサル同好会(ファンタジア)	69	自動車工学研究部	6	環境サークルオアシス部	46
e-sportsサークルrob	58	剣道部	5	ロック部	46
軟式野球部	43	男子柔道同好会	2	釣愛好会	43
バドミントン部	35			音響部	41
バレーボール部	35			モダンアート部	26
タッチラグビー同好会	32			福工大アンプラグ愛好会(アコギ)	26
アクションサッカー同好会	29			模型愛好会	26
弓道部	24			国際交流サークル(FIT-ICE)同好会	25
ダンス同好会	22			情報技術研究部	24
バスケットボール部	22			人工知能開発研究愛好会	18
準硬式野球部	21			料理・スイーツ研究同好会	15
卓球部	21			茶道部	15
ソフトテニス部	20			競技麻雀同好会	14
硬式テニス同好会	15			アカペラ同好会	9
水泳競技部	15				

合計 1,518

### ■令和3年度モノづくりセンタープロジェクトメンバー数

プロジェクト名	メンバー数
4輪2輪メンテピット	19
ソーラーカー	18
ロボコン	16
ロボット相撲	11
手作りアクセサリー	9
二足歩行ロボット	9
Air Hockey Robotの開発	13
衛星コン	14
ロボットアーム	14
アマチュア無線体験	12
教育用味見ロボット開発	5
レゴからくり	4
おとめが池の環境保全	10◎
超電導デモ	8◎
未来のICT	5◎
グッズ製作	4◎
放電加工回路の作製	3◎
合計	174

◎利用推進プロジェクト

# 令和4年度学費・徴収金

## ■大学院

(単位:円)

研究科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学研究科 (修士課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	21,750	983,750
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
工学研究科 (博士後期課程)	1年次	150,000	560,000	170,000	62,000	20,000	-	22,600	984,600
	2年次以降	-	560,000	170,000	62,000	20,000	-	-	812,000
社会環境学研究科	1年次	150,000	490,000	120,000	-	20,000	-	21,750	801,750
	2年次以降	-	490,000	120,000	-	20,000	-	-	630,000

※学生諸費の内訳:同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料 修士課程1,750円(秋季入学生2,600円)、博士後期課程2,600円(秋季入学生3,300円)

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■大学

(単位:円)

学部	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
工学部 情報工学部	1年次	200,000	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000	81,300	1,566,300
	2年次以降	-	895,000	270,000	90,000	10,000	20,000	-	1,285,000
社会環境学部	1年次	200,000	705,000	170,000	-	10,000	20,000	81,300	1,186,300
	2年次以降	-	705,000	170,000	-	10,000	20,000	-	905,000

※学生諸費の内訳:学生自治会費28,000円、教育後援会費20,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料3,300円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■短期大学部

(単位:円)

学科	学年	入学金	授業料	施設・設備費	実験実習費	図書費	学生厚生費	学生諸費※	合計
情報メディア学科	1年次	170,000	640,000	160,000	100,000	5,000	15,000	47,750	1,137,750
	2年次以降	-	640,000	160,000	100,000	5,000	15,000	-	920,000

※学生諸費の内訳:学友会費10,000円、教育後援会費6,000円、同窓会費20,000円、学生教育研究災害傷害保険料1,750円、アルバム代10,000円

部分は前・後期分納 教科書代が別途必要

## ■高等学校

(単位:円)

課程	学年	入学申込金	施設設備費	授業料	施設維持費	ICT教育推進費	実習費	図書費	教育充実費	諸会費・積立金※	合計
普通科	1年次	40,000	190,000	396,000	69,600	42,000	-	0	0	120,000	857,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	42,000	-	0	0	120,000	627,600
電気科・電子情報科	1年次	40,000	190,000	396,000	69,600	42,000	12,000	0	0	120,000	869,600
	2年次以降	-	-	396,000	69,600	42,000	12,000	0	0	120,000	639,600

※諸会費・積立金の内訳:生徒会費18,000円、同窓会費1,200円、PTA会費16,800円、積立金84,000円  
積立金は、1年次4月～2年次11月は修学旅行積立金として、2年次12月～2年次3月は卒業積立金として徴収。3年次は徴収しない。  
その他の費用 PTA入会費:10,000円(入学年度のみ)、学年予納金:普通科44,305円、電気科・電子情報科45,805円(各年度)

部分は12か月分納 教科書代が別途必要

# 奨学費

## ■令和3年度奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金種別・設置校別)

(単位:千円)

奨学の趣旨	大学	短期大学部	高校	合計
学業奨励	94,983 (190人)	4,800 (12人)	60,133 (214人)	159,915 (416人)
課外活動奨励	67,919 (124人)		21,051 (101人)	88,970 (225人)
経済的事由対応	10,970 (36人)	1,083 (6人)		12,054 (42人)
経済的事由(留学生)	7,343 (23人)	320 (1人)		7,663 (24人)
国際交流支援	11,133 (32人)			11,133 (32人)
その他		5,695 (55人)	2,660 (14人)	8,355 (69人)
合計	192,347 (405人)	11,898 (74人)	83,844 (329人)	288,089 (808人)

## ■奨学費支出(福岡工業大学独自奨学金)経年推移

(単位:千円)

学校	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
福岡工業大学		202,805	185,849	187,992	187,834	206,702	213,593	215,747	210,086	229,138	192,347
福岡工業大学短期大学部		24,003	17,855	18,840	14,810	15,540	17,012	14,845	20,405	17,444	11,898
福岡工業大学附属城東高等学校		142,060	147,580	134,943	115,206	115,989	101,329	92,418	86,331	89,033	83,844
合計		368,868	351,284	341,775	317,850	338,231	331,934	323,010	316,822	335,615	288,089

## 校地・校舎

### ■校地・校舎概要 (学園全体の校地面積：234,602㎡、同校舎面積：132,605㎡)

建物名	主な設備、用途	延床面積 (㎡)	建築年
A棟	クリーンルーム、学生ホール、ラーニングコーナー、売店、講義室27、演習室14、実験室16、研究室79、卒研室34	18,360	平成13年
B棟	情報基盤センター、レストラン、コンビニ、保健室、カウンセリング室、講義室19、演習室11、実験室11、研究室44、卒研室22、インキュベーションスタジオ1	18,842	平成16年
C棟	地下ホール(収容人数300人)、学生ホール、レストラン、売店、書店、講義室8、実験室6、研究室27、卒研室23	10,303	平成3年
D棟	工作センター、講義室13、実験室11、研究室25、卒研室23	8,504	平成16年
E棟	学生サポートセンター、フレッシュマンスクール、アクティブラーニングエリア、研究所、オープンラボ	6,884	平成28年
F棟	インキュベーションスタジオ2、研究スペース4	780	平成29年
α棟	モノづくりセンター、グローバルスチューデントラウンジ、ラーニングスペース、多目的ホール(収容人数200人)	1,750	平成11年
本部棟	FIT Link(図書館)、エクステンションセンター、次世代マイクロ/ナノ金型開発センター、インキュベーションスタジオ3、音とモノづくりの歴史資料館、事務局	12,735	昭和61年
FITアリーナ	シンフォニーホール(収容人数2,400人)、運動施設	5,470	平成12年
FITホール	多目的ホール(収容員数1,000人)、会議室	3,612	平成23年
坦心寮	男子寮(部屋数196、収容人数238人)	6,556	平成15年
コスモス寮	女子寮(部屋数87、収容人数160人)	3,833	平成5年
国際交流会館	留学生寮(部屋数28、収容人数56人)	1,102	平成4年
附属城東高校1号館	J-STEP、放送室、職員室、研修室3、ミーティングルーム4	2,274	令和2年
附属城東高校2号館	校長室、事務室、保健室、スクールカウンセリング室、職員研修室、書道室、理科室2、音楽室、LL教室、家庭科室、キャリアサポートセンター、生徒相談室、教室35、特別教室、図書室、視聴覚教室、生徒会室、売店	15,364	昭和61年
附属城東高校3号館	工業科準備室、工業科実習室14、コンピュータ室4、普通教室18、特別教室4		
附属城東高校4号館	吹奏楽練習場、多目的ホール、部室	1,236	平成12年
附属城東高校体育館	メインフロア(収容定員数2,300人)、柔道場、剣道場、空手道場、男女更衣室、トレーニング室、多目的スペース2	6,336	令和2年
連絡歩道橋	連絡通路(1号館・体育館間)	0	令和3年
上善荘	調理室、実習室、茶室、宿泊室、セミナー室、多目的室	906	平成16年
和白グラウンド	高校部活動用地他	32,297	昭和37年
新宮総合グラウンド	野球場、ラグビー場、アーチェリー場、他運動施設	40,655	昭和62年
塩浜総合グラウンド	野球場、室内練習場、多目的グラウンド	38,188	平成23年
FITアリーナWESTコート	スポーツコート、相撲場	2,308	平成27年
FITセミナーハウス	課外研修・宿泊施設	1,310	平成24年



# 財務状況

## ■資金収支計算書

収入の部			
科目	R1年度	R2年度	R3年度
学納金収入	6,446,291	6,607,228	6,622,937
手数料収入	170,197	147,020	144,163
寄付金収入	60,561	72,100	55,393
補助金収入	1,440,987	1,659,455	1,621,022
資産売却収入	30,000	1,000,000	500,000
付随事業・収益事業収入	319,954	237,158	287,669
受取利息・配当金収入	138,431	137,908	139,022
雑収入	380,804	219,115	344,193
前受金収入	2,429,434	2,196,850	2,047,796
その他の収入	401,451	397,510	266,031
資金収入調整勘定	△ 2,598,621	△ 2,619,528	△ 2,506,803
前年度繰越支払資金	3,434,982	2,120,940	1,397,525
<b>収入の部合計</b>	<b>12,654,470</b>	<b>12,175,756</b>	<b>10,918,948</b>

## 支出の部

科目	R1年度	R2年度	R3年度
人件費支出	5,048,313	4,789,736	5,040,151
教育研究経費支出	1,836,678	2,049,096	2,200,632
管理経費支出	621,816	611,090	532,473
借入金等利息支出	3,036	2,480	1,860
借入金等返済支出	200,000	200,000	200,000
施設関係支出	1,239,700	2,594,463	725,968
設備関係支出	563,170	540,733	562,734
資産運用支出	1,000,000	0	500,000
その他の支出	306,278	317,597	346,881
資金支出調整勘定	△ 285,462	△ 326,963	△ 509,179
翌年度繰越支払資金	2,120,940	1,397,525	1,317,427
<b>支出の部合計</b>	<b>12,654,470</b>	<b>12,175,756</b>	<b>10,918,948</b>

## ■活動区分資金収支計算書

教育活動による資金収支					
科目		R1年度	R2年度	R3年度	
収入	学納金収入	6,446,291	6,607,228	6,622,937	
	手数料収入	170,197	147,020	144,163	
	特別寄付金収入	48,531	69,070	48,564	
	一般寄付金収入	30	3,030	30	
	経常費等補助金収入	1,404,716	1,600,933	1,566,655	
	付随事業収入	319,954	237,158	287,669	
	雑収入	380,804	219,115	344,193	
	<b>教育活動資金収入計</b>	<b>8,770,523</b>	<b>8,883,553</b>	<b>9,014,211</b>	
	支出	人件費支出	5,048,313	4,789,736	5,040,151
		教育研究経費支出	1,836,678	2,049,096	2,200,632
管理経費支出		621,816	611,090	532,473	
<b>教育活動資金支出計</b>		<b>7,506,807</b>	<b>7,449,922</b>	<b>7,773,256</b>	
差引	1,263,716	1,433,631	1,240,955		
調整勘定等	166,667	△ 13,319	△ 278,093		
<b>教育活動資金収支差額</b>	<b>1,430,384</b>	<b>1,420,312</b>	<b>962,862</b>		
施設整備等活動による資金収支					
科目		R1年度	R2年度	R3年度	
収入	施設設備寄付金収入	12,000	0	6,800	
	施設設備補助金収入	36,271	58,522	54,366	
	<b>施設整備等活動資金収入計</b>	<b>48,271</b>	<b>58,522</b>	<b>61,166</b>	
支出	施設関係支出	1,239,700	2,594,463	725,968	
	設備関係支出	563,170	540,733	562,734	
	教育設備引当特定資産繰入支出	0	0	500,000	
	<b>施設整備等活動資金支出計</b>	<b>1,802,871</b>	<b>3,135,196</b>	<b>1,788,702</b>	
差引	△ 1,754,600	△ 3,076,674	△ 1,727,537		
調整勘定等	56,027	△ 47,315	195,354		
<b>施設整備等活動資金収支差額</b>	<b>△ 1,698,572</b>	<b>△ 3,123,989</b>	<b>△ 1,532,182</b>		
<b>小計</b>	<b>△ 268,189</b>	<b>△ 1,703,676</b>	<b>△ 569,320</b>		
その他の活動による資金収支					
科目		R1年度	R2年度	R3年度	
収入	有価証券売却収入	30,000	1,000,000	500,000	
	預り金収入	0	25,918	45,949	
	仮受金収入	7,990	11,859	0	
	保証金回収・仮払金収入・預託金	2,316	13,340	150	
	修学旅行預け金受入収入	22,519	23,704	29,838	
	<b>小計</b>	<b>62,824</b>	<b>1,074,821</b>	<b>575,937</b>	
	<b>受取利息・配当金収入</b>	<b>138,431</b>	<b>137,908</b>	<b>139,022</b>	
	<b>その他の活動資金収入計</b>	<b>201,255</b>	<b>1,212,729</b>	<b>714,960</b>	
支出	借入金等返済支出	200,000	200,000	200,000	
	有価証券購入支出	1,000,000	0	0	
	保証金・預託金・立替金支出	45	150	25	
	預り金支出	20,323	0	0	
	仮受金支出	0	0	2,432	
	仮払金支出	0	0	1,528	
	修学旅行預け金支払支出	23,704	29,838	19,892	
<b>小計</b>	<b>1,244,071</b>	<b>229,988</b>	<b>223,877</b>		
<b>借入金等利息支出</b>	<b>3,036</b>	<b>2,480</b>	<b>1,860</b>		
<b>その他の活動資金支出計</b>	<b>1,247,108</b>	<b>232,468</b>	<b>225,737</b>		
差引	△ 1,045,853	980,261	489,223		
調整勘定等	0	0	0		
<b>その他の活動資金収支差額</b>	<b>△ 1,045,853</b>	<b>980,261</b>	<b>489,223</b>		
<b>支払資金の増減額</b>	<b>△ 1,314,042</b>	<b>△ 723,416</b>	<b>△ 80,098</b>		
<b>前年度繰越支払資金</b>	<b>3,434,982</b>	<b>2,120,940</b>	<b>1,397,525</b>		
<b>翌年度繰越支払資金</b>	<b>2,120,940</b>	<b>1,397,525</b>	<b>1,317,427</b>		

大学の主要な取組成果

学校改革の具体的な取組状況

フアンリテイ・各設置校の状況

バックデータ集

## ■事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目		R1年度	R2年度	R3年度
教育活動収支	収入			
	学納金	6,446,291	6,607,228	6,622,937
	手数料	170,197	147,020	144,163
	寄付金	48,611	72,100	48,594
	経常費等補助金	1,404,716	1,600,933	1,566,655
	付随事業収入	319,954	237,158	287,669
	雑収入	309,216	176,964	297,955
<b>教育活動収入計</b>	<b>8,698,984</b>	<b>8,841,402</b>	<b>8,967,973</b>	
支出	人件費	4,949,780	4,735,642	5,015,365
	教育研究経費	2,939,072	3,116,020	3,388,164
	管理経費	699,954	672,186	595,186
<b>教育活動支出計</b>	<b>8,588,806</b>	<b>8,523,848</b>	<b>8,998,715</b>	
<b>教育活動収支差額</b>	<b>110,178</b>	<b>317,554</b>	<b>△ 30,743</b>	
教育活動外収支	収入			
	受取利息・配当金	133,482	132,959	134,073
	その他の教育活動外収入	0	0	0
	<b>教育活動外収入計</b>	<b>133,482</b>	<b>132,959</b>	<b>134,073</b>
	支出	借入金等利息	3,036	2,480
その他の教育活動外支出		0	0	0
<b>教育活動外支出計</b>	<b>3,036</b>	<b>2,480</b>	<b>1,860</b>	
<b>教育活動収支差額</b>	<b>130,446</b>	<b>130,479</b>	<b>132,213</b>	
<b>経常収支差額</b>	<b>240,624</b>	<b>448,033</b>	<b>101,471</b>	
特別収支	収入			
	資産売却差額	0	0	0
	その他の特別収入	76,755	101,428	112,358
	<b>特別収入計</b>	<b>76,755</b>	<b>101,428</b>	<b>112,358</b>
	支出	資産処分差額	12,090	151,617
その他の特別支出		0	0	0
<b>特別支出計</b>	<b>12,090</b>	<b>151,617</b>	<b>7,242</b>	
<b>特別収支差額</b>	<b>64,664</b>	<b>△ 50,189</b>	<b>105,117</b>	
<b>基本金組入前当年度収支差額</b>	<b>305,288</b>	<b>397,844</b>	<b>206,587</b>	
<b>基本金組入額合計</b>	<b>△ 1,390,426</b>	<b>△ 2,400,648</b>	<b>△ 872,450</b>	
<b>当年度収支差額</b>	<b>△ 1,085,138</b>	<b>△ 2,002,804</b>	<b>△ 665,863</b>	
<b>前年度繰越収支差額</b>	<b>△ 9,434,339</b>	<b>△ 10,519,343</b>	<b>△ 12,520,960</b>	
<b>基本金取崩額</b>	<b>134</b>	<b>1,186</b>	<b>1,856</b>	
<b>翌年度繰越収支差額</b>	<b>△ 10,519,343</b>	<b>△ 12,520,960</b>	<b>△ 13,184,967</b>	
(参考)				
<b>事業活動収入計</b>	<b>8,909,221</b>	<b>9,075,789</b>	<b>9,214,404</b>	
<b>事業活動支出計</b>	<b>8,603,932</b>	<b>8,677,945</b>	<b>9,007,817</b>	

## ■貸借対照表 (各年度3月31日現在)

(単位:千円)

資産の部	科目	R1年度	R2年度	R3年度
<b>固定資産</b>		<b>34,021,521</b>	<b>34,924,931</b>	<b>34,998,891</b>
<b>有形固定資産</b>		<b>24,399,981</b>	<b>26,301,150</b>	<b>26,386,263</b>
土地		3,552,751	3,553,916	3,553,916
建物		14,016,618	16,804,328	16,538,779
構築物		1,303,669	1,479,774	1,758,190
教育研究用機器備品		3,026,016	3,075,388	3,091,048
管理用機器備品		162,400	156,930	195,598
図書		1,184,187	1,198,781	1,214,806
車両		44,054	32,033	26,797
建設仮勘定		1,110,285	0	7,128
<b>特定資産</b>		<b>6,100,000</b>	<b>6,100,000</b>	<b>6,100,000</b>
第3号基本金引当特定資産		1,500,000	1,500,000	1,500,000
退職給与引当特定資産		1,500,000	1,500,000	1,500,000
施設拡充引当特定資産		2,600,000	2,600,000	2,600,000
教育設備引当特定資産		500,000	500,000	500,000
<b>その他の固定資産</b>		<b>3,521,541</b>	<b>2,523,781</b>	<b>2,512,629</b>
借地権		19,805	19,805	19,805
電話加入権		5,157	5,157	5,157
施設利用権		5,441	4,859	4,278
預託金		24,919	25,069	24,944
保証金		2,341	0	0
ソフトウェア		14,864	12,740	10,617
長期前払金		0	12,085	8,713
有価証券		3,449,013	2,444,065	2,439,116
<b>流動資産</b>		<b>2,509,122</b>	<b>1,644,436</b>	<b>1,676,025</b>
現金預金		2,120,940	1,397,525	1,317,427
未収入金		322,689	190,094	309,953
修学旅行預け金		23,704	29,838	19,892
前払金		29,863	26,052	26,297
仮払金		11,927	928	2,456
<b>資産の部合計</b>		<b>36,530,643</b>	<b>36,569,367</b>	<b>36,674,916</b>

(単位:千円)

負債の部	科目	R1年度	R2年度	R3年度
<b>固定負債</b>		<b>2,190,550</b>	<b>1,975,628</b>	<b>1,800,131</b>
長期借入金		600,000	400,000	200,000
長期未払金		20,874	17,894	20,945
退職給与引当金		1,569,676	1,557,734	1,579,186
<b>流動負債</b>		<b>3,188,218</b>	<b>3,044,020</b>	<b>3,118,480</b>
短期借入金		200,000	200,000	200,000
未払金		249,471	300,080	480,076
前受金		2,429,434	2,196,850	2,047,796
預り金		258,566	284,484	330,433
仮受金		50,748	62,607	60,175
<b>負債の部合計</b>		<b>5,378,768</b>	<b>5,019,648</b>	<b>4,918,610</b>

(単位:千円)

純資産の部	科目	R1年度	R2年度	R3年度
<b>基本金</b>		<b>41,671,217</b>	<b>44,070,679</b>	<b>44,941,273</b>
第1号基本金		39,567,217	41,966,679	42,837,273
第3号基本金		1,500,000	1,500,000	1,500,000
第4号基本金		604,000	604,000	604,000
<b>繰越収支差額</b>		<b>△ 10,519,343</b>	<b>△ 12,520,960</b>	<b>△ 13,184,967</b>
翌年度繰越収支差額		△ 10,519,343	△ 12,520,960	△ 13,184,967
<b>純資産の部合計</b>		<b>31,151,875</b>	<b>31,549,719</b>	<b>31,756,306</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>		<b>36,530,643</b>	<b>36,569,367</b>	<b>36,674,916</b>

# MEMO

---

A series of horizontal dotted lines for writing, spanning the width of the page.

---

# MEMO



## 教育・研究活動報告書(取組成果のご報告)アンケート

お手数ですが、下記の質問項目にご記入のうえ、FAXもしくは本学IRプロジェクト宛ご郵送ください。  
(巻末のQRコードからも回答が可能です)該当する箇所に☑を記入してください。

### I. この報告書をご覧になってどうお感じになりましたか。

十分に満足      満足      やや不満足      非常に不満足

### II. 報告書の構成についてどうお感じになりましたか？

- ◆ 情報公表の度合い： 十分      不十分      (理由： )
- ◆ わかりやすさ： わかりやすい      わかりにくい      (理由： )
- ◆ 内容の充実度： 十分      不十分      (理由： )
- ◆ 読みやすさ： 読みやすい      読みにくい      (理由： )
- ◆ ページ数： ちょうどよい      多すぎる      少なすぎる

### III. この報告書の内容のうち、特に評価できるページや興味を持ったページをチェックしてください。 (3つまで選択してください)

- ごあいさつ(P01)      マスタープランの取組状況・成果の概要(P03)
- 入学志願者・入学者の状況(P05)      教育力の発揮(P07)      研究の高度化(P09)
- 就職力の強化(P11)      グローバル化の取組(P13)      地域連携の取組(P15)
- 財政基盤の安定(P17)      学校運営に対する外部評価(P19)      教育改善の取組(P21)
- 研究高度化の取組(P23)      就職支援の取組(P25)      ラーニングサポートの取組(P27)
- キャンパスライフサポートの取組(P29)      キャンパスの概要(P31)      大学院の取組(P33)
- 短期大学の取組(P35)      附属城東高校の取組(P37)      バックデータ集 (P39~)

### IV. この報告書は本学のイメージアップに繋がると思われますか。

思う      どちらともいえない      思わない(理由： )

### V. 今後の学園運営に反映させたいと存じますので、この報告書に対するご感想・ご要望や、本学の取組に対する忌憚のないご意見をお聞かせください。

-----  
-----  
-----  
-----  
-----

### VI. あなたのプロフィールについてお聞かせください。

性別： 男性      女性  
年代： 10代      20代      30代      40代      50代      60代      70代以上

### VII. この報告書をどのような立場でお読みになりましたか。

在学生      卒業生      在学生の保護者      卒業生の保護者      中学生・高校生の保護者      中学生・高校生  
行政機関      企業      報道関係者      教員・塾・予備校講師      他大学関係者      地域住民      その他( )

※お預かりした個人情報及びアンケート内容はご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。

送付先 〒811-0295 福岡市東区和白東3丁目30-1 福岡工業大学IRプロジェクト宛  
FAX:(092)606-8923・TEL:(092)606-0619



## 皆さまのご意見・ご感想をお聞かせください

福岡工業大学『令和3年度教育・研究活動報告書』をお読みいただきありがとうございました。  
本学では、ご支援いただいております皆様に広く情報公表を行い、コミュニケーションを重ね、学園の諸活動をいっそう磨き高めたいと考えております。

『教育・研究活動報告書』を通じ、取組実績やそれらの外部評価について皆様にご理解いただけるようこれまでも努めて参りましたが、まだ課題も多く残されていると考えております。

お手数ではございますが、下記のQRコード(または、アンケート用紙)からアンケート(回答時間5~10分)にお進みいただき、ご回答くだされば幸甚に存じます。



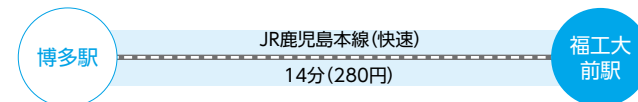
※お預かりした個人情報およびアンケート内容は、ご本人の承諾なしに第三者に開示・提供することはありません。当プロジェクトにて厳重に管理いたします。



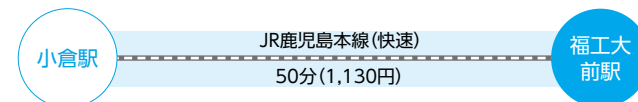
### 地下鉄+JR鹿児島本線



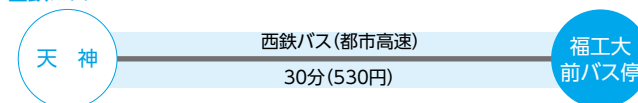
### JR鹿児島本線



### JR鹿児島本線



### 西鉄バス



※乗用車の場合…国道3号線から国道495号線へ進み和臼方面へ

## 福岡工業大学

令和3年度

# 教育・研究活動報告書

取組成果のご報告

編集／福岡工業大学 IRプロジェクト

編集協力・印刷／久野印刷(株)...

〒811-2221 福岡県糟屋郡須恵町大字旅石60番地32 TEL：092-410-5711 FAX：092-936-6262

発行／令和4年9月

福岡工業大学

〒811-0295 福岡市東区和臼東3丁目30番1号 TEL：092-606-0619 FAX：092-606-8923



*For all the students*  
**FIT** Fukuoka Institute of Technology  
**福岡工業大学**

## 工学部

電子情報工学科  
生命環境化学科  
知能機械工学科  
電気工学科

## 情報工学部

情報工学科  
情報通信工学科  
情報システム工学科  
システムマネジメント学科

## 社会環境学部

社会環境学科(文系)

## 大学院

工学研究科  
社会環境学研究科

## 福岡工業大学短期大学部

情報メディア学科

## 福岡工業大学附属城東高等学校

普通科  
電気科  
電子情報科

